

平成30年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		高知県		市町村類型	I－O		指定団体等の指定状況		区分		平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	区分		平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)		
							財政健全化等		×	歳入総額	3,021,766	2,849,041	実質収支比率		0.3	1.1		
									×	歳出総額	2,987,466	2,771,365	経常収支比率		97.6	97.4		
市町村名		東洋町		地方交付税種地	2-1		財源超過		×	歳入歳出差引	34,300	77,676	(※1)		(101.1)	(101.1)		
							首都		×	翌年度に繰越すべき財源	29,358	59,781	標準財政規模		1,644,059	1,641,998		
							近畿		×	実質収支	4,942	17,895	財政力指数		0.12	0.12		
									×	単年度収支	-12,953	-9,856	公債費負担比率		18.9	17.8		
人口		27年国調(人)	2,584 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造(※5)</th> <th>中部</th> <td>×</td> <th>積立金</th> <td>9,100</td> <td>15,100</td> <th colspan="2">健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>	産業構造(※5)			中部	×	積立金	9,100	15,100	健全化判断比率						
		22年国調(人)	2,947 <th>過疎</th> <td>○</td> <th>繰上償還金</th> <td>0</td> <td>0</td> <th colspan="2">実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				過疎	○	繰上償還金	0	0	実質赤字比率		-	-			
		増減率(%)	-12.3 <th>山振</th> <td>○</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>35,000</td> <td>90,000</td> <th colspan="2">連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	○	積立金取崩し額	35,000	90,000	連結実質赤字比率		-	-			
住民基本台帳人口(※7)		31.01.01(人)	2,450 <th>区分</th> <th>27年国調</th> <th>22年国調</th> <th>低開発</th> <td>×</td> <th>実質単年度収支</th> <td>-38,853</td> <td>-84,756</td> <th colspan="2">実質公債費比率</th> <td>11.7</td> <td>9.8</td>	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	実質単年度収支	-38,853	-84,756	実質公債費比率		11.7	9.8			
		うち日本人(人)		2,433 <th rowspan="2">第1次</th> <td>274</td> <td>326</td> <th>指数表選定</th> <td>○</td> <th></th> <td><th colspan="2">将来負担比率</th><td>65.3</td><td>63.0</td></td>	第1次	274	326	指数表選定	○		<th colspan="2">将来負担比率</th> <td>65.3</td> <td>63.0</td>	将来負担比率		65.3	63.0			
		30.01.01(人)	2,555 <td>26.7</td> <td>29.2<th></th><td><th></th><td><th></th><td></td></td></td></td>	26.7		29.2 <th></th> <td><th></th><td><th></th><td></td></td></td>		<th></th> <td><th></th><td></td></td>		<th></th> <td></td>								
		うち日本人(人)		2,542 <th rowspan="2">第2次</th> <td>194</td> <td>222<th></th><td><th>基準財政収入額</th><td>193,182</td><td>185,459</td><th colspan="3" rowspan="6">資金不足比率(※4)</th></td></td>	第2次	194	222 <th></th> <td><th>基準財政収入額</th><td>193,182</td><td>185,459</td><th colspan="3" rowspan="6">資金不足比率(※4)</th></td>		<th>基準財政収入額</th> <td>193,182</td> <td>185,459</td> <th colspan="3" rowspan="6">資金不足比率(※4)</th>	基準財政収入額	193,182	185,459	資金不足比率(※4)					
		増減率(%)	-4.1 <td>18.9</td> <td>19.9<th></th><td><th>基準財政需要額</th><td>1,520,627</td><td>1,528,440</td></td></td>	18.9		19.9 <th></th> <td><th>基準財政需要額</th><td>1,520,627</td><td>1,528,440</td></td>		<th>基準財政需要額</th> <td>1,520,627</td> <td>1,528,440</td>	基準財政需要額	1,520,627	1,528,440							
		うち日本人(%)		-4.3 <th rowspan="2">第3次</th> <td>560</td> <td>570<th></th><td><th>標準税収入額等</th><td>241,243</td><td>239,922</td></td></td>	第3次	560	570 <th></th> <td><th>標準税収入額等</th><td>241,243</td><td>239,922</td></td>		<th>標準税収入額等</th> <td>241,243</td> <td>239,922</td>	標準税収入額等	241,243	239,922						
				<th>経常経費充当一般財源等</th> <td>1,618,568</td> <td>1,619,099</td>		経常経費充当一般財源等	1,618,568	1,619,099										
面積(k㎡)		74.02 <td></td> <td>54.5</td> <td>51.0<th></th><td><th>歳入一般財源等</th><td>1,956,789</td><td>2,075,729</td></td></td>		54.5	51.0 <th></th> <td><th>歳入一般財源等</th><td>1,956,789</td><td>2,075,729</td></td>		<th>歳入一般財源等</th> <td>1,956,789</td> <td>2,075,729</td>	歳入一般財源等	1,956,789	2,075,729								
人口密度(人/k㎡)		35 <th colspan="3"></th> <th></th> <td><th colspan="3"></th><th colspan="3"></th></td>					<th colspan="3"></th> <th colspan="3"></th>											
世帯数(世帯)		1,382 <th colspan="3"></th> <th></th> <td><th colspan="3"></th><th colspan="3"></th></td>					<th colspan="3"></th> <th colspan="3"></th>											
職員の状況																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		3,880,612	3,802,760 <th colspan="3"></th>						
	市区町村長	1	6,350 <th>一般職員</th> <td>53</td> <td>146,810</td> <td>2,770<th colspan="2">うち公的資金</th><td>3,602,027</td><td>3,480,489<th colspan="3"></th></td></td>		一般職員	53	146,810	2,770 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>3,602,027</td> <td>3,480,489<th colspan="3"></th></td>	うち公的資金		3,602,027	3,480,489 <th colspan="3"></th>						
	副市区町村長	1	5,530 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th><td>257,862</td><td>314,432<th colspan="3"></th></td></td>		うち消防職員	-	-	- <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>257,862</td> <td>314,432<th colspan="3"></th></td>	債務負担行為額(支出予定額)		257,862	314,432 <th colspan="3"></th>						
	教育長	1	5,170 <th>うち技能労務職員</th> <td>4</td> <td>9,940</td> <td>2,485<th colspan="2">収益事業収入</th><td>-</td><td>-<th colspan="3"></th></td></td>		うち技能労務職員	4	9,940	2,485 <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-<th colspan="3"></th></td>	収益事業収入		-	- <th colspan="3"></th>						
	議会議長	1	2,330 <th>教育公務員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">土地開発基金現在高</th><td>81,720</td><td>81,720<th colspan="3"></th></td></td>		教育公務員	-	-	- <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>81,720</td> <td>81,720<th colspan="3"></th></td>	土地開発基金現在高		81,720	81,720 <th colspan="3"></th>						
	議会副議長	1	1,910 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="2">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>104,400</td><td>130,300<th colspan="3"></th></td></td>		臨時職員	-	-	- <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>104,400</td> <td>130,300<th colspan="3"></th></td>	積立金現在高	財政調整基金	104,400	130,300 <th colspan="3"></th>						
	議会議員	7	1,630 <th>合計</th> <td>53</td> <td>146,810</td> <td>2,770<th>減債基金</th><td>90,440</td><td>100,200<th colspan="3"></th></td></td>		合計	53	146,810	2,770 <th>減債基金</th> <td>90,440</td> <td>100,200<th colspan="3"></th></td>		減債基金	90,440	100,200 <th colspan="3"></th>						
						ラスパイレス指数		97.5		その他特定目的基金		476,129	551,727 <th colspan="3"></th>					
一般会計等の一覧 項番		会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番		会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番		会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名	(※3)
(1) 一般会計			(3) 東洋町国民健康保険事業			(7) 東洋町簡易水道事業			(10) 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合			(20) 東洋リゾート						
(2) 東洋町住宅新築資金等貸付事業			(4) 東洋町介護保険事業			(8) 東洋町下水道事業			(11) 芸東衛生組合									
			(5) 東洋町介護サービス事業			(9) 東洋町観光施設事業			(12) 高知県広域食肉センター事務組合									
			(6) 東洋町後期高齢者医療保険事業						(13) 安芸広域市町村圏事務組合・一般会計									
									(14) 安芸広域市町村圏事務組合・滞納整理事業									
									(15) こうち人づくり広域連合									
									(16) 高知縣市町村総合事務組合・一般会計									
									(17) 高知縣市町村総合事務組合・交通災害									
									(18) 高知県後期高齢者医療広域連合・一般会計									
									(19) 高知県後期高齢者医療広域連合・特別会計									

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	175,129	5.8	175,129	10.9	普通税	175,129	100.0	-	
地方譲与税	15,933	0.5	15,933	1.0	法定普通税	175,129	100.0	-	
利子割交付金	660	0.0	660	0.0	市町村民税	80,769	46.1	-	
配当割交付金	640	0.0	640	0.0	個人均等割	3,489	2.0	-	
株式等譲渡所得割交付金	583	0.0	583	0.0	所得割	69,818	39.9	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	5,380	3.1	-	
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	2,082	1.2	-	
地方消費税交付金	42,941	1.4	42,941	2.7	固定資産税	77,873	44.5	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	75,877	43.3	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	9,462	5.4	-	
自動車取得税交付金	3,148	0.1	3,148	0.2	市町村たばこ税	7,025	4.0	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-	
地方特例交付金	300	0.0	300	0.0	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	1,491,512	49.4	1,344,541	84.0	法定外普通税	-	-	-	
普通交付税	1,344,541	44.5	1,344,541	84.0	目的税	-	-	-	
特別交付税	146,971	4.9	-	-	法定目的税	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	-	-	-	
（一般財源計）	1,730,846	57.3	1,583,875	99.0	事業所税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	都市計画税	-	-	-	
分担金・負担金	1,962	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	
使用料	51,867	1.7	-	-	法定外目的税	-	-	-	
手数料	6,813	0.2	-	-	旧法による税	-	-	-	
国庫支出金	184,364	6.1	-	-	合計	175,129	100.0	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-					
都道府県支出金	213,324	7.1	-	-	区分	平成30年度		平成29年度	
財産収入	13,014	0.4	-	-	徴収率	現	計	合計	
寄附金	96,612	3.2	-	-	(%)	年		市町村民税	
繰入金	163,205	5.4	-	-				純固定資産税	
繰越金	77,676	2.6	-	-					
諸収入	57,083	1.9	16,356	1.0					
地方債	425,000	14.1	-	-	公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況		
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	合計	350,130	実質収支	1,324	
うち臨時財政対策債	58,200	1.9	-	-	下水道	76,500	再差引収支	-5,406	
歳入合計	3,021,766	100.0	1,600,231	100.0	簡易水道	33,126	加入世帯数（世帯）	533	
					上水道	-	被保険者数（人）	783	
					工業用水道	-	被保険者	80	
					国民健康保険	52,227	1人当り	国庫支出金	-
					その他	188,277		保険給付費	503

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等
議会費	47,324	1.6	-	47,324
総務費	634,013	21.2	39,977	411,574
民生費	618,923	20.7	4,437	401,645
衛生費	210,991	7.1	34,169	171,068
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	110,989	3.7	51,427	47,492
商工費	101,684	3.4	69,932	38,940
土木費	248,876	8.3	137,356	108,987
消防費	459,771	15.4	321,142	173,169
教育費	164,484	5.5	4,552	142,279
災害復旧費	19,811	0.7	-	9,411
公債費	370,600	12.4	-	370,600
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	2,987,466	100.0	662,992	1,922,489

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	979,795	32.8	872,374	856,805	51.7
人件費	466,066	15.6	450,834	446,746	26.9
うち職員給	250,050	8.4	238,626	-	-
扶助費	143,129	4.8	50,940	39,459	2.4
公債費	370,600	12.4	370,600	370,600	22.3
元利償還金	370,600	12.4	370,600	370,600	22.3
うち元金	347,148	11.6	347,148	347,148	20.9
うち利子	23,452	0.8	23,452	23,452	1.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	1,324,868	44.3	954,164	761,763	45.9
物件費	500,338	16.7	355,047	274,819	16.6
維持補修費	14,075	0.5	5,915	5,392	0.3
補助費等	404,378	13.5	268,819	201,894	12.2
うち一部事務組合負担金	83,268	2.8	83,268	63,482	3.8
繰出金	350,130	11.7	314,777	279,658	16.9
積立金	51,947	1.7	9,606	-	-
投資・出資金・貸付金	4,000	0.1	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	682,803	22.9	95,951	-	-
うち人件費	22,394	0.7	11,594	-	-
普通建設事業費	662,992	22.2	86,540	-	-
うち補助	251,264	8.4	25,406	-	-
うち単独	379,104	12.7	59,410	-	-
災害復旧事業費	19,811	0.7	9,411	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	2,987,466	100.0	1,922,489	-	-

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	3,274	2,985	289	260	163	3,881	
2	東洋町住宅新築資金等貸付事業	30	285	▲ 255	▲ 255	-	-	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	3,304	3,270	34	5		3,881	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	東洋町国民健康保険事業	533	532	1	1	57	-	-	-	
2	東洋町介護保険事業	609	593	16	16	110	-	-	-	
3	東洋町介護サービス事業	14	14	0	-	7	-	-	-	
4	東洋町後期高齢者医療保険事業	47	45	2	2	21	-	-	-	
5	東洋町簡易水道事業	126	126	0	0	33	525	306	-	法非適用企業
6	東洋町下水道事業	140	139	1	16	77	786	635	-	法非適用企業
7	東洋町観光施設事業	79	74	5	5	-	-	-	-	法非適用企業
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				40		1,311	941		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1	安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合	658	649	9	9	-	-	-	
2	芸東衛生組合	405	403	2	2	-	-	-	
3	高知県広域食肉センター事務組合	23	21	2	2	-	-	-	
4	安芸広域市町村圏事務組合・一般会計	1,049	1,022	27	27	-	550	38	
5	安芸広域市町村圏事務組合・滞納整理事業	43	43	0	0	-	-	-	
6	こうち人づくり広域連合	145	137	8	8	-	-	-	
7	高知県市町村総合事務組合・一般会計	4,831	3,696	1,135	1,135	3	-	-	
8	高知県市町村総合事務組合・交通災害	9	9	0	0	-	-	-	
9	高知県後期高齢者医療広域連合・一般会計	54	50	4	4	-	-	-	
10	高知県後期高齢者医療広域連合・特別会計	145,429	141,225	4,204	4,204	-	-	-	
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				5,391		550	38	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	東洋リゾート	0	0	5	-	-	-	-	-	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			5						

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

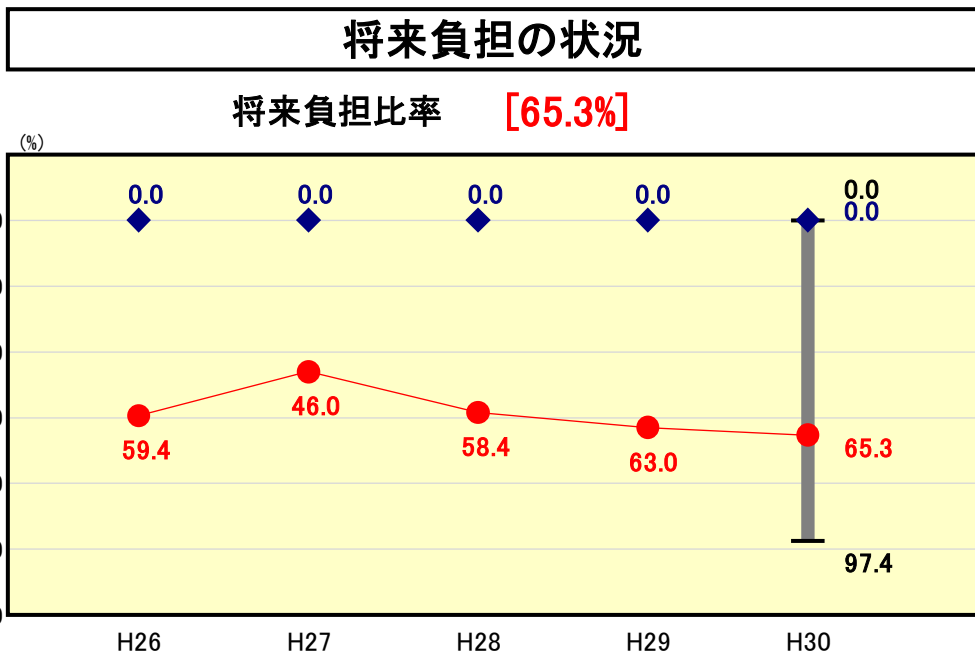
実質公債費比率（千円・％）				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比
元利償還金	362,469	369,482	370,600	27.9
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-
準元利償還金				
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	80,671	79,710	87,355	6.6
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	26,054	26,054	26,057	2.0
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	-	-	-	-
一時借入金の利子	-	-	-	-
合計	(A) 469,194	475,246	484,012	
内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比
PFI事業に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
利子補給に係るもの	-	-	-	-
特定財源の額	(B) -	-	-	
標準財政規模	(C) 1,682,296	1,641,998	1,644,059	
算入公債費等の額	(D) 326,677	315,860	315,044	
	(C)－(D) 1,355,619	1,326,138	1,329,015	
実質公債費比率	(単年度)	10.5	12.0	12.7
$((A)-(B)+(D)) / ((C)-(D)) \times 100$	(3ヵ年平均)	8.7	9.8	11.7

将来負担の状況				将来負担比率（千円・％）								
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比	内訳		平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比	
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	3,837,788	3,802,760	3,880,612	292.0	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	-	
	債務負担行為に基づく支出予算額	-	-	-	-	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	-	
	公営企業債等繰入見込額	967,634	933,548	940,819	70.8	国営土地改良事業に係るもの	-	-	-	-	-	
	組合等負担等見込額	87,946	63,222	38,102	2.9	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	-	
	退職手当負担見込額	405,883	403,273	282,851	21.3	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	-	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-	-	
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	-	
	合計	(E)	5,299,251	5,202,803	5,142,384	-	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	-
充当可能 財源等	充当可能基金	1,023,969	867,487	752,474	56.6	東洋町下水道事業	714,788	644,709	634,673	47.8		
	充当可能特定歳入	55,177	43,030	110,530	8.3	東洋町簡易水道事業	252,846	288,839	306,146	23.0		
	基準財政需要額算入見込額	3,427,139	3,455,525	3,411,369	256.7	東洋町介護サービス事業	-	-	-	-		
	合計	(F)	4,506,285	4,366,042	4,274,373	-	東洋町介護保険事業	-	-	-	-	
将来負担比率((E)-(F))／((C)-(D))×100					58.4	63.0	65.3					
						公社・ 三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-	
							土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-	
							地方独立行政法人に係る将来負担額	-	-	-	-	
							その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-	
								-	-	-	-	
健全化判断比率		平成30年度	早期健全化基準	財政再生基準								
実質赤字比率		-	15.00	20.00								
連結実質赤字比率		-	20.00	30.00								
実質公債費比率		11.7	25.0	35.0								
将来負担比率		65.3	350.0									

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	2,450	人(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%						
うち	日本人	2,433	人(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	-	%					
面積	総額	74.02	k㎡	実	質	公	債	費	比	率	11.7	%					
歳入	総額	3,021,766	千円	得	来	負	担	比	率	65.3	%						
歳出	総額	2,987,466	千円	市	町	村	類	型			H26	I-O	H27	I-O	H28	I-O	
実質	収支	4,942	千円	(	年	度	毎	)			H29	I-O	H30	I-O			
標準	財政規模	1,644,059	千円														
地方債	現在高	3,880,612	千円														

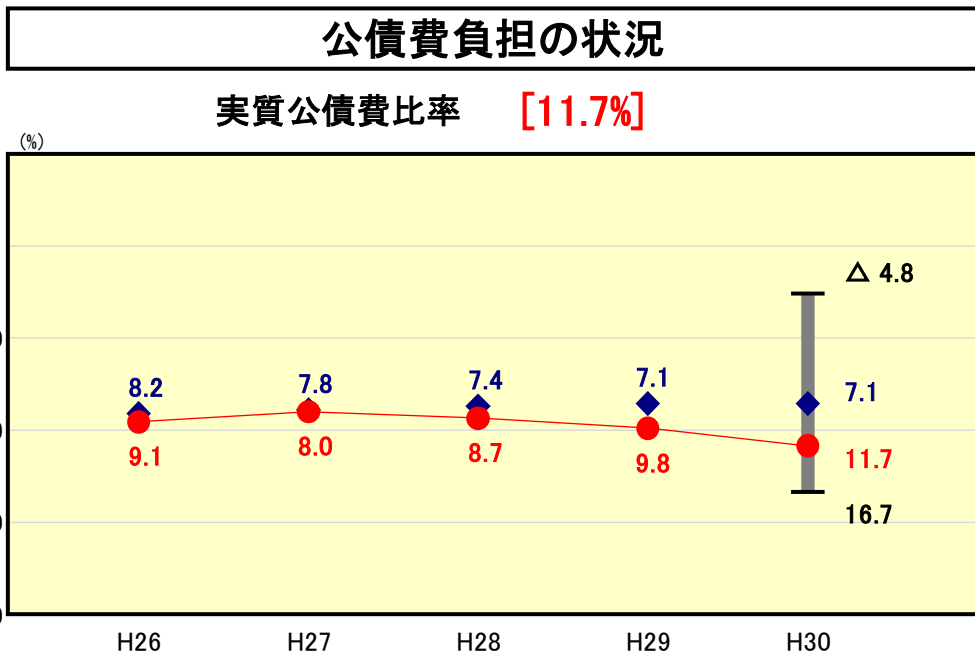
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 143/151
全国平均 28.9
高知県平均 47.8

将来負担比率の分析欄

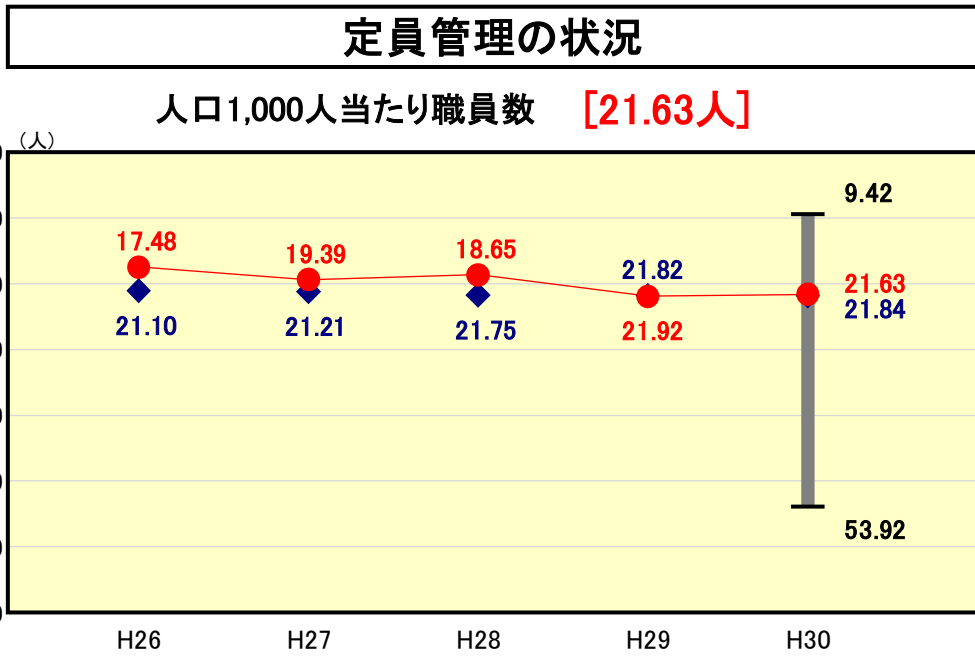
将来負担比率について、悪化の傾向となっている。要因として、充当可能基金の残高が少ないことや、地方債残高の増加が挙げられる。地方債残高は今後、微増する見込みであり、発行抑制に努める。また、基金についても、将来の財政負担を減らすためにも財源を確保し、積立をしていく必要がある。



類似団体内順位 136/151
全国平均 6.1
高知県平均 10.6

実質公債費比率の分析欄

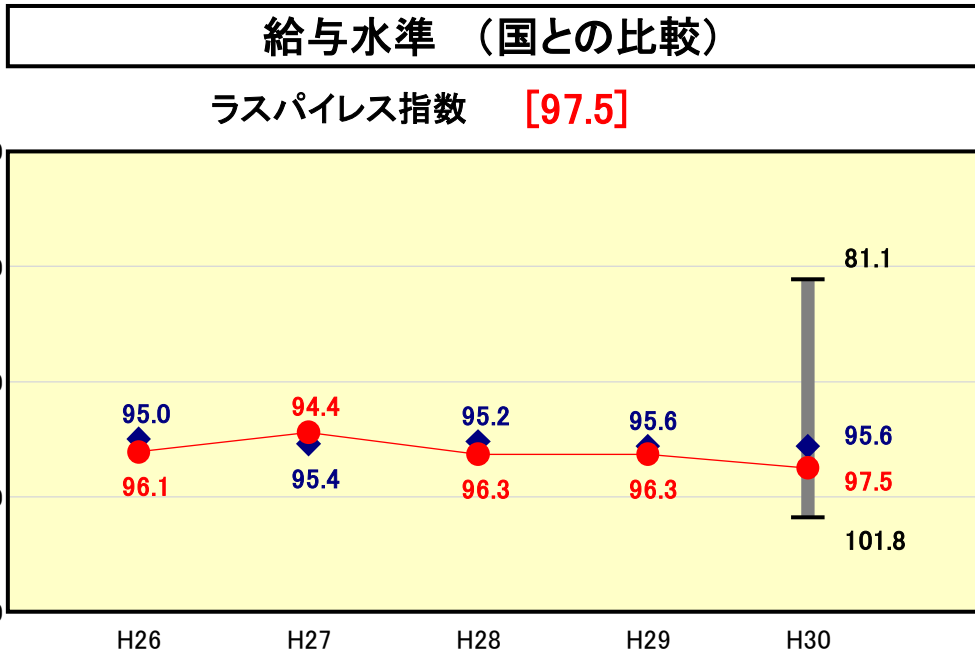
平成27年度までは類似団体と同水準であったが、平成28年度より本町の数値が悪化している。主な要因は、平成28年度より光ケーブル整備事業（過疎対策事業債）の償還が始まったことが挙げられ、償還期限の令和6年度まで数値が悪化する恐れがある。



類似団体内順位 63/151
全国平均 7.95
高知県平均 10.64

人口1,000人当たり職員数の分析欄

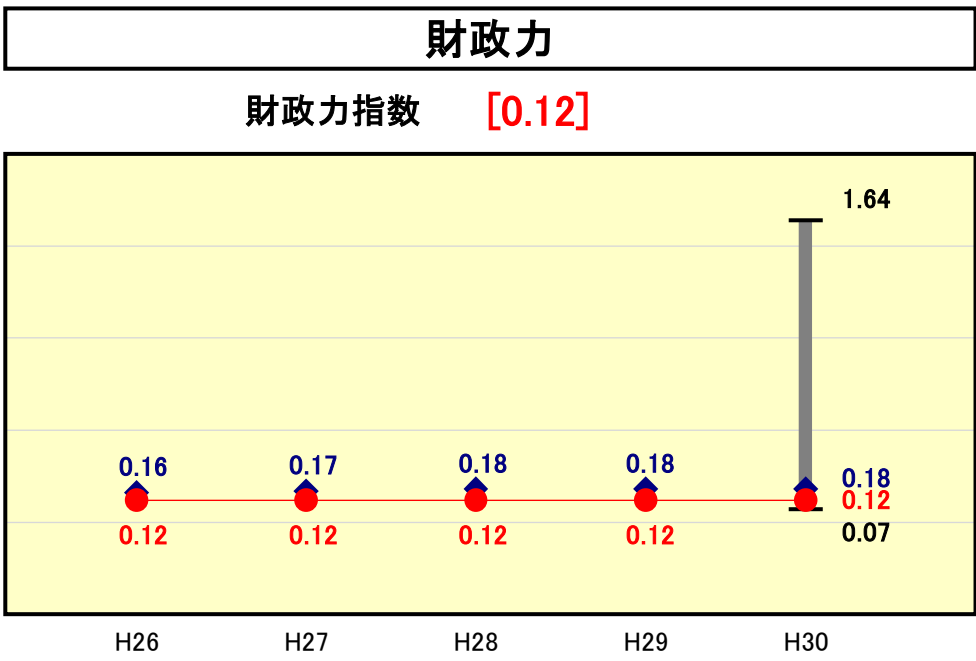
類似団体平均とは大きく変わらない状況であるが、高知県内平均の約2倍の職員数であり、近隣市町村の動向を見ながら適正な定員管理を行っていく必要がある。



類似団体内順位 112/151
全国市平均 98.9
全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄

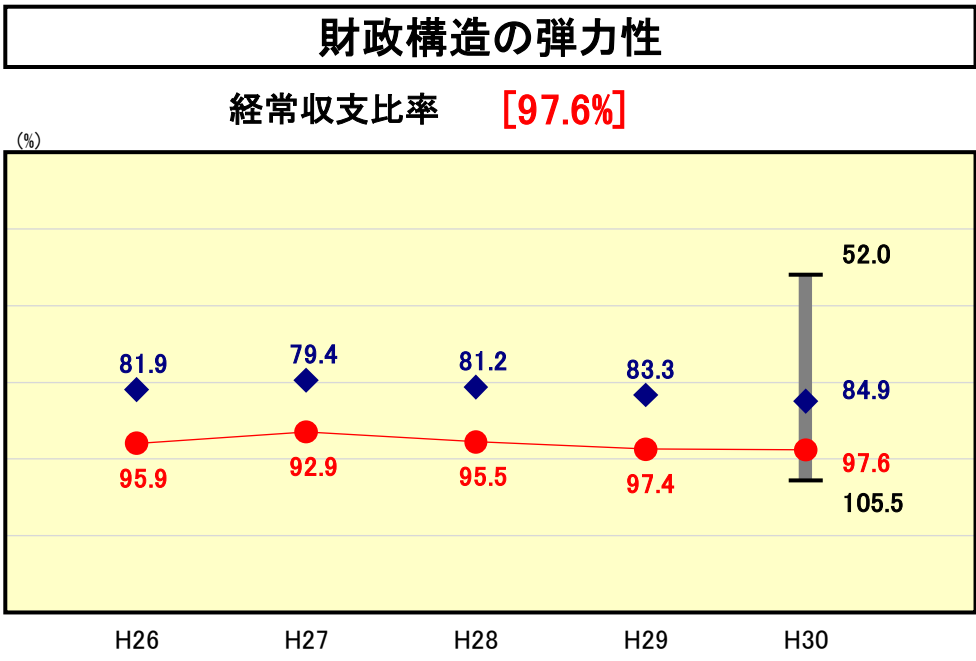
ラスパイレス指数は100を下回っているが、類似団体平均と比較して少し上回った結果となった。今後も引き続き給与の適正化に努めていく。



類似団体内順位 124/151
全国平均 0.51
高知県平均 0.26

財政力指数の分析欄

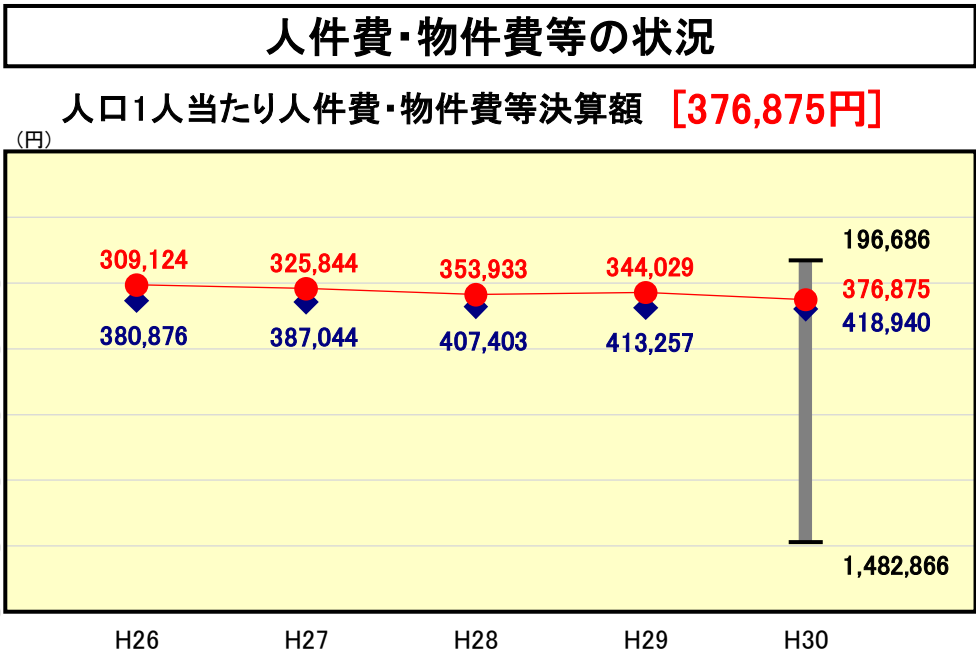
財政力指数は平成26年度から横ばいとなっており、類似団体と比較してやや下回っている現状である。本町は過疎化が進んでおり、労働力人口の低下や、基幹産業である一次産業の低迷などが原因として挙げられる。高知県と連携した一次産業の振興による産業基盤の強化や、使用料や住宅新築資金貸付金などの徴収強化に取り組み財政の健全化に努める。



類似団体内順位 141/151
全国平均 93.0
高知県平均 94.4

経常収支比率の分析欄

公債費を筆頭に経常経費が町財政を圧迫している状況であり、類似団体と比較して大きく上回っている状況である。また、公共施設の修繕費や各システムの保守経費・使用料も経常経費を圧迫させている。今後も公債費は増加若しくは横ばいで推移していく見通しであり、歳入特定財源の確保を筆頭に起債額の抑制に取り組み、財政の硬直化を改善していく。



類似団体内順位 47/151
全国平均 132,793
高知県平均 163,614

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費に関しては、平成30年度に退職者7名分の退職手当負担金が増額となったことにより前年度より増額となった。職員のいびつな年齢構成割合を継続して平準化していくとともに、定員適正化計画に基づき人件費の抑制も引き続き行っていく。
物件費に関しては、情報機器の保守運用経費等を筆頭に年々財政が硬直化している傾向があり、物件費全体として業務見直し等により削減していく必要がある。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

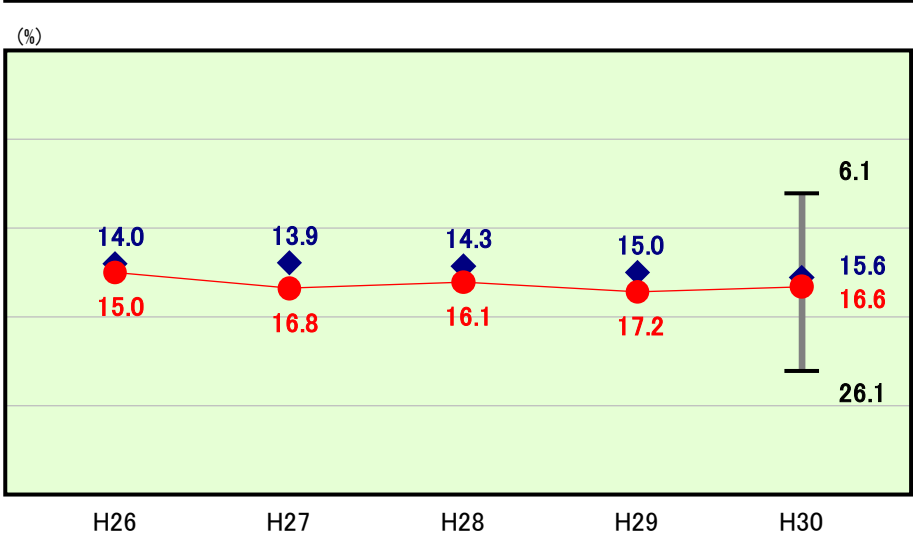
高知県東洋町

経常収支比率の分析

人	2,450	人(H31.1.1現在)	-	%
うち日本人	2,433	人(H31.1.1現在)	-	%
面積	74.02	km ²		
歳入総額	3,021,766	千円	実質赤字比率	
歳出総額	2,987,466	千円	連結実質赤字比率	
実質収支	4,942	千円	実質公債費比率	11.7 %
標準財政規模	1,644,059	千円	将来負担比率	65.3 %
地方債現在高	3,880,612	千円		
			市町村類型	H26 I-O H27 I-O H28 I-O
			(年度毎)	H29 I-O H30 I-O



物件費

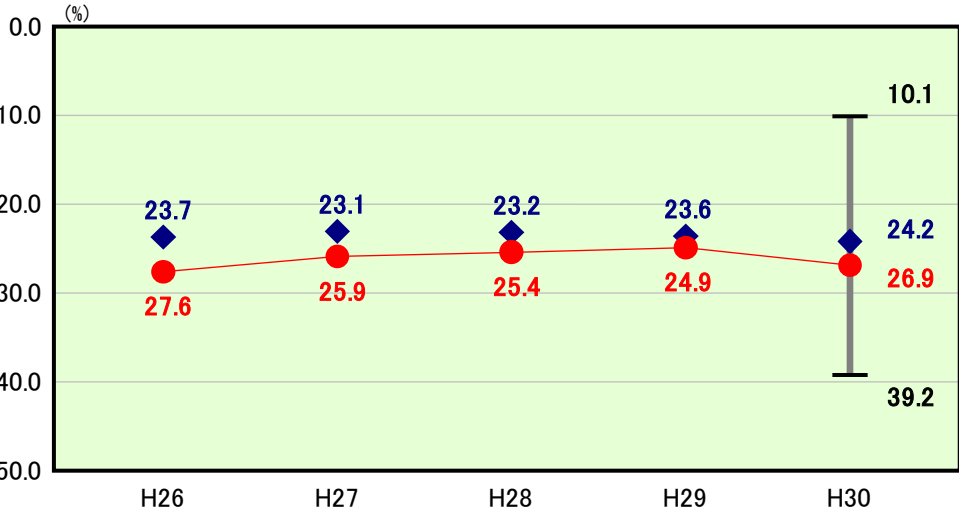


類似団体内順位 91/151 全国平均 14.7 高知県平均 12.4

物件費の分析欄

各種システム関連の導入や更新・保守経費などを筆頭に経常経費を圧迫しており、類似団体平均を上回る結果となっている。必要経費の確保のために、日常的な経常経費の削減や、業務の見直し等に取り組んでいく。

人件費

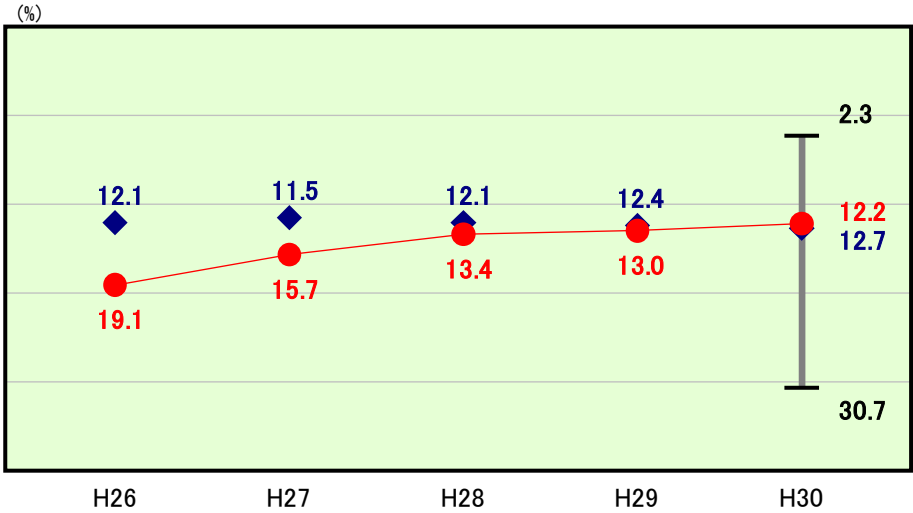


類似団体内順位 104/151 全国平均 25.6 高知県平均 24.5

人件費の分析欄

人件費に係るものは、平成30年度において26.9%と類似団体平均と比べて高い水準にある。40代、50代の職員数の割合が多く、新規職員の採用など定員適正化管理を行い改善が見られたが、平成30年度では退職者7名分の退職手当負担金が増額したことによる悪化となっている。

補助費等

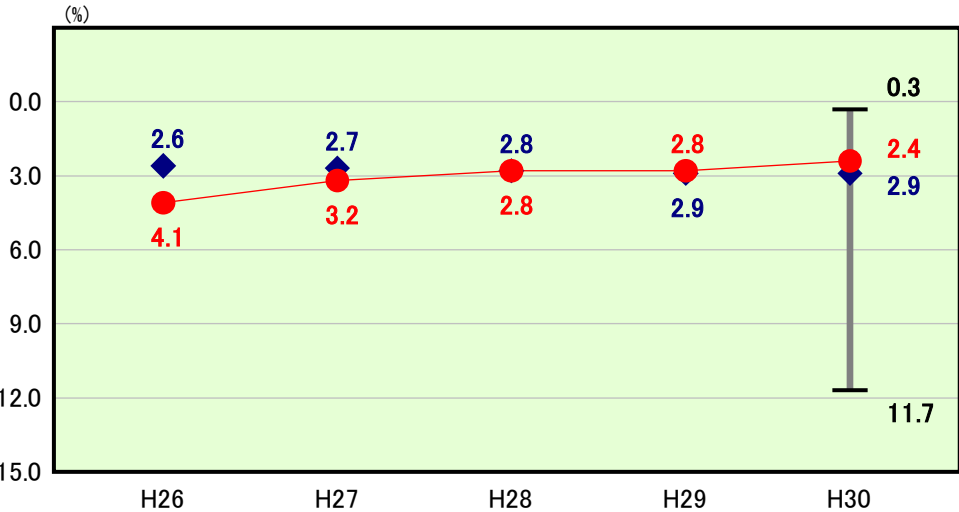


類似団体内順位 78/151 全国平均 10.2 高知県平均 9.7

補助費等の分析欄

平成26年度頃の類似団体平均との格差は是正されてきている。本町は、消防業務を室戸市に委託しているほか、広域でゴミ処理に要する費用負担を行っており、経常経費の削減が困難な状況となってきた。住民や他団体への補助金等の支出を慎重に行い、バランスを取っていく必要がある。

扶助費

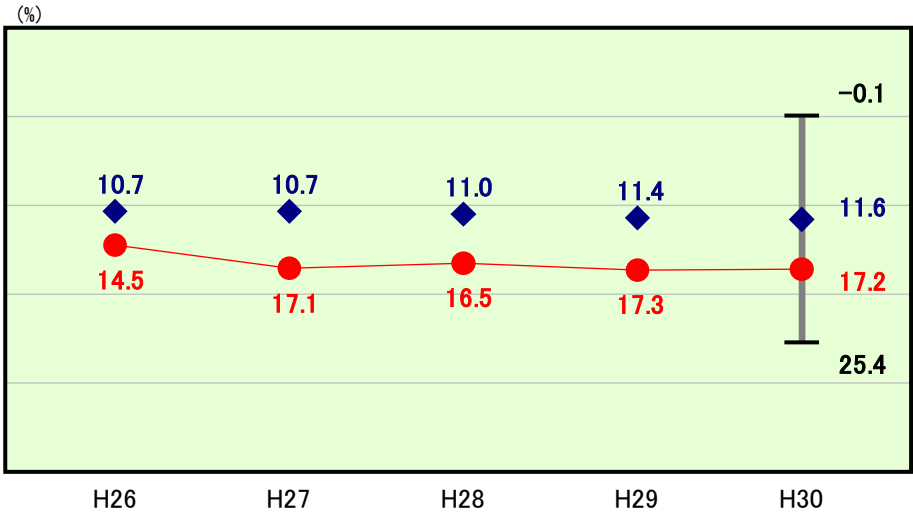


類似団体内順位 62/151 全国平均 12.6 高知県平均 12.3

扶助費の分析欄

昨年度に引き続き、類似団体平均値とほとんど同様であった。しかし、障害福祉関連費の決算額により影響を受けやすい構造にあるため、今後社会保障経費関連の事業費は慎重に判断していく必要がある。

その他

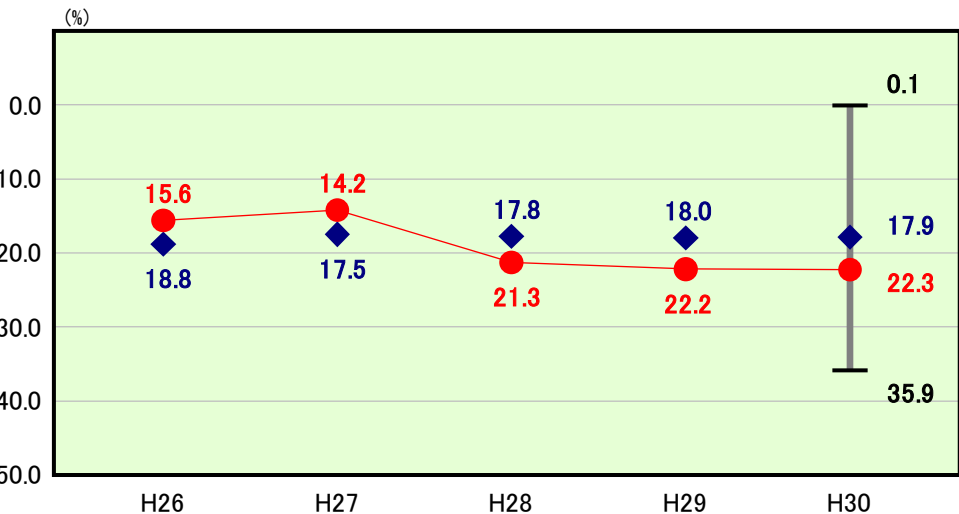


類似団体内順位 133/151 全国平均 13.3 高知県平均 14.8

その他の分析欄

その他の経費について、類似団体平均を上回っているのは繰出金の増加が挙げられる。主な繰出先は、国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、下水道事業会計、簡易水道事業会計であり、保険料や使用料の適正化や徴収強化に取り組み、普通会計からの赤字補てん繰入金を削減していく必要がある。

公債費

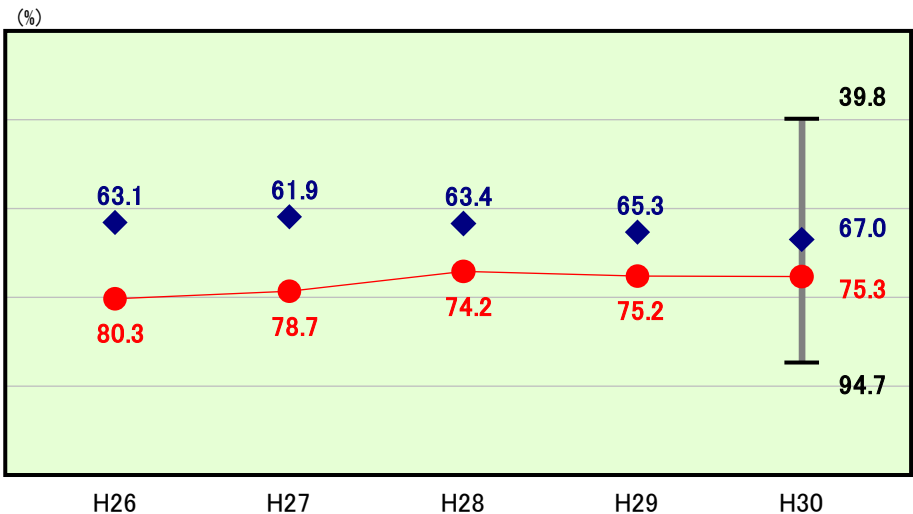


類似団体内順位 128/151 全国平均 16.6 高知県平均 20.7

公債費の分析欄

類似団体平均と逆転した平成28年度からは光ケーブル整備事業（償還額120,000千円／年）の償還が始まっており、今後も類似団体平均よりも悪化する恐れがある。

公債費以外



類似団体内順位 124/151 全国平均 76.4 高知県平均 73.7

公債費以外の分析欄

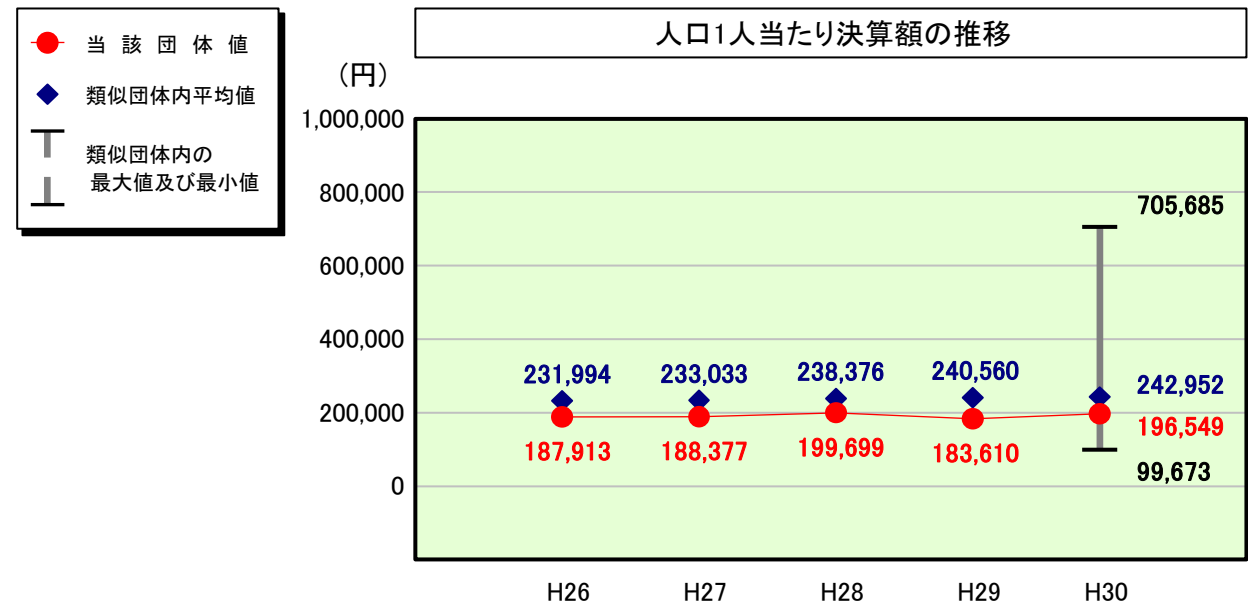
公債費を除く類似団体平均との差は年々解消している傾向にある。経常経費の大部分を占める人件費は定員適正化計画に基づく抑制や、事業見直しによる歳出削減に取り組んでいく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

高知県東洋町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

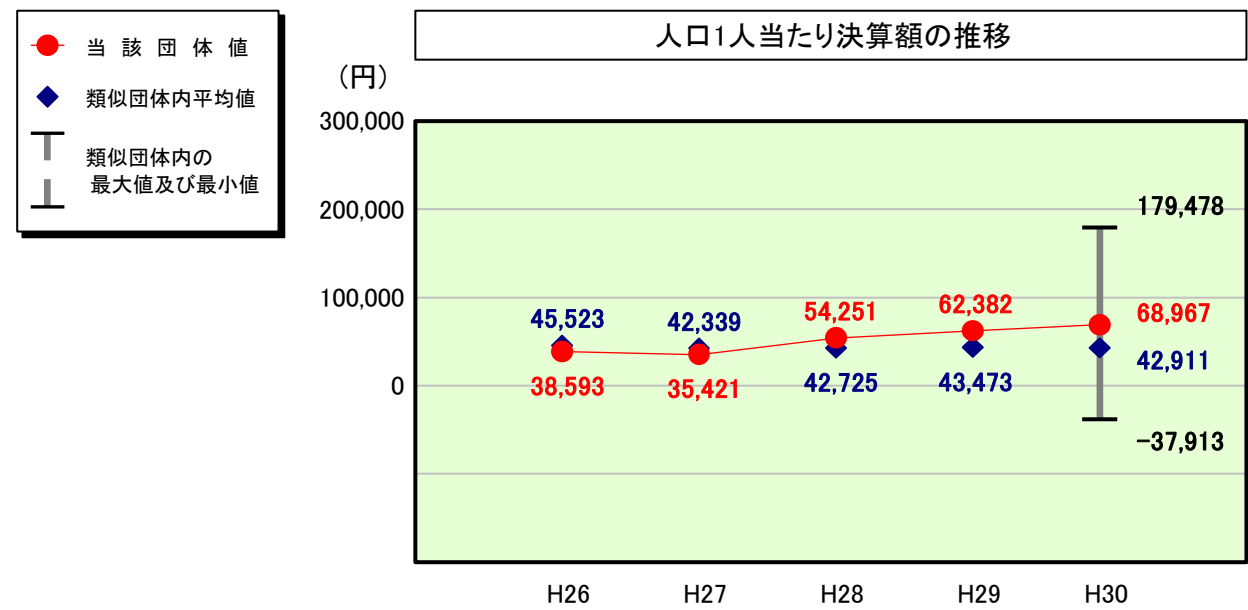
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	466,066	190,231	190,701	▲ 0.2
賃金 (物件費)	64,301	26,245	22,807	15.1
一部事務組合負担金 (補助費等)	8,314	3,393	29,822	▲ 88.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	3,258	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	24	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	-	-	10,094	-
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	22,394	9,140	4,017	127.5
▲退職金	▲ 79,529	▲ 32,461	▲ 17,771	82.7
合計	481,546	196,549	242,952	▲ 19.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	21.63	21.84	▲ 0.21
ラスパイレス指数	97.5	95.6	1.9

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

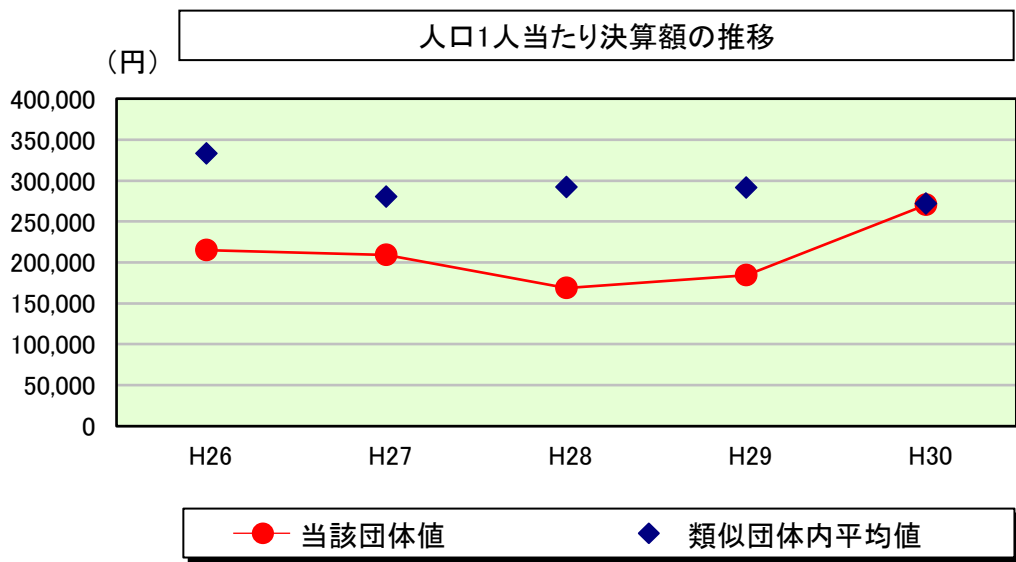


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	370,600	151,265	136,235	11.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	5	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	87,355	35,655	32,688	9.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	26,057	10,636	4,188	154.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,212	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	25	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 7,598	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 315,044	▲ 128,589	▲ 123,844	3.8
合計	168,968	68,967	42,911	60.7

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

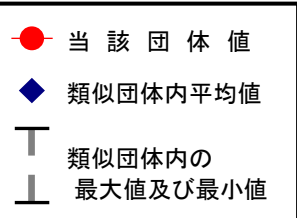
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A) - (B)
H26	601,697	214,662	▲ 7.2	333,013	5.3	▲ 12.5
うち単独分	254,412	90,764	▲ 25.0	126,732	19.1	▲ 44.1
H27	571,464	209,021	▲ 2.6	280,458	▲ 15.8	13.2
うち単独分	246,371	90,114	▲ 0.7	127,286	0.4	▲ 1.1
H28	443,100	168,671	▲ 19.3	291,945	4.1	▲ 23.4
うち単独分	246,186	93,714	4.0	127,651	0.3	3.7
H29	470,108	183,995	9.1	291,173	▲ 0.3	9.4
うち単独分	183,591	71,856	▲ 23.3	119,071	▲ 6.7	▲ 16.6
H30	662,992	270,609	47.1	271,581	▲ 6.7	53.8
うち単独分	379,104	154,736	115.3	117,844	▲ 1.0	116.3
過去5年間平均	549,872	209,392	5.4	293,634	▲ 2.7	8.1
うち単独分	261,933	100,237	14.1	123,717	2.4	11.7

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成30年度

高知県東洋町

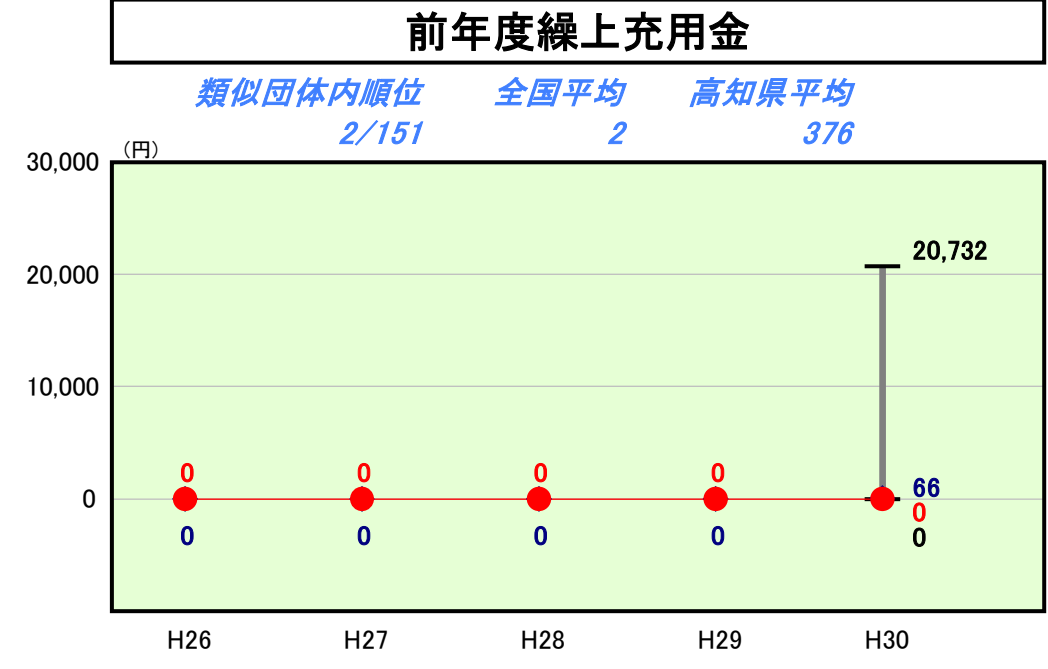
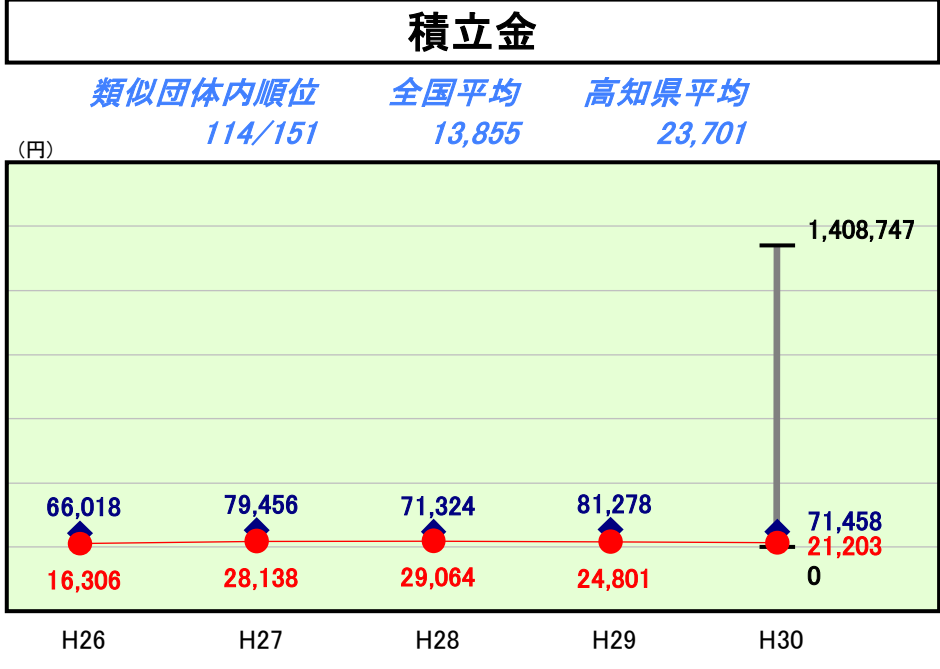
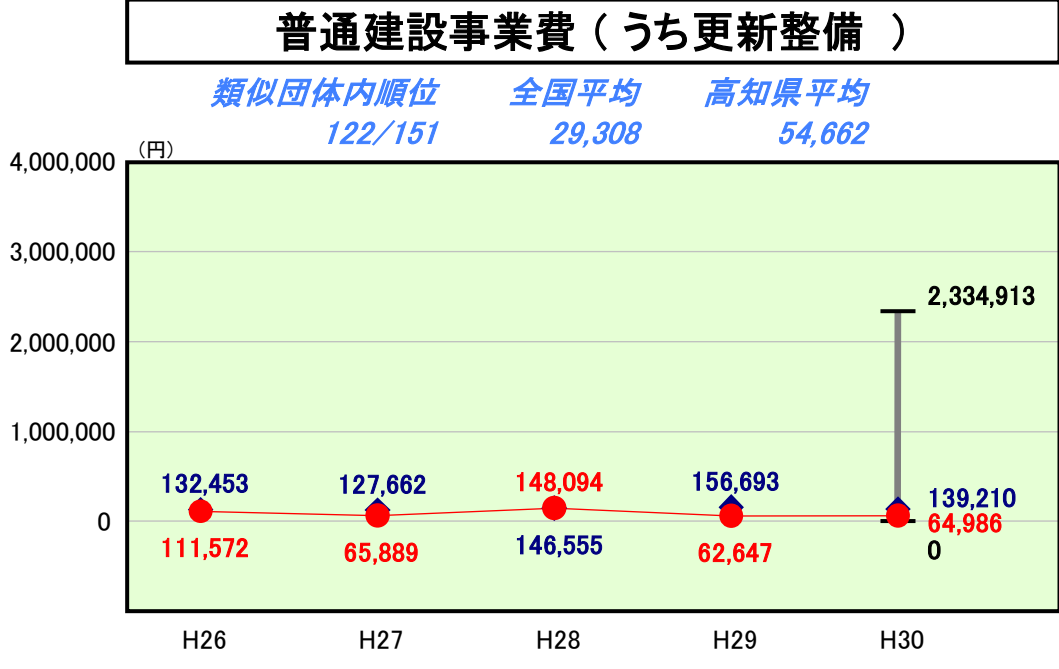
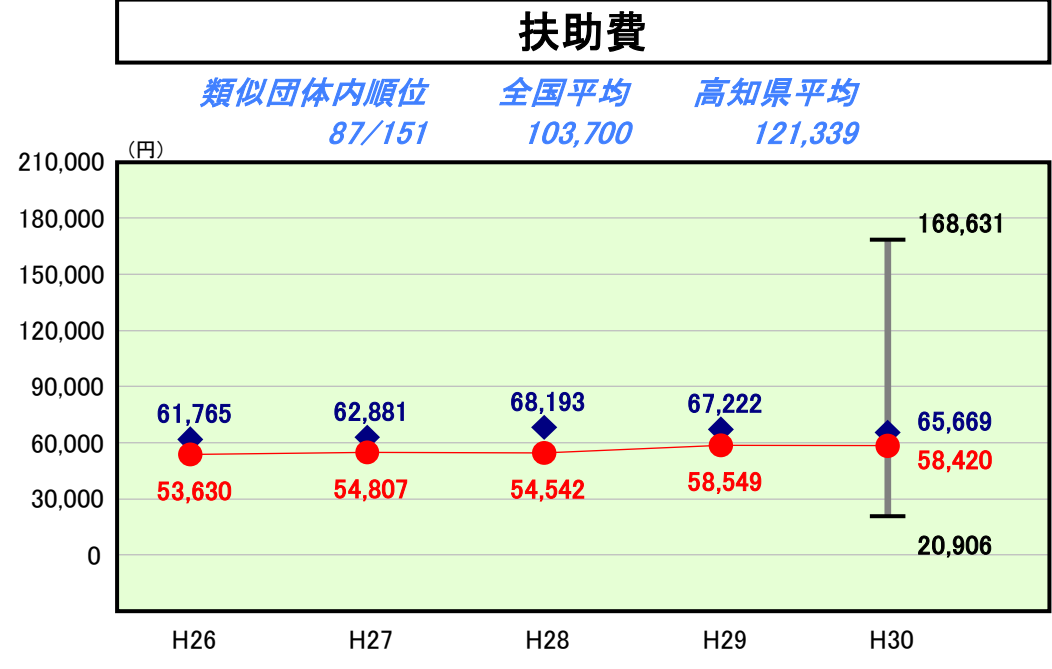
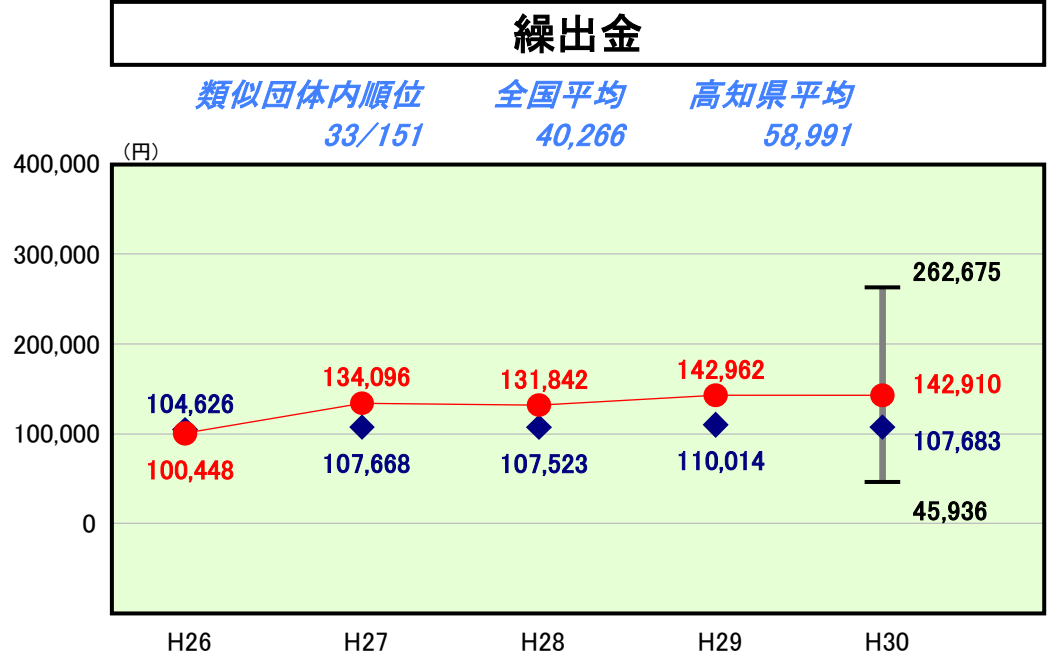
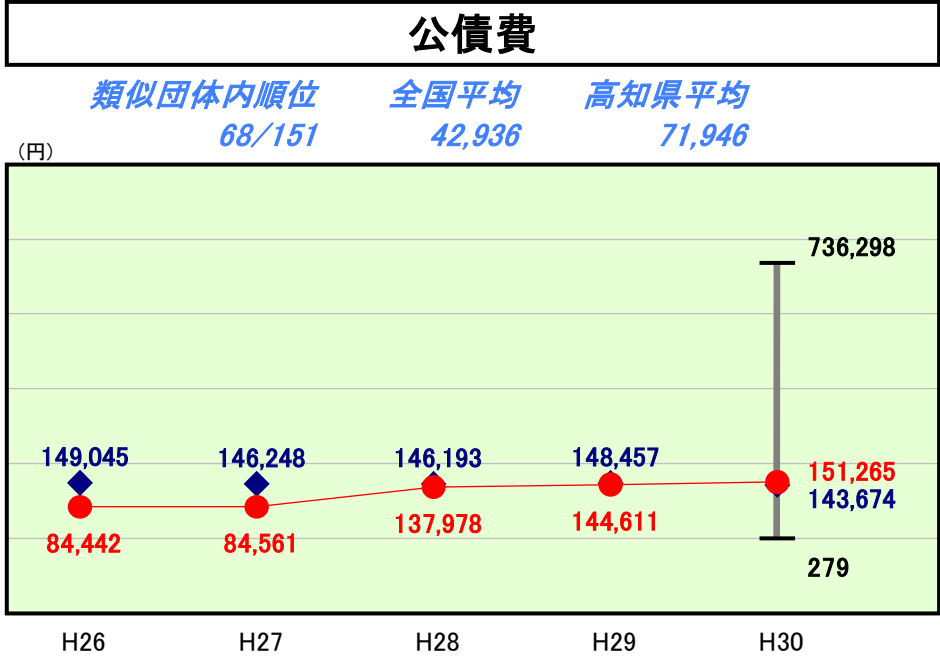
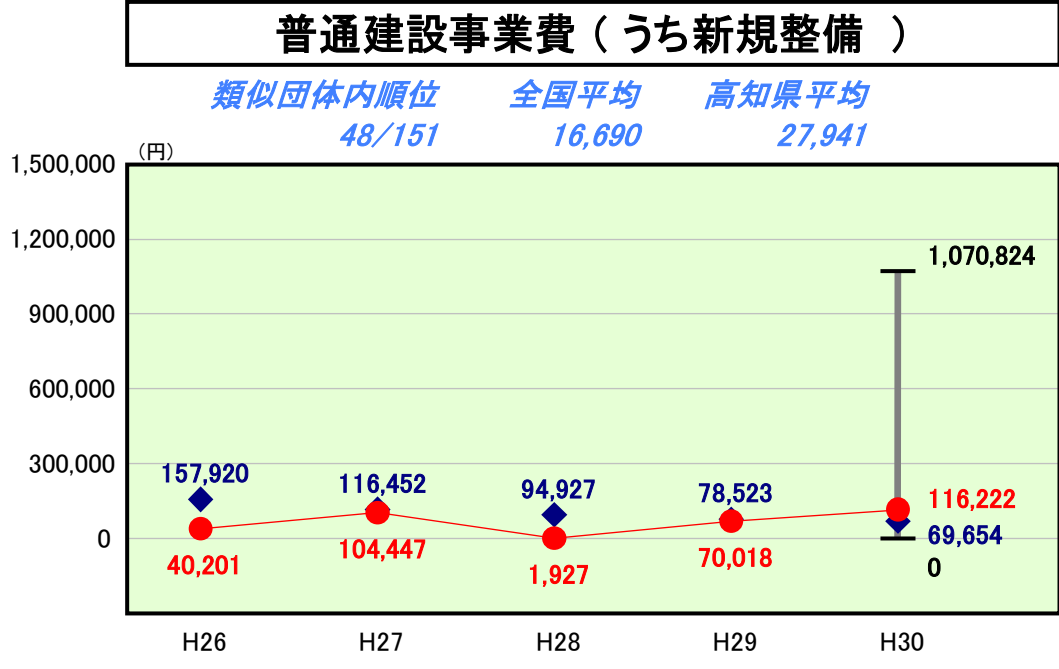
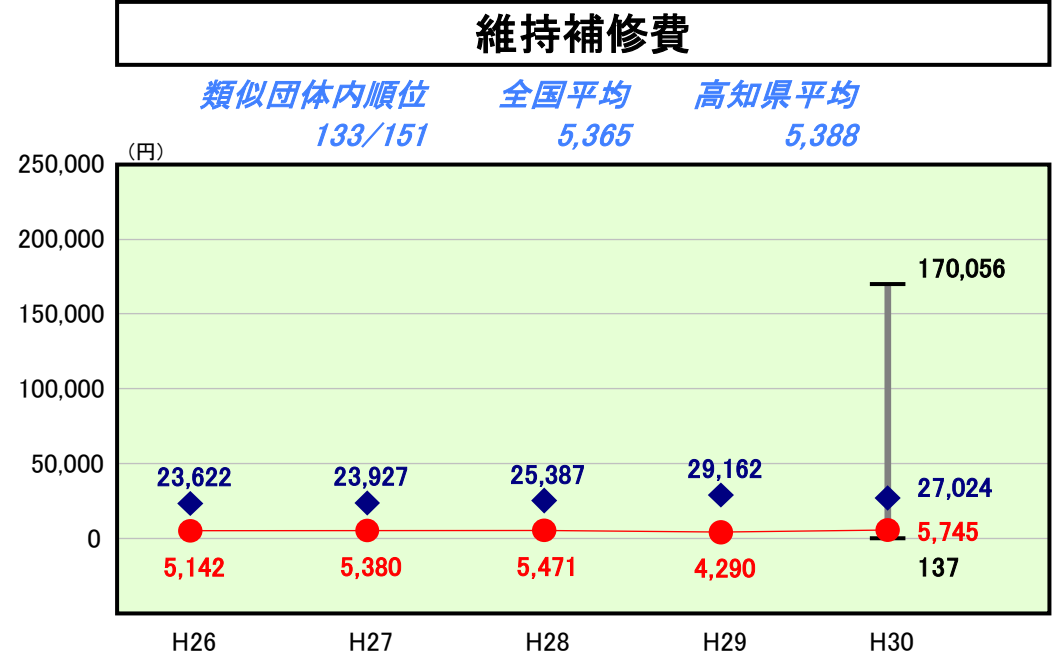
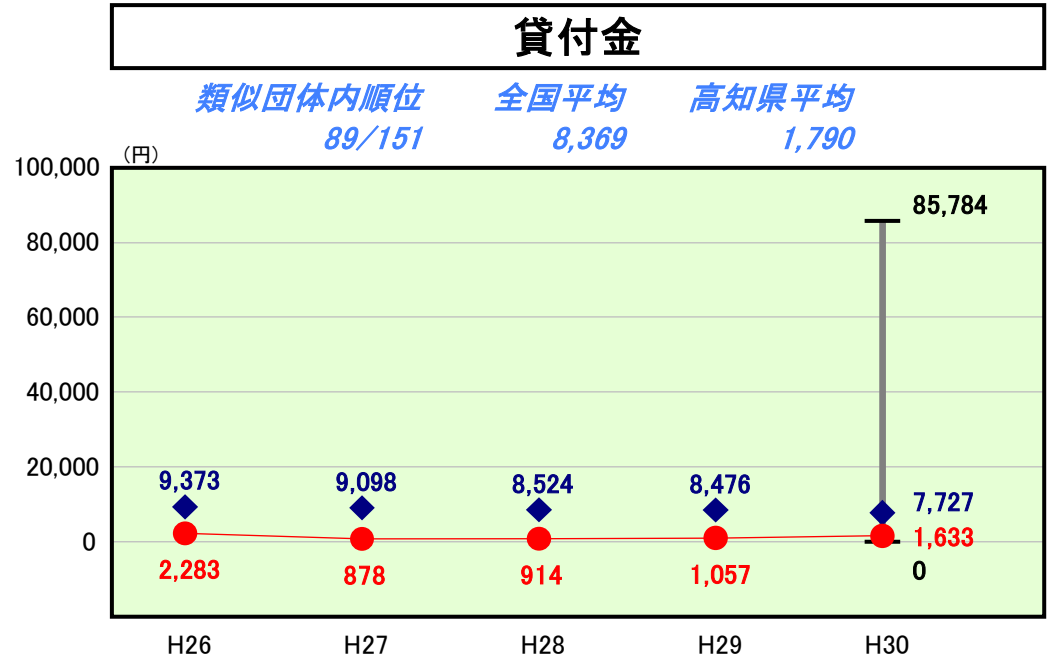
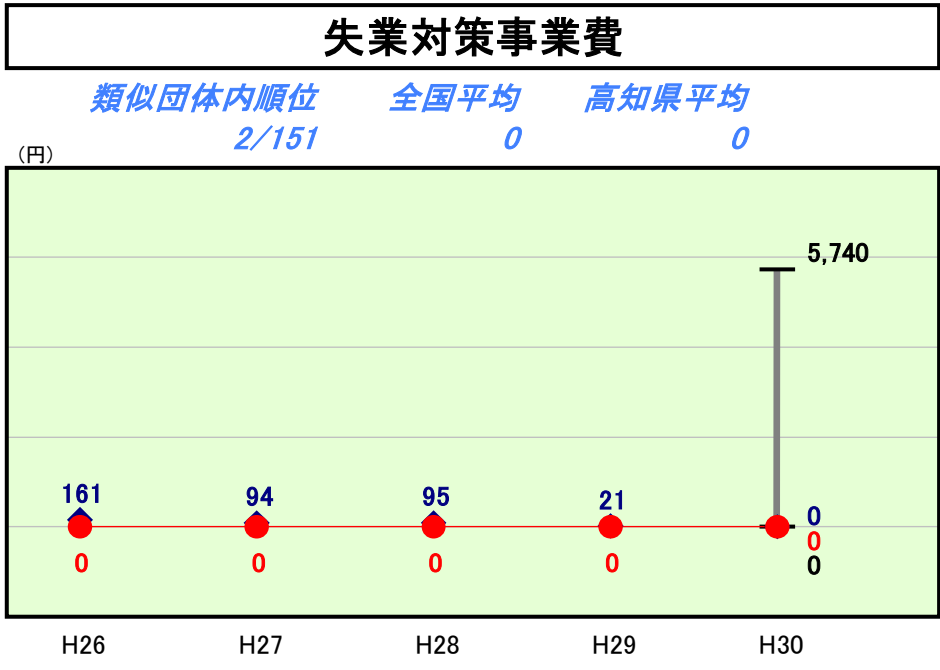
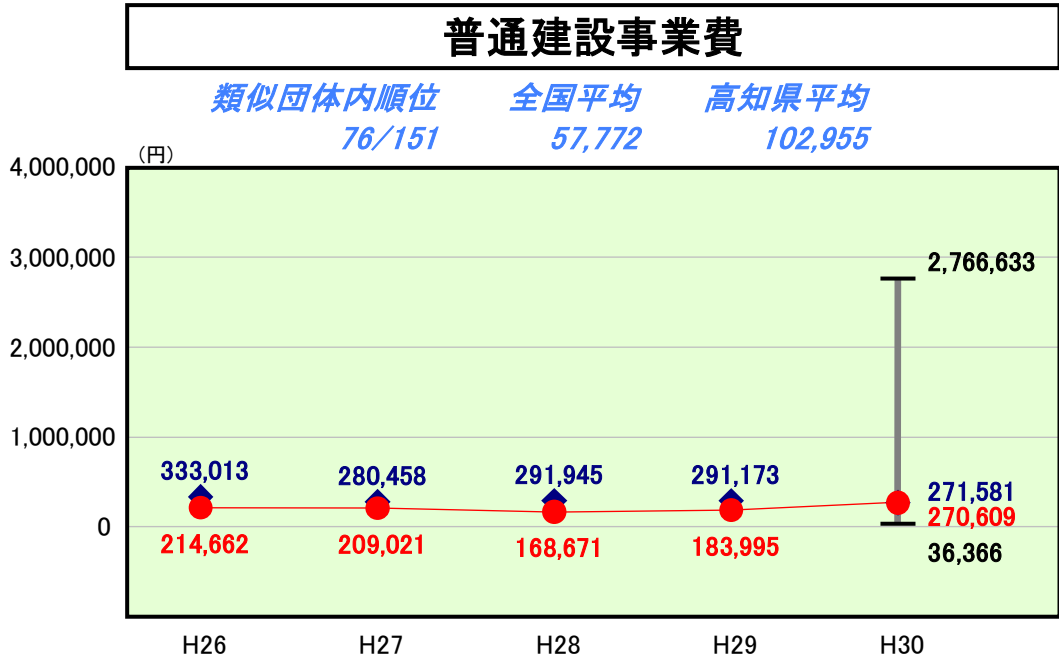
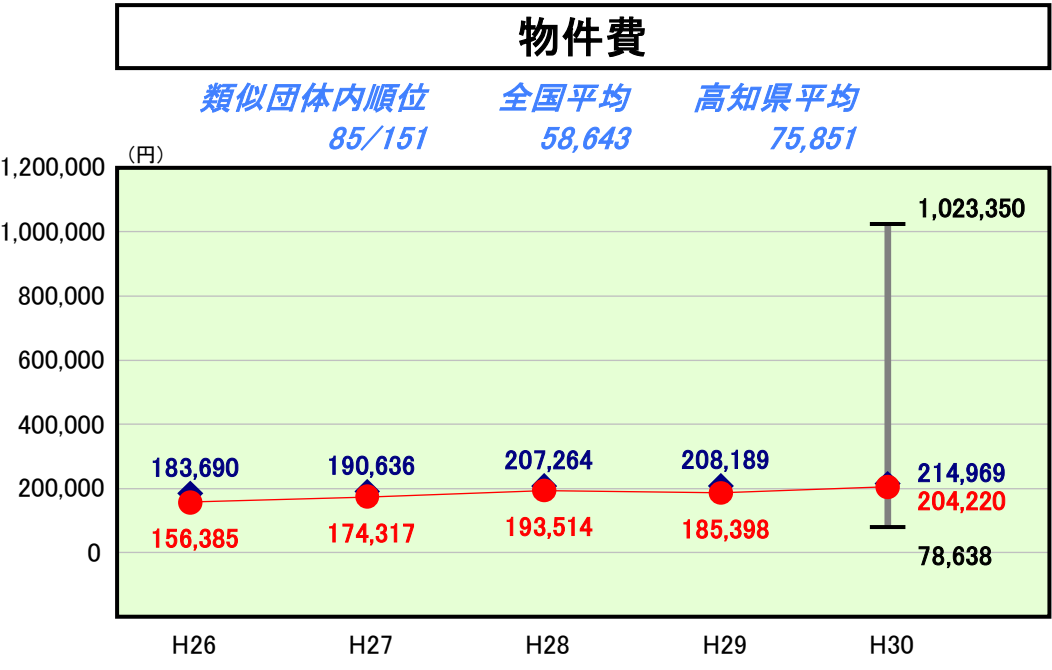
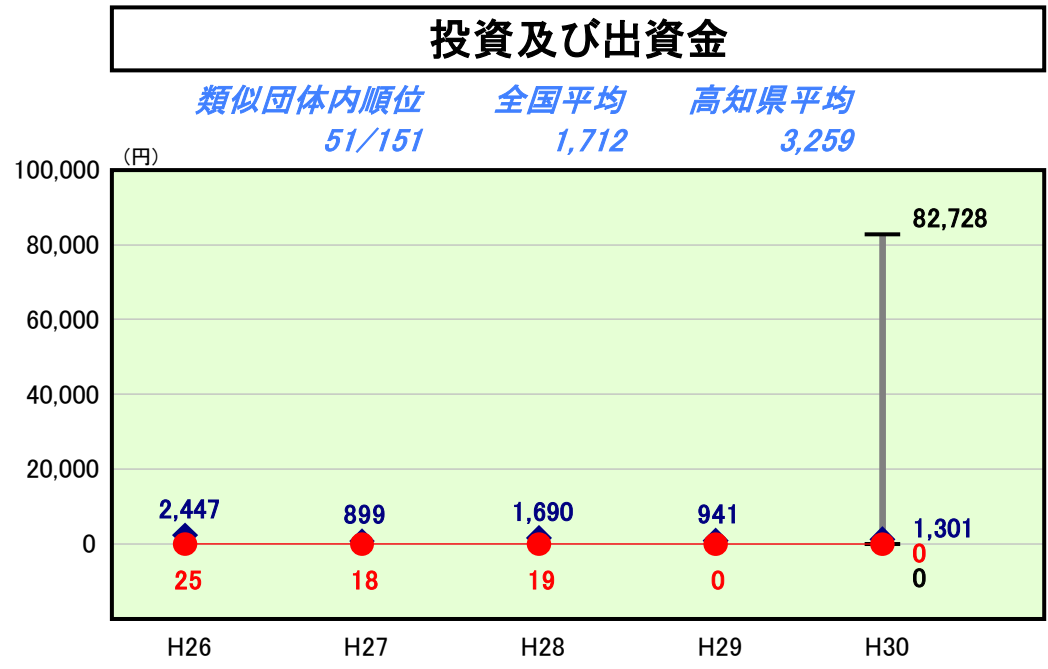
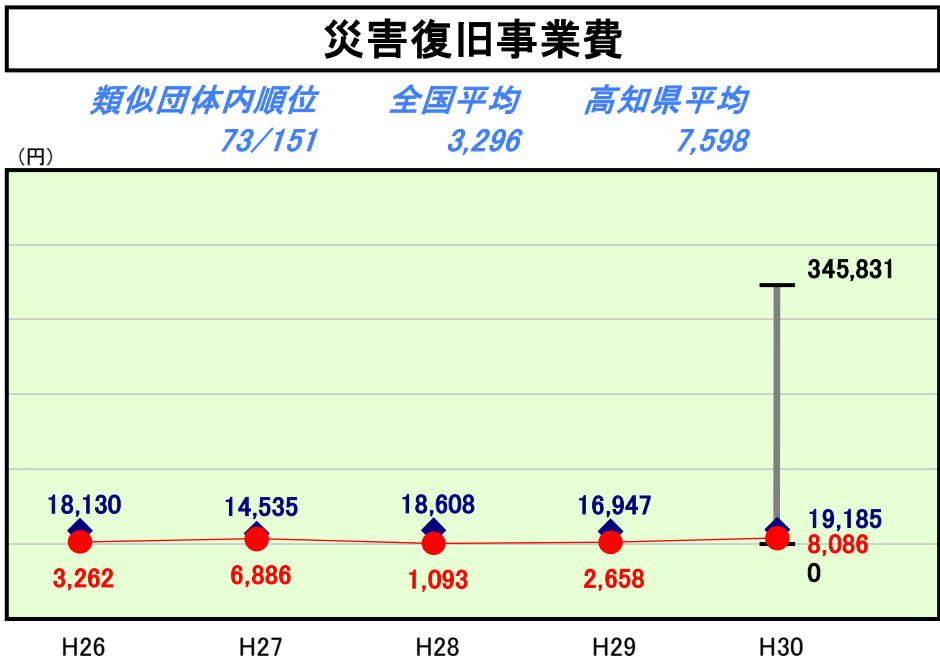
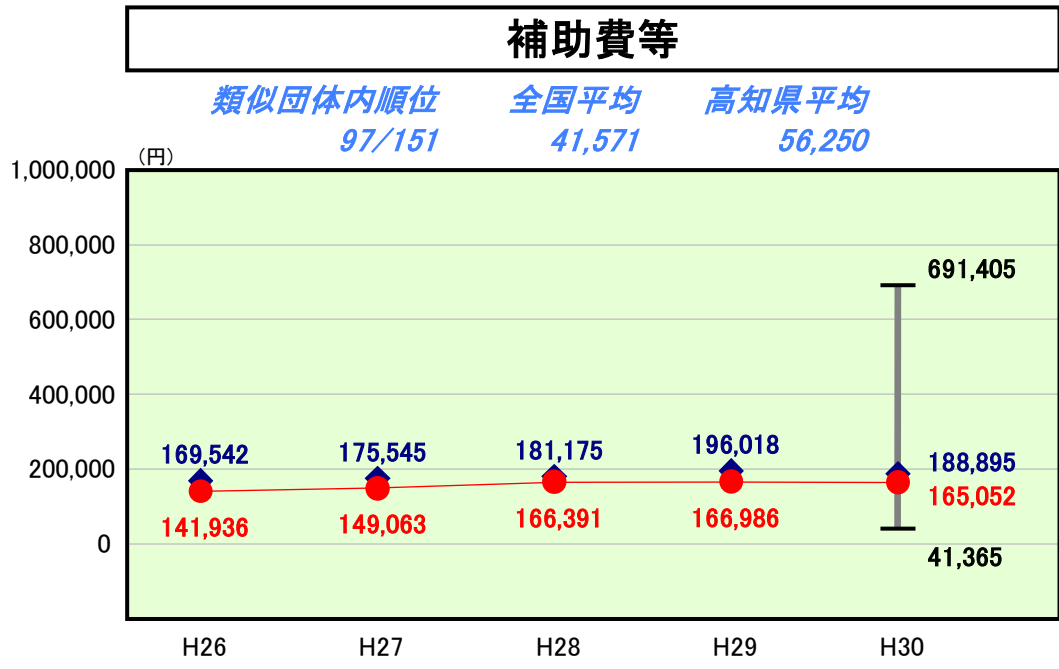
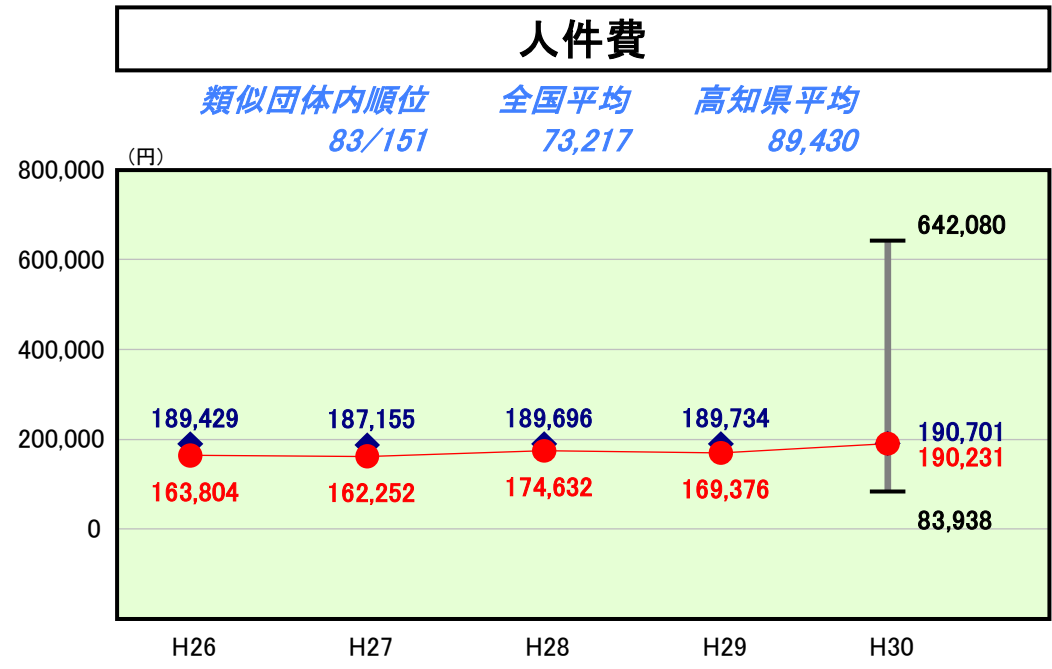
人	2,450	人(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
口	2,433	人(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面	74.02	k㎡	実	質	公	債	費	比	率	11.7
歳	3,021,766	千円	将	来	負	担	比	率	65.3	%
入	2,987,466	千円	市	町	村	類	型	H26	I-O	H27
出	4,942	千円	(	年	度	毎	)	H29	I-O	H30
実	1,644,059	千円								
質	3,880,612	千円								
取										
支										
模										
規										
方										
債										
現										
在										
高										



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

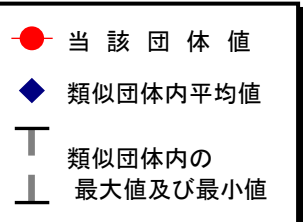
歳出決算総額は2,987,466千円であり、住民一人当たり1,219千円となっている。類似団体平均と比較して大きく上回っているものは繰出金であり、各特別会計への繰出金が多くなっている。これは人口減少による各特別会計の収入が少なくなってきたり、赤字補てんとして一般会計からの繰出金が多くなってきたことによる。保険料、使用料の見直しを行うとともに、徴収強化による収入未済の徴収に努める。類似団体平均と比較して下回っているものは維持補修費である。これは、本町において大型の施設が少ないことや、現存の各施設は老朽化こそ進んでいるが、維持補修費は少額である場合が多く住民一人当たりのコストを抑えられている。また、公債費については平成30年度で類似団体平均とほぼ同水準であるが、本町の人口減少の傾向と地方債残高の増加傾向を考慮すると今後類似団体平均より悪化していく恐れがあり、地方債の発行には注意を払い、発行抑制に努めていく。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成30年度

高知県東洋町

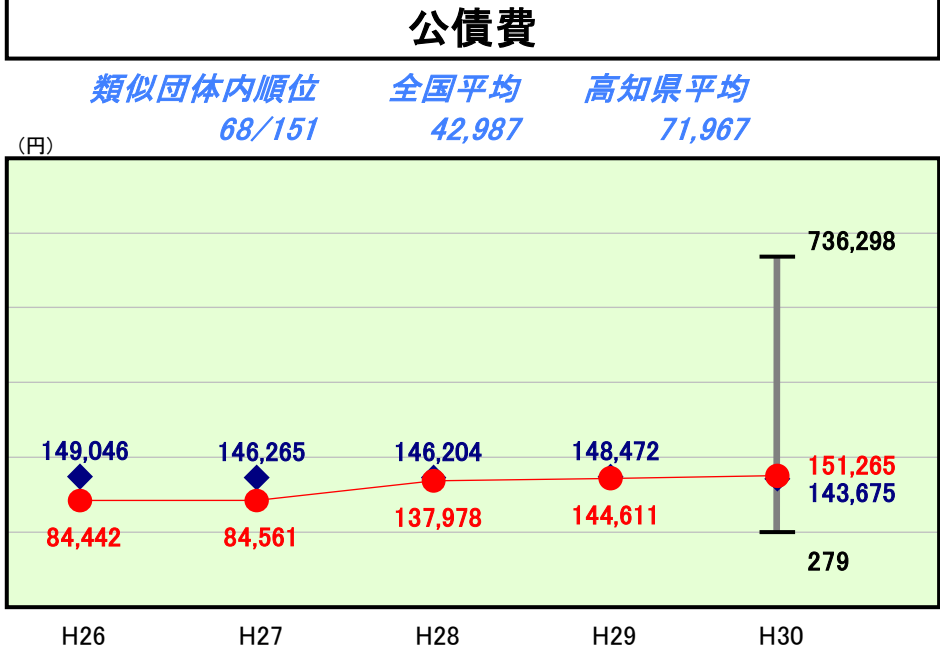
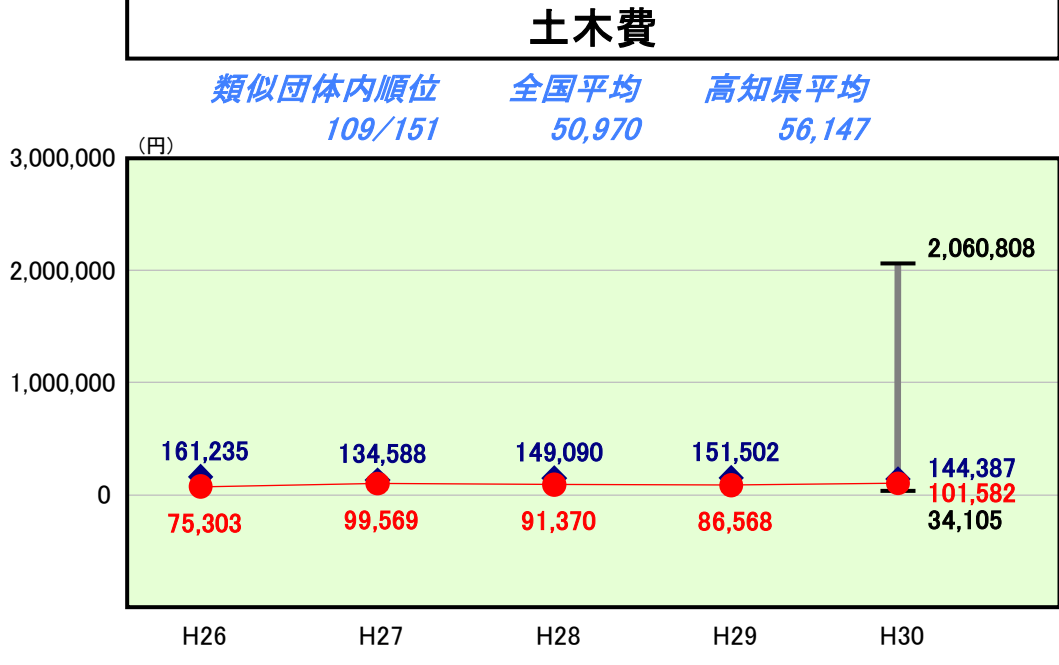
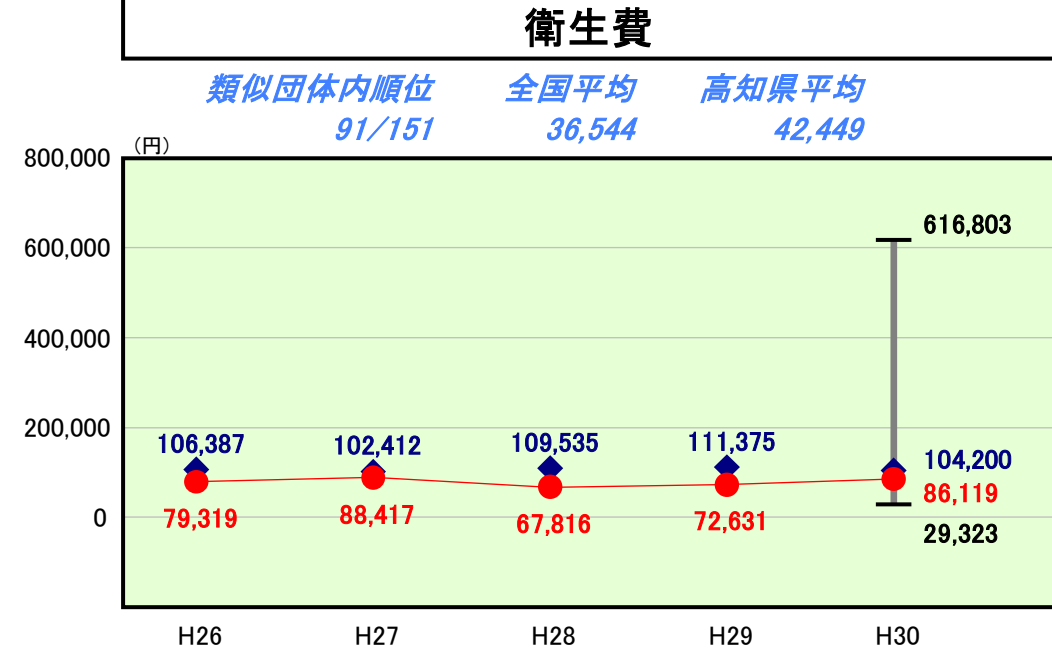
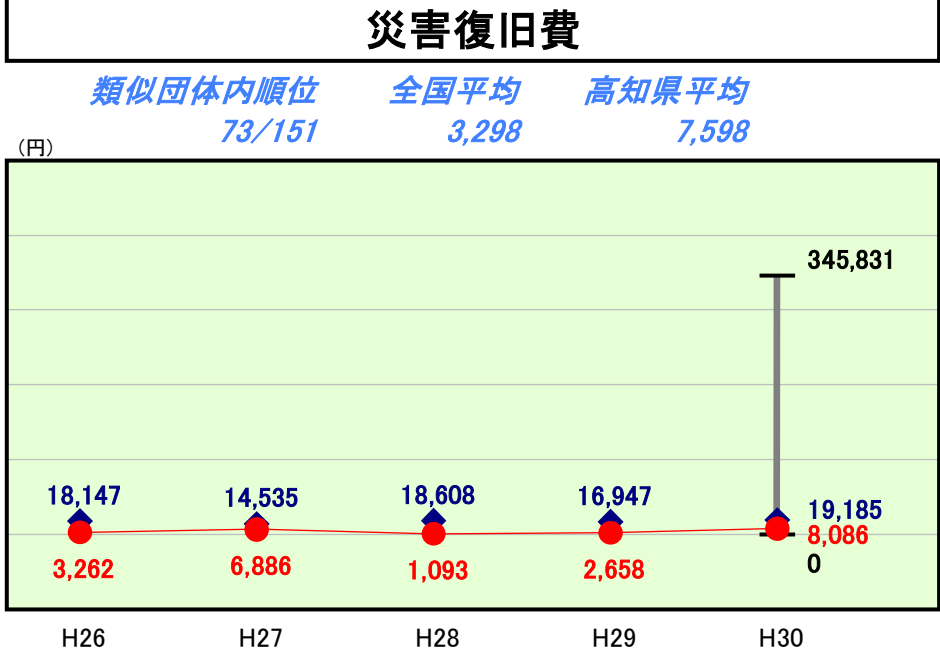
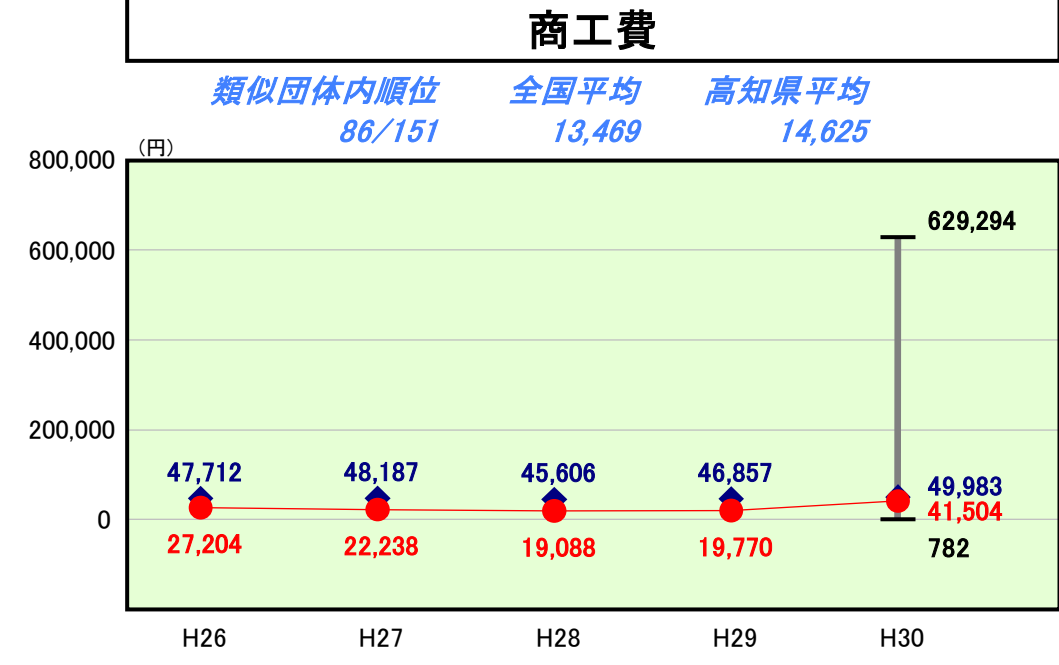
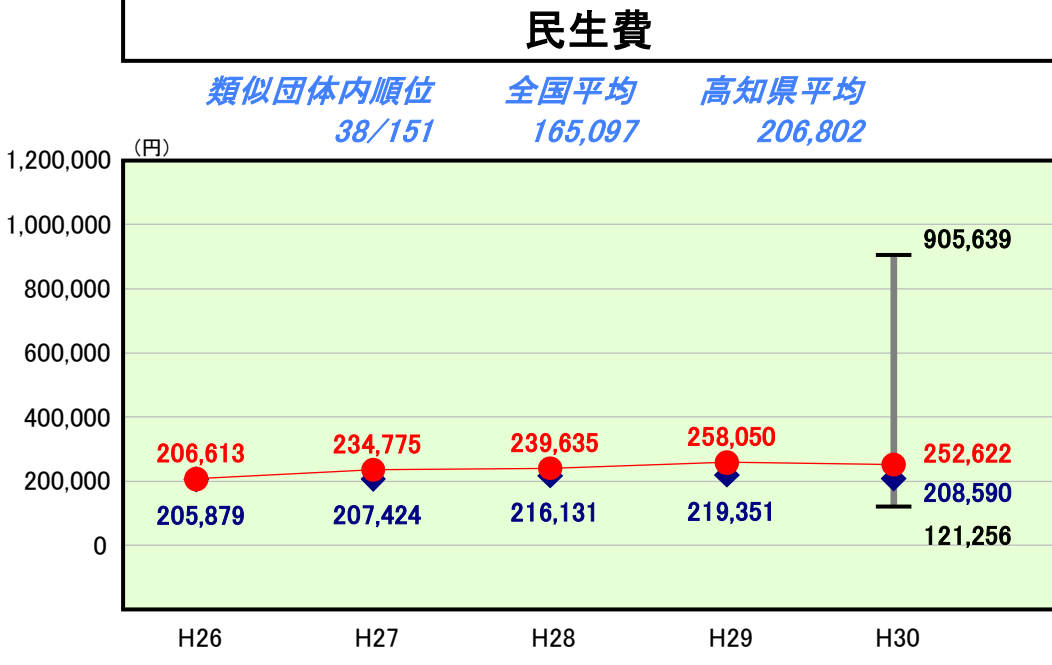
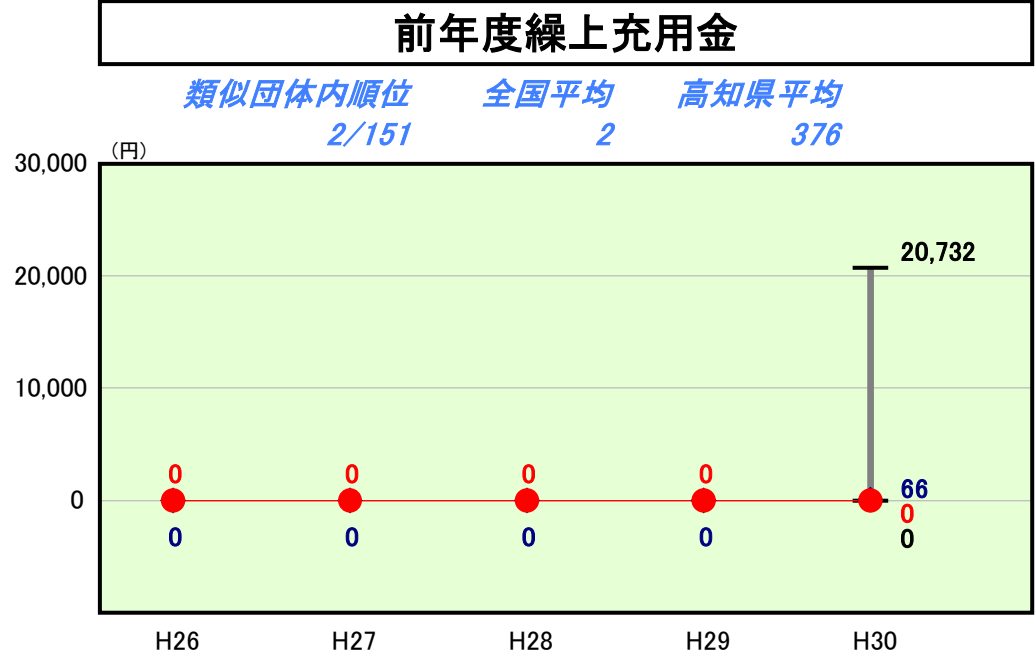
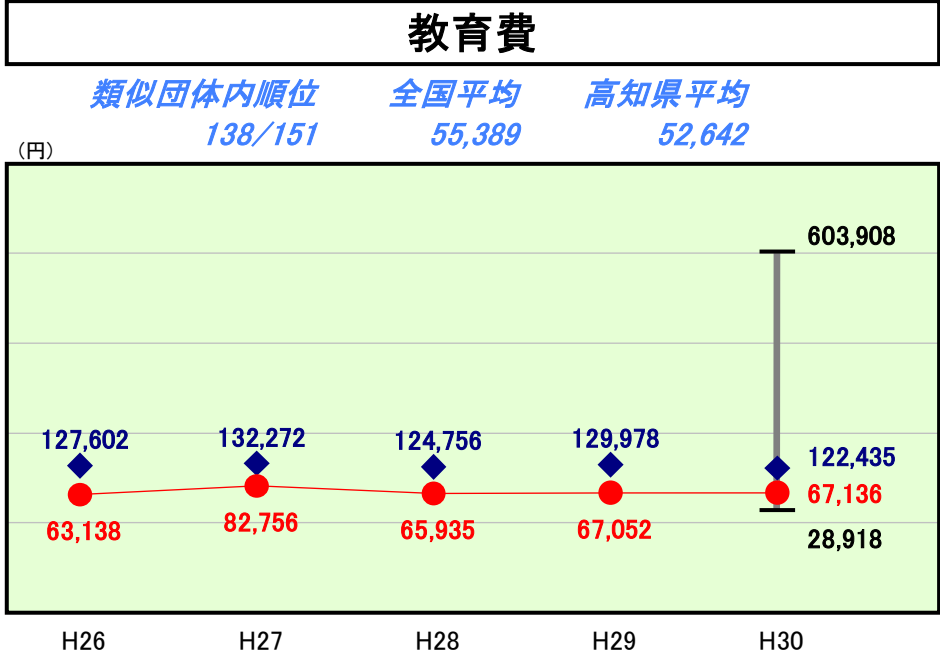
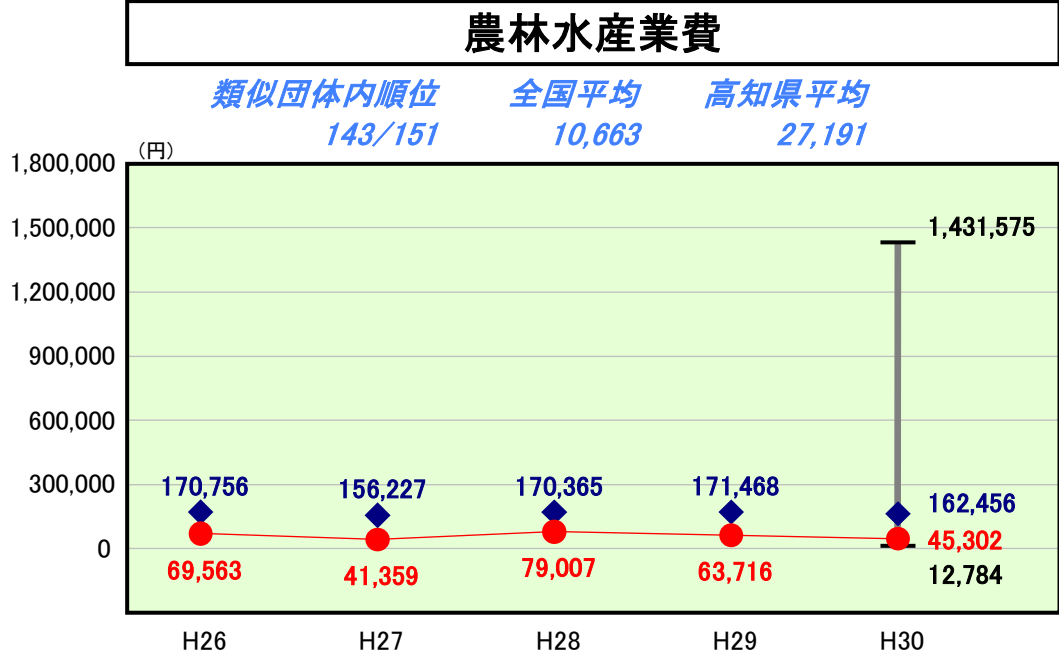
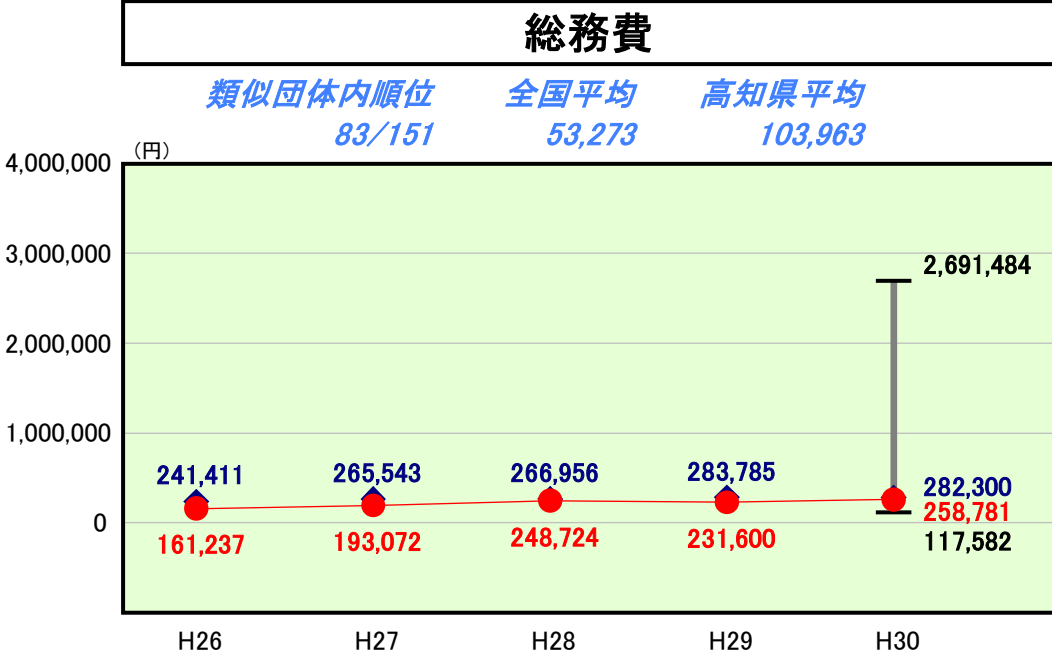
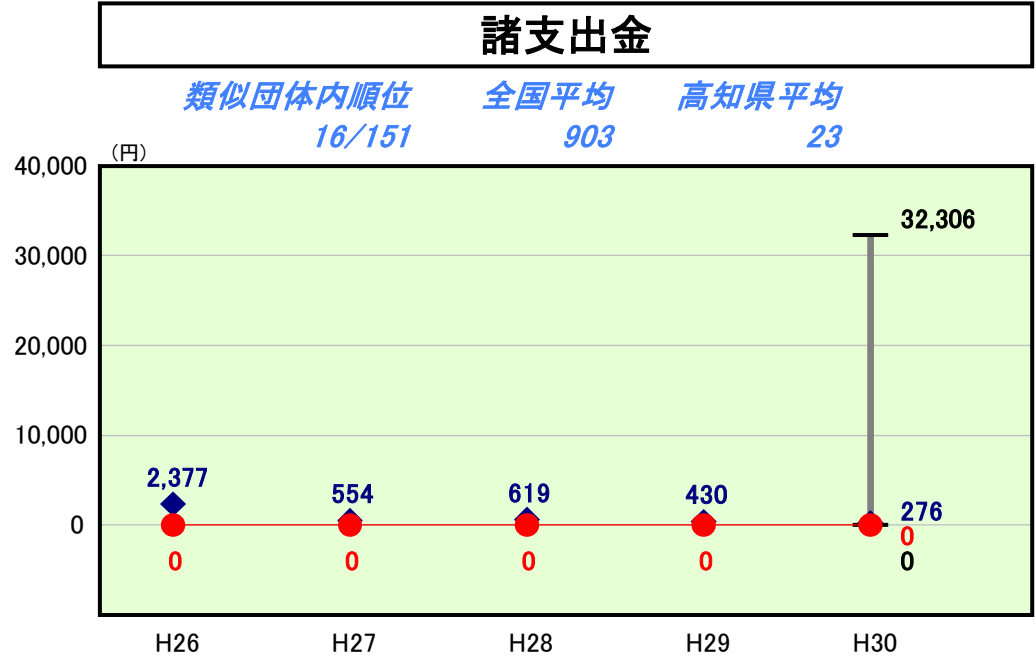
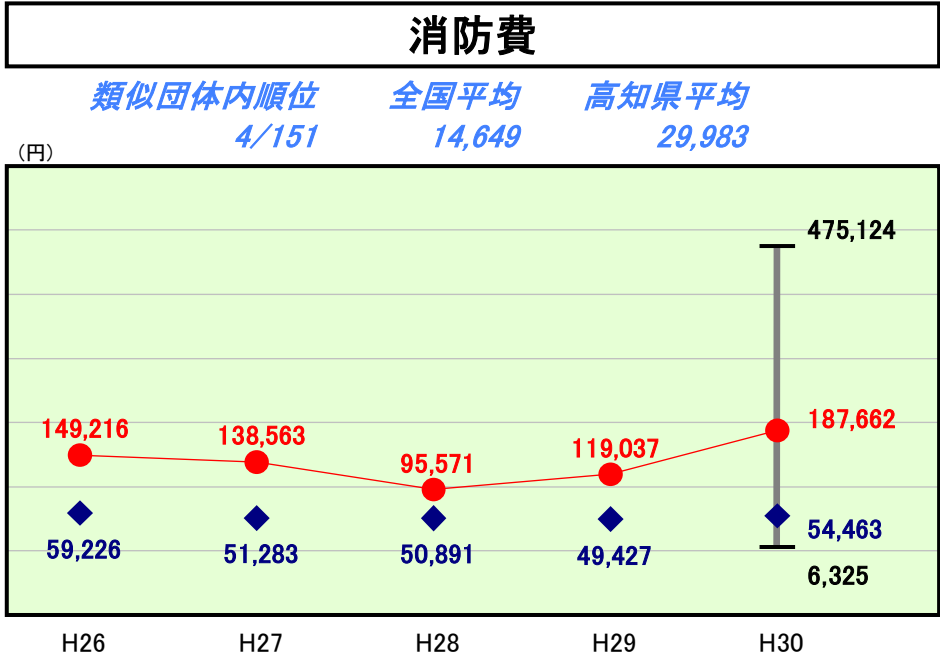
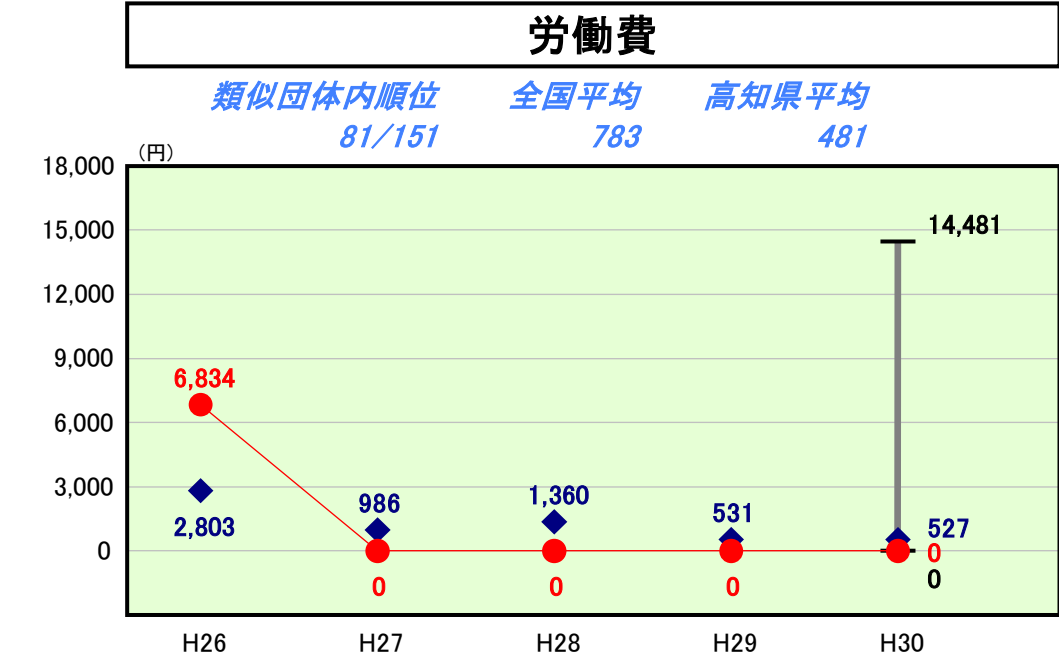
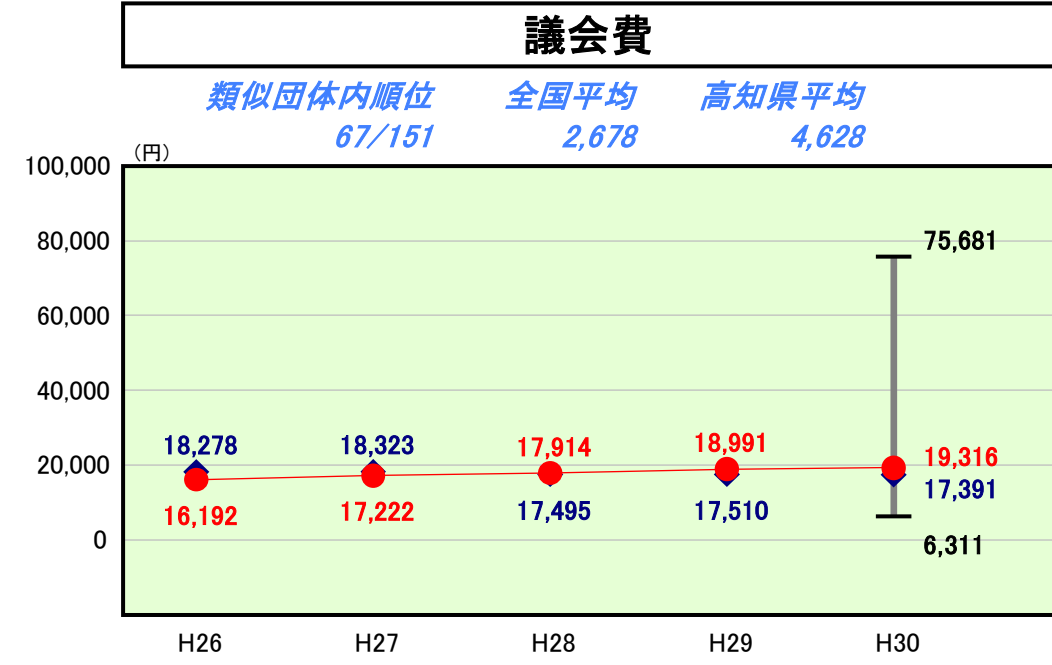
人	2,450	人(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%				
うち日本	2,433	人(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	-	%			
面積	74.02	km ²	実	質	公	債	費	比	率	11.7	%			
歳入総額	3,021,766	千円	将	来	負	担	比	率	65.3	%				
歳出総額	2,987,466	千円	市	町	村	類	型		H26	I-O	H27	I-O	H28	I-O
実質収支	4,942	千円	(	年	度	毎	)		H29	I-O	H30	I-O		
標準財政規模	1,644,059	千円												
地方債現在高	3,880,612	千円												



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

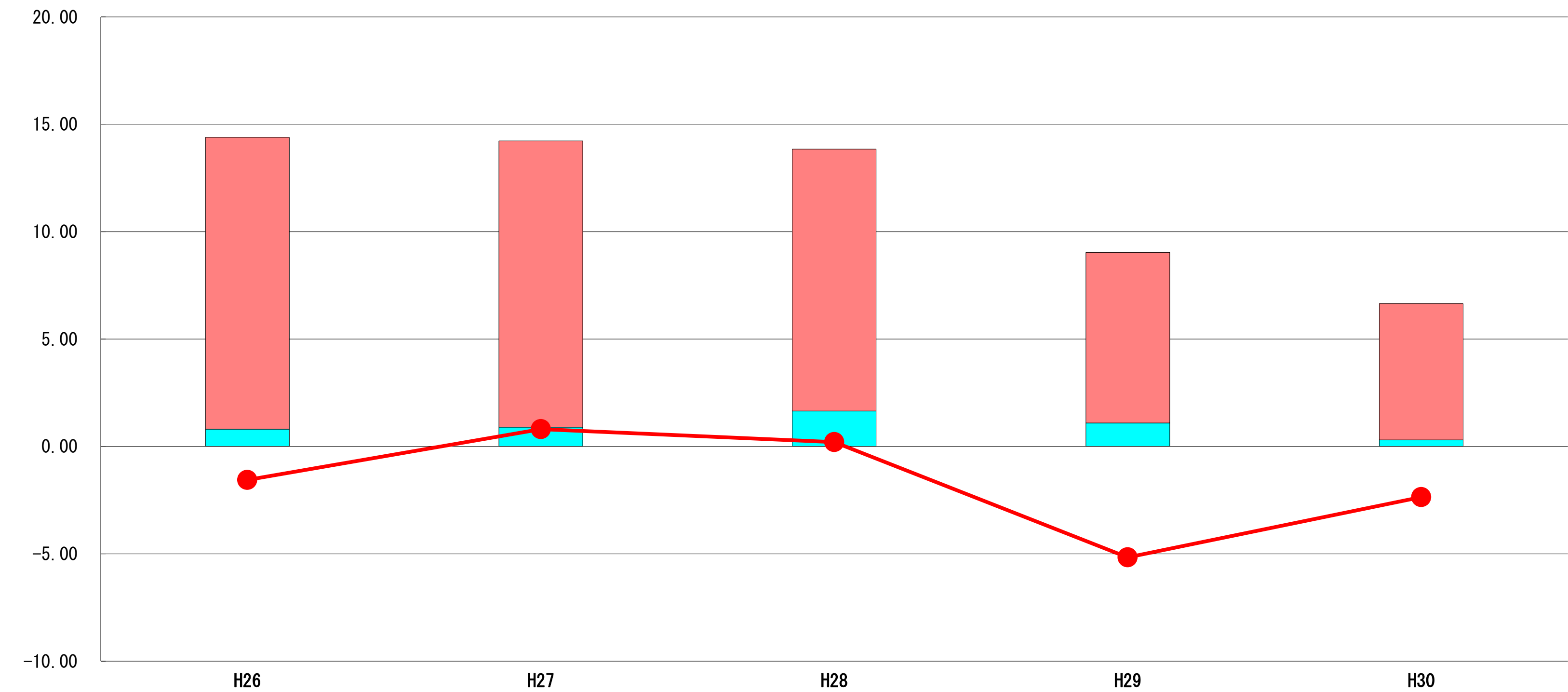
総務費においては、年々数値が増加しているのは、平成28年度よりふるさと納税に係る経費を計上している為であり、今後も経費が増える見込みであるが、寄附金の一部は基金へ積立も行っているため悪い傾向とは言えない。民生費においては、微増の傾向が見られるほか類似団体平均との乖離が見られる。主な要因として、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計への繰入金が挙げられる。両事業とも保険料に対して歳出が過大で一般会計からの繰入金で調整している。保険料の徴収率を100%に近づけることや、適宜保険料の見直しを行うように努めていく。農林水産業費については、類似団体平均と比較して下回った。本町の基幹産業が第一次産業であるにも関わらず、下回っているのは産業の規模が小さいことが挙げられる。町としても現在も第一次産業就業者に対しての補助等も行っているが、他の経費との調整を図りながらではあるが経費増も検討していく。教育費においても、類似団体平均を下回っているが、少子化により経費が抑えられているものであり、進学時の入学支援金や給食費補助など子育て世帯に対して積極的な補助を行っている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成30年度

高知県東洋町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H26	H27	H28	H29	H30
区分	財政調整基金残高	13.59	13.33	12.20	7.94	6.35
	実質収支額	0.80	0.90	1.65	1.09	0.30
	実質単年度収支	▲ 1.56	0.80	0.20	▲ 5.16	▲ 2.36

分析欄

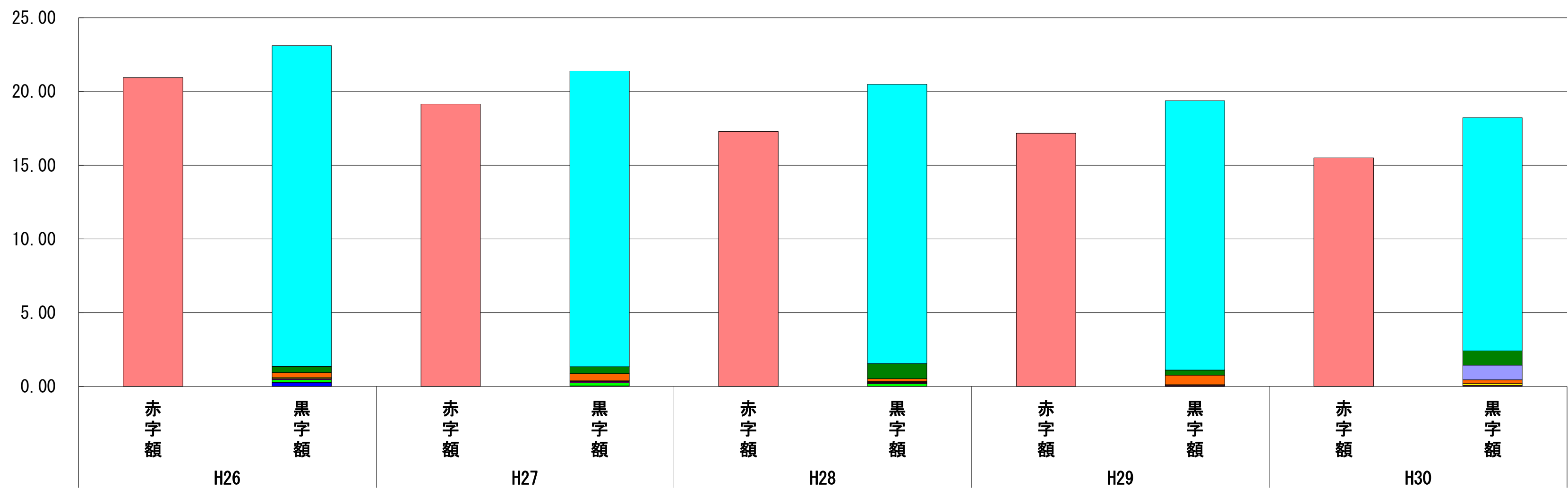
標準財政規模に対する財政調整基金残高比率は平成28年度より減少となっている。その要因として、各決算年度の決算余剰金を主に積立をしているが、積立額を上回って決算時に赤字補てんによる取り崩しを行っているためである。事業見直しによる経費削減や、特定財源の確保を念頭に置き、決算時の取り崩し額を減らしていく必要がある。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

高知県東洋町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H26	H27	H28	H29	H30
会計						
東洋町住宅新築資金等貸付事業		▲ 20.93	▲ 19.15	▲ 17.29	▲ 17.17	▲ 15.50
一般会計		21.74	20.05	18.94	18.26	15.80
東洋町介護保険事業		0.41	0.46	1.03	0.35	0.98
東洋町下水道事業		0.00	0.00	0.00	0.00	0.98
東洋町観光施設事業		0.33	0.49	0.18	0.65	0.27
東洋町後期高齢者医療保険事業		0.07	0.03	0.05	0.05	0.11
東洋町国民健康保険事業		0.08	0.12	0.10	0.06	0.08
東洋町簡易水道事業		0.19	0.20	0.19	0.01	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.28	0.04	0.00	0.00	0.00

分析欄

住宅新築資金等貸付事業のみ赤字額が発生している。赤字額は年々減少しており、平成30年度決算で254,000千円である。今後も不納欠損等による滞納整理を継続して行い、赤字額の減少に努める。

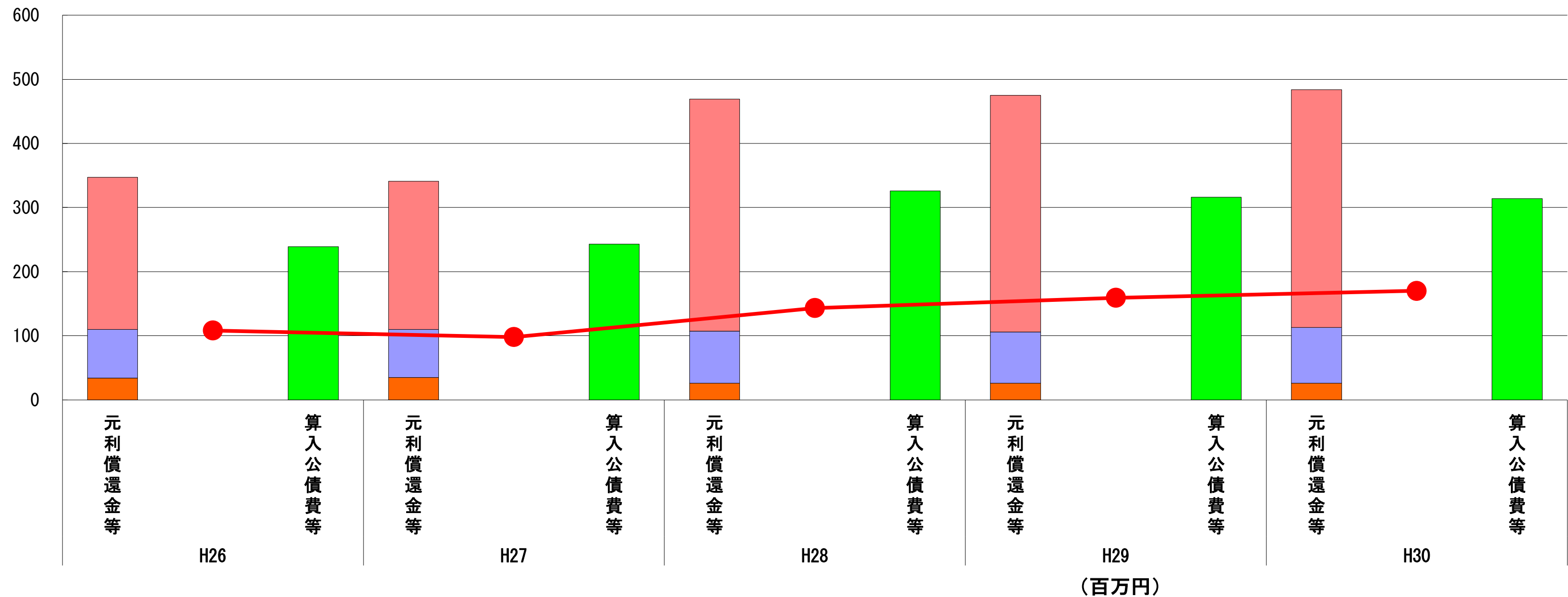
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

高知県東洋町

(百万円)



分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		237	231	362	369	371
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		76	75	81	80	87
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		34	35	26	26	26
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	0	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		239	243	326	316	314
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		108	98	143	159	170

分析欄

実質公債費比率は年々増加となっており、その要因として元利償還金の増加が挙げられる。平成28年度に一気に増加となっているのは、その年に光ケーブル整備事業（過疎債1,097,200千円）の償還が始まったことにより、今後も増加していく恐れがある。起債借入と償還のバランスを考慮しながら財政運営を行っていく。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
(参考)

		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高（注）		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

該当なし

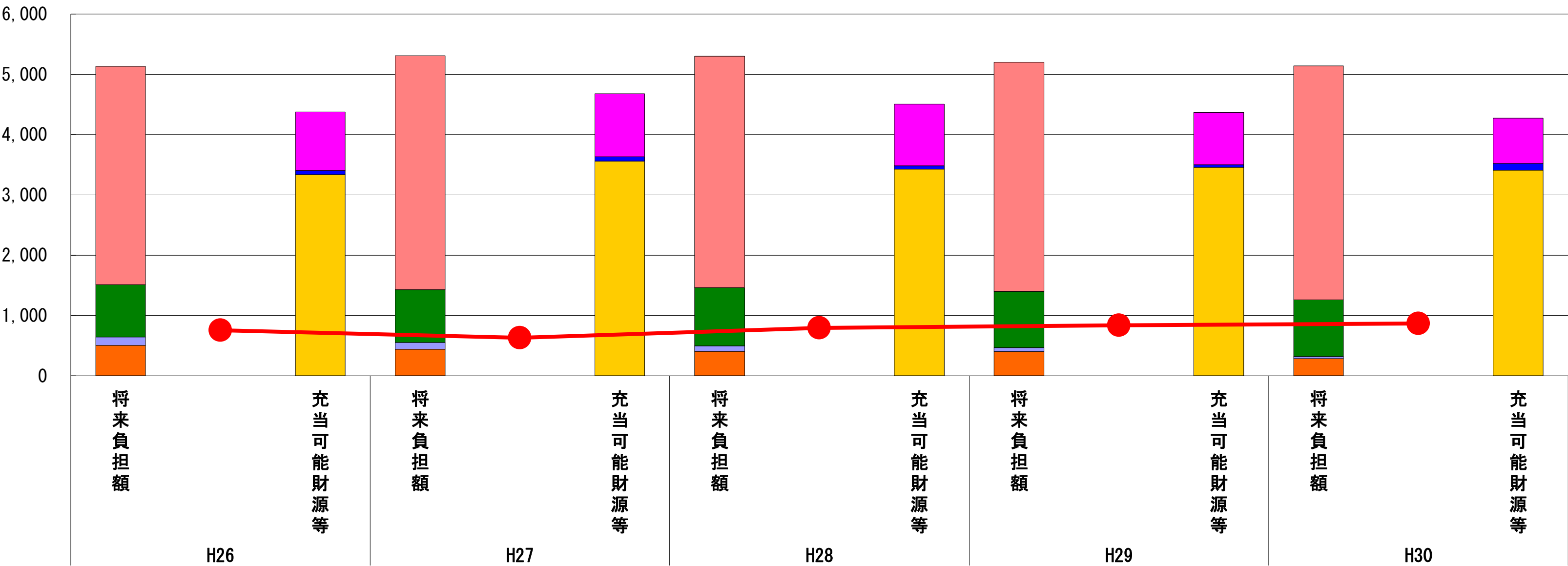
（注）減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

高知県東洋町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		3,622	3,883	3,838	3,803	3,881
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		868	877	968	934	941
	組合等負担等見込額		136	112	88	63	38
	退職手当負担見込額		505	439	406	403	283
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		972	1,047	1,024	867	752
	充当可能特定歳入		68	73	55	43	111
	基準財政需要額算入見込額		3,337	3,561	3,427	3,456	3,411
(A) - (B)	将来負担比率の分子		755	630	793	837	868

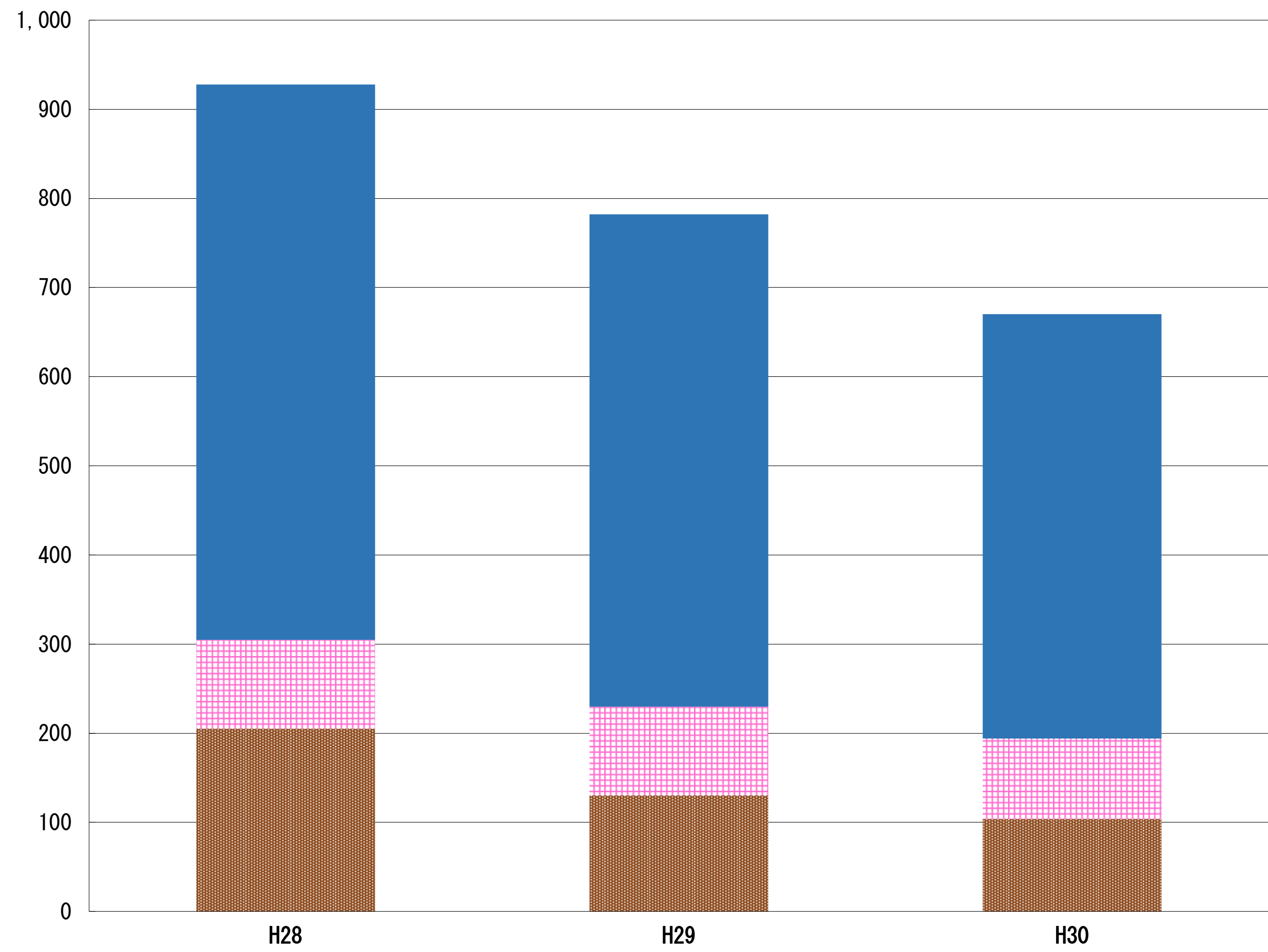
分析欄

将来負担額は依然として充当可能財源等を大きく上回っている状況である。特に地方債の現在高が大きな負担となっており、今後も起債の発行に関して、現年の償還額とのバランスを考慮しながら注意しなければならない。また、充当可能財源等についても、今後の財政需要に備えるために基金残高が増額となるように取り組んでいく。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



区分		年度		
		H28	H29	H30
	財政調整基金	205	130	104
	減債基金	100	100	90
	その他特定目的基金	623	552	476
	施設等整備基金	261	201	142
	地域福祉基金	110	109	89
	ふるさとづくり基金	27	53	75
	防災対策加速化基金	127	89	70
	ふるさと創生育英基金	27	27	28
基金残高合計		928	782	671

平成30年度

高知県東洋町

基金全体

（増減理由）

平成30年度決算において取崩額が大きかったものは、インフラ設備・保有施設の更新事業へ充当するための施設等整備基金の取崩（65,000千円）、赤字補てんによる財政調整基金の取崩（35,000千円）、南海トラフ地震対策へ充当するための防災対策加速化基金（30,000千円）である。
また、積立額の大きかったものは、ふるさと納税の一部を積み立てるふるさとづくり基金への積立（21,200千円）、南海トラフ地震対策に要した費用の一部を後年度に交付する高知県津波避難対策等加速化臨時交付金を防災対策加速化基金に積立（11,520千円）、決算剰余金を財政調整基金に積立（9,100千円）である。

（今後の方針）

地方交付税が減少していくなか、本町の財政において基金は重要な役割を担っており、慎重な基金運用を心がけている。最近の傾向として、剰余金とふるさと納税の一部を基金に積み立て、赤字補てんや大型事業への充当による取り崩しを行っているが、積立額を取崩額が上回っており、基金残高が減少している。今後も各基金の財政需要に対する備えとして基金残高の増加に努めていく。

財政調整基金

（増減理由）

決算剰余金を財政調整基金に積み立てているが、平成30年度決算は赤字補てんによる取崩を行っており、基金残高は減少となった。

（今後の方針）

今後も継続して剰余金を積み立てていく方針であり、赤字補てんによる取崩を削減し、基金の増加に努める。

減債基金

（増減理由）

公債費が増加してきたため、平成30年度では10,000千円を取り崩した。

（今後の方針）

毎年、利子分として100千円を一般財源で積み立てている。今後も継続して積み立てていく方針である。

その他特定目的基金

（基金の使途）

- 施設等整備基金：町の施設等の整備に要する財源を円滑に調整するために積み立て、土地、建物等の取得、修繕を行う場合に取り崩す。
- 地域福祉基金：地域の全ての人々が健康で生きがいをもち、安心して過ごせるような明るい活力ある長寿・福祉社会づくりを推進するために積み立て、これら地域福祉に必要なが生じた場合に取り崩す。
- 防災対策加速化基金：災害に強い地域社会の実現の加速化を図るために積み立て、防災対策、防災対策を目的とする国等の補助事業における町負担及び防災対策に要した町債の償還の財源に充てる場合に取り崩す。
- ふるさとづくり基金：東洋町の特色を生かした活力と個性ゆたかなまちづくり、ふるさとづくりの資金として積み立て、必要が生じた場合に基金を取り崩す。
- ふるさと創生育英基金：大学、専修学校及び専門学校に進学しようとする者のうち、品行方正、学業優秀にして経済的理由により修学困難である者のために勉学資金を貸付け、能力発揮の機会を与え、有為な人材を養成し、地域社会の発展に資するために基金を取り崩す。

※基金残高上位5位までの基金について記載している。

（増減理由）

- 施設等整備基金：インフラ設備の更新事業による基金の取崩（▲65,000千円）
- 地域福祉基金：各社会保障施策に充当するため取崩（▲23,205千円）
- ふるさとづくり基金：ふるさと納税の一部を積立（21,200千円）
- 防災対策加速化基金：南海トラフ地震対策に充当するために取崩（▲30,000千円）

（今後の方針）

各基金ともに、必要最低限の積立を行っていくつもりである。特に施設等整備基金は、今後インフラ設備・保有施設等の更新が控えており優先的に積立を行っていく。また、ふるさとづくり基金においても、ふるさと納税の一部を基金に積み立て、まちづくり、観光振興のために充当していく。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

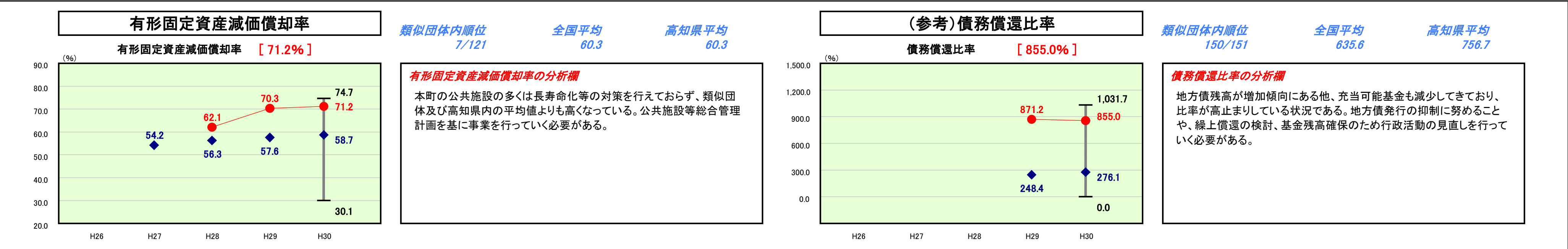
平成30年度

高知県東洋町

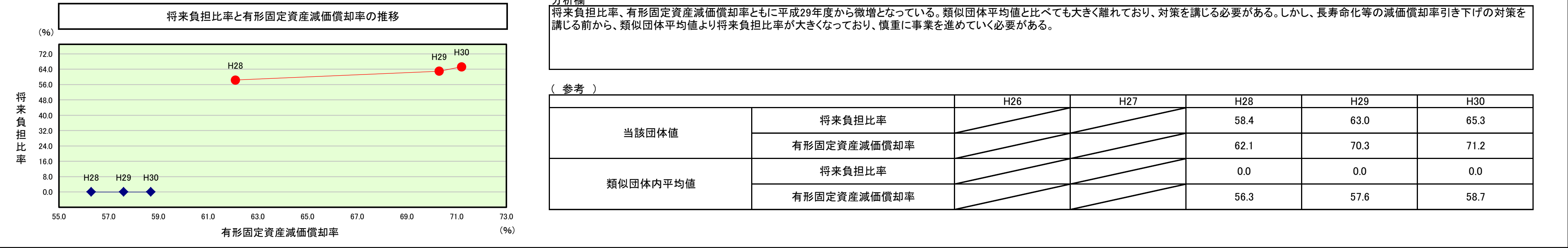
人	2,450	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,433	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	74.02	km ²	実質公債費比率	11.7	%
歳入総額	3,021,766	千円	将来負担比率	65.3	%
歳出総額	2,987,466	千円	市町村類型	H26 I-O H27 I-O H28 I-O	
実質収支	4,942	千円	(年度毎)	H29 I-O H30 I-O	
標準財政規模	1,644,059	千円			
地方債現在高	3,880,612	千円			

- 当該団体値
- 類似団体内平均値
- 類似団体内の
最大値及び最小値

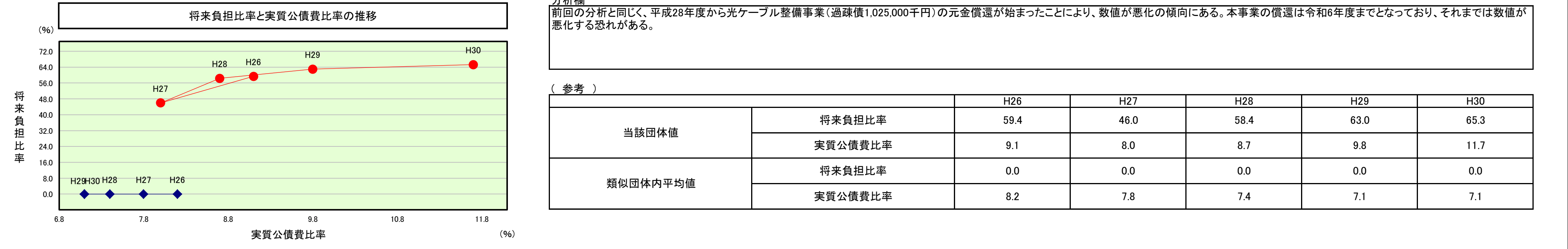
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

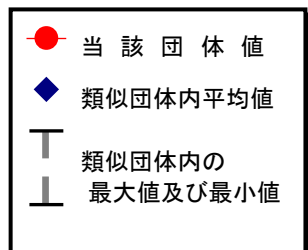


(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成30年度

高知県東洋町

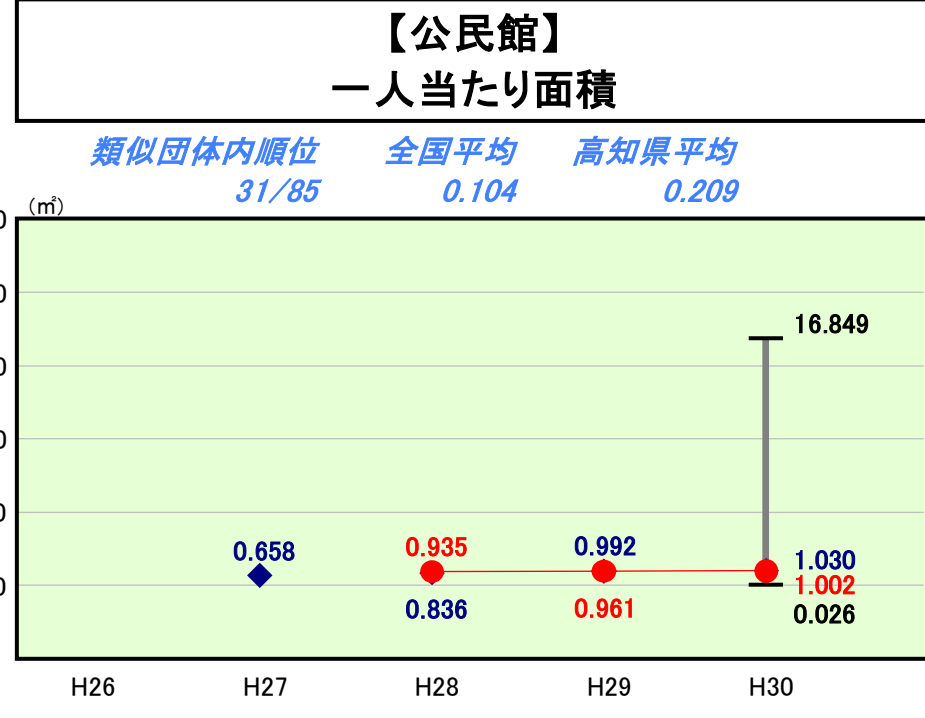
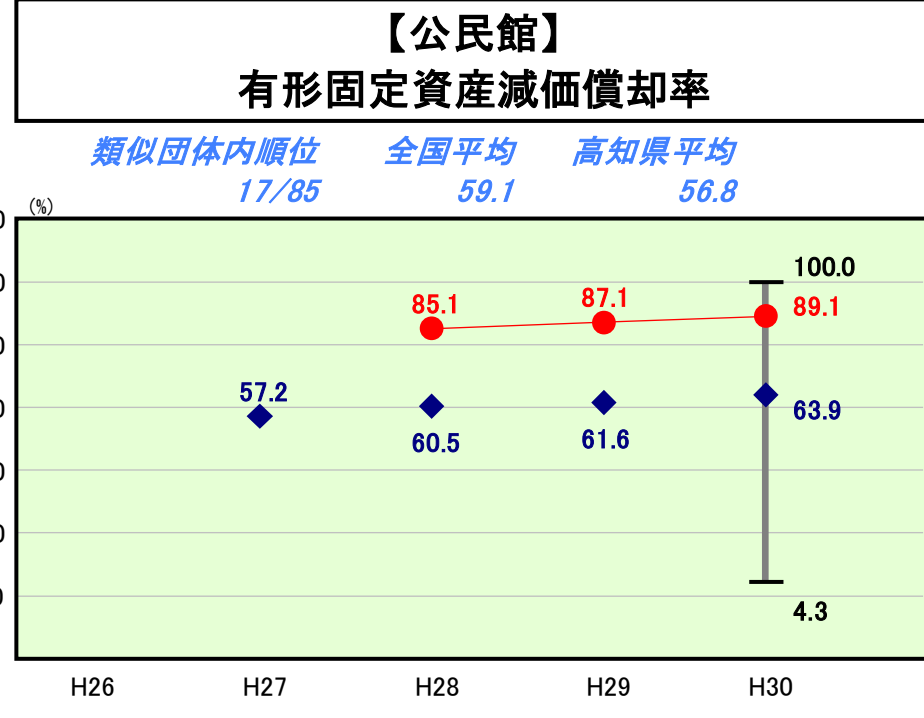
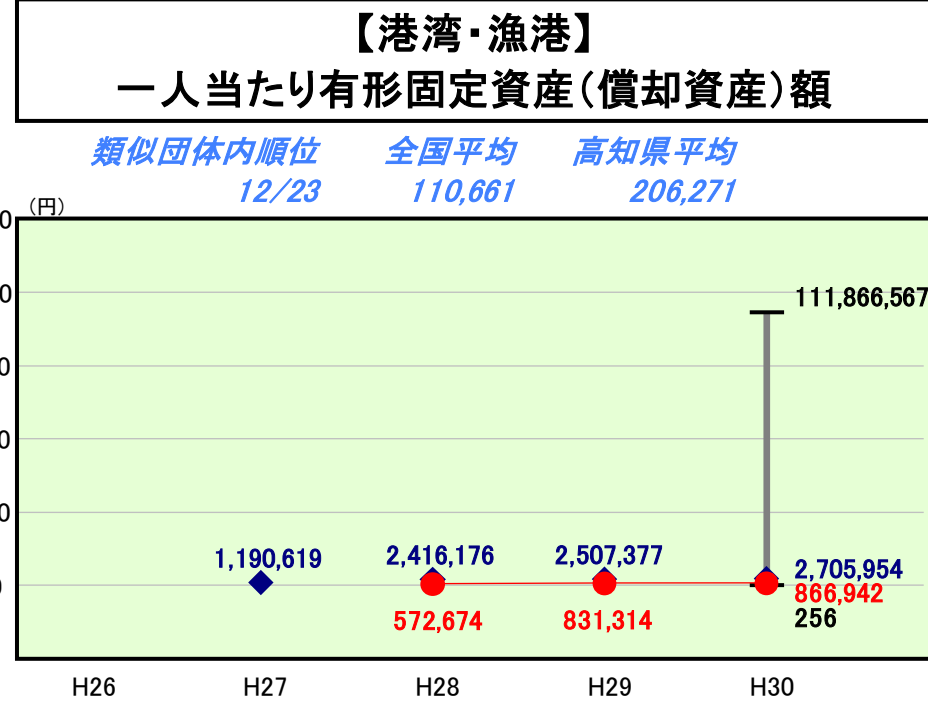
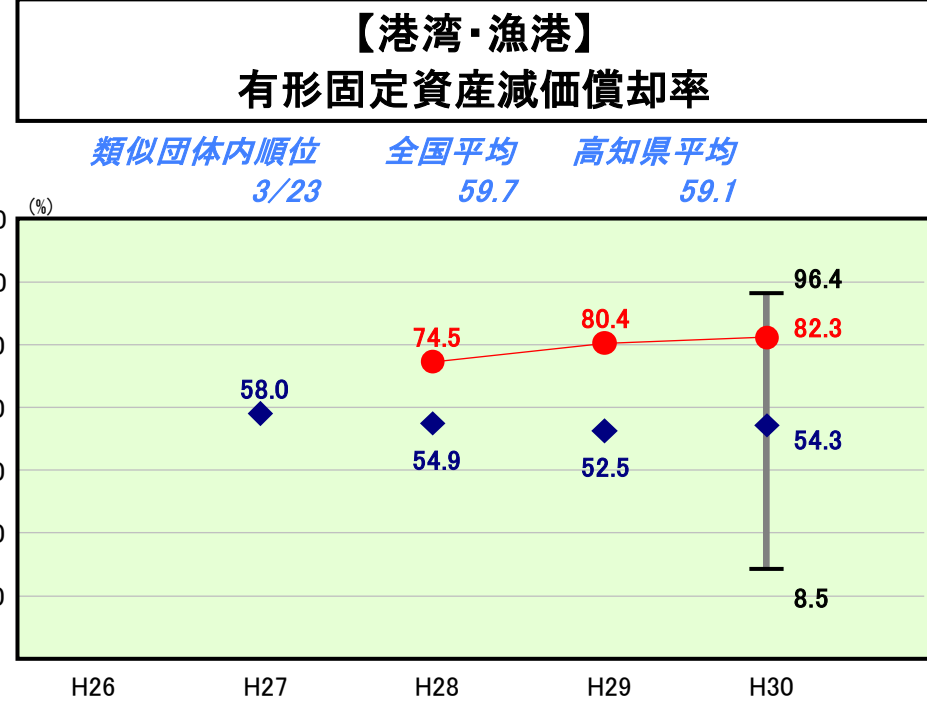
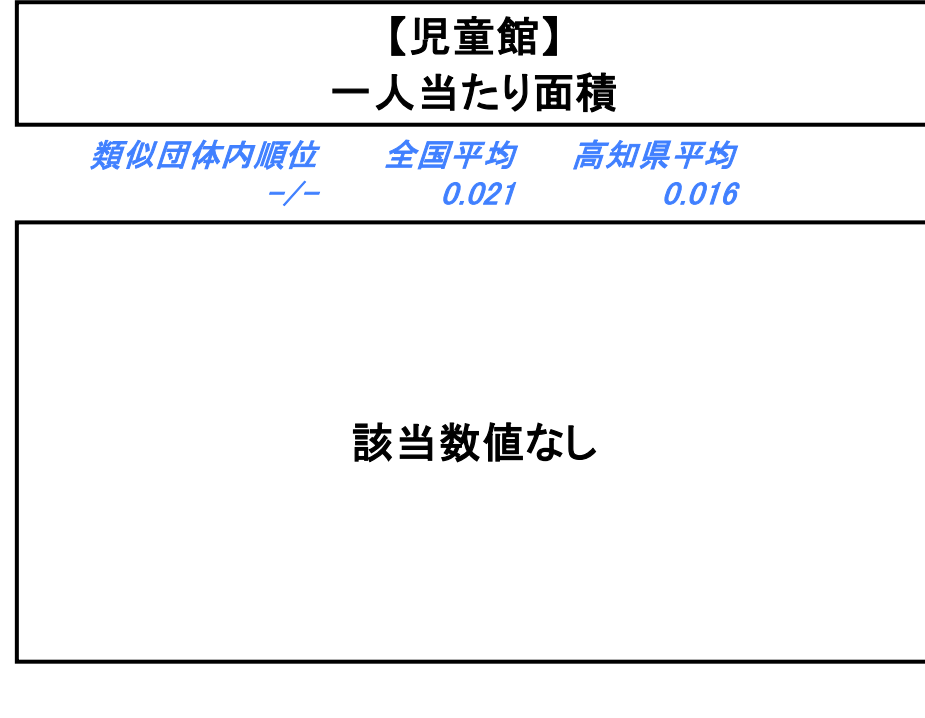
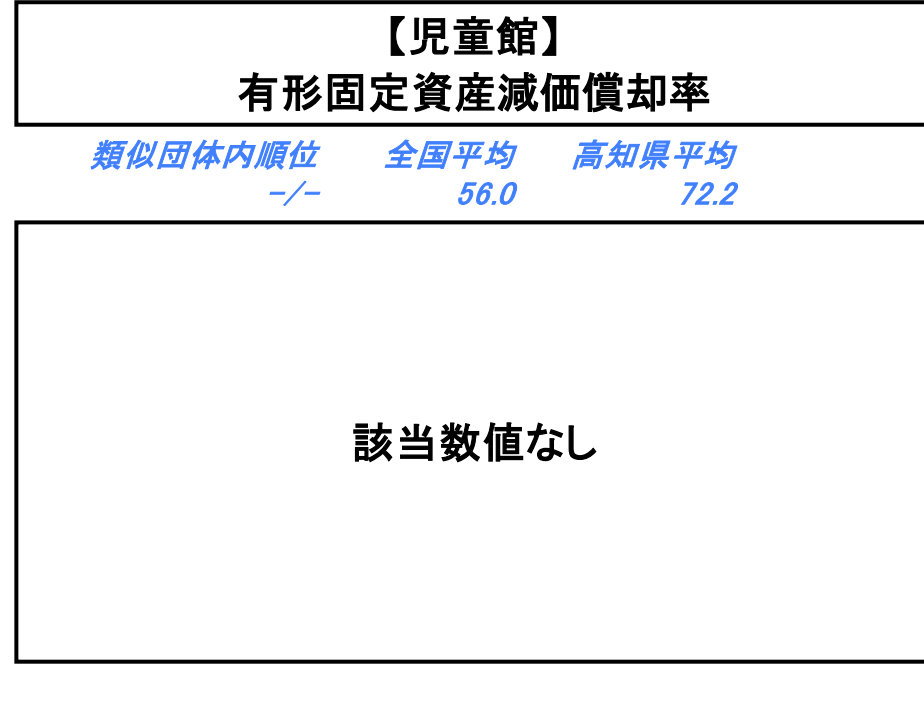
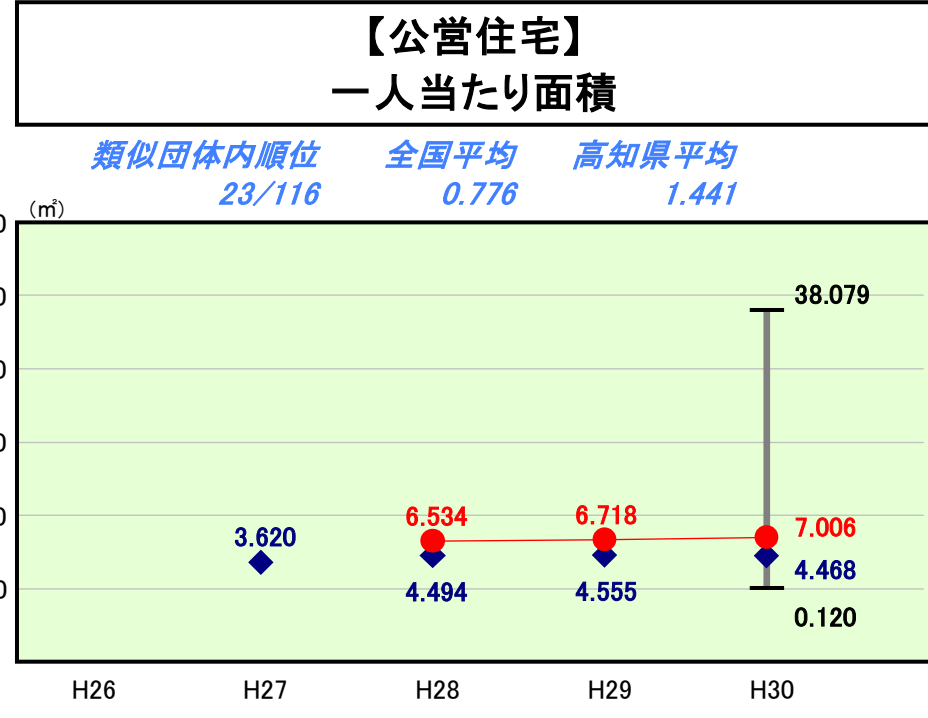
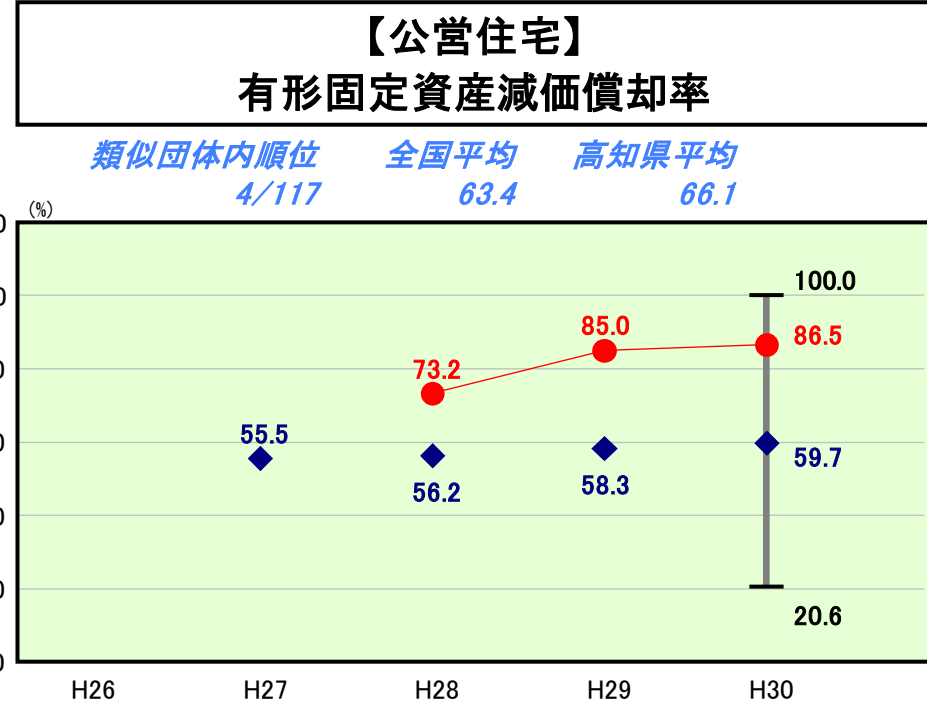
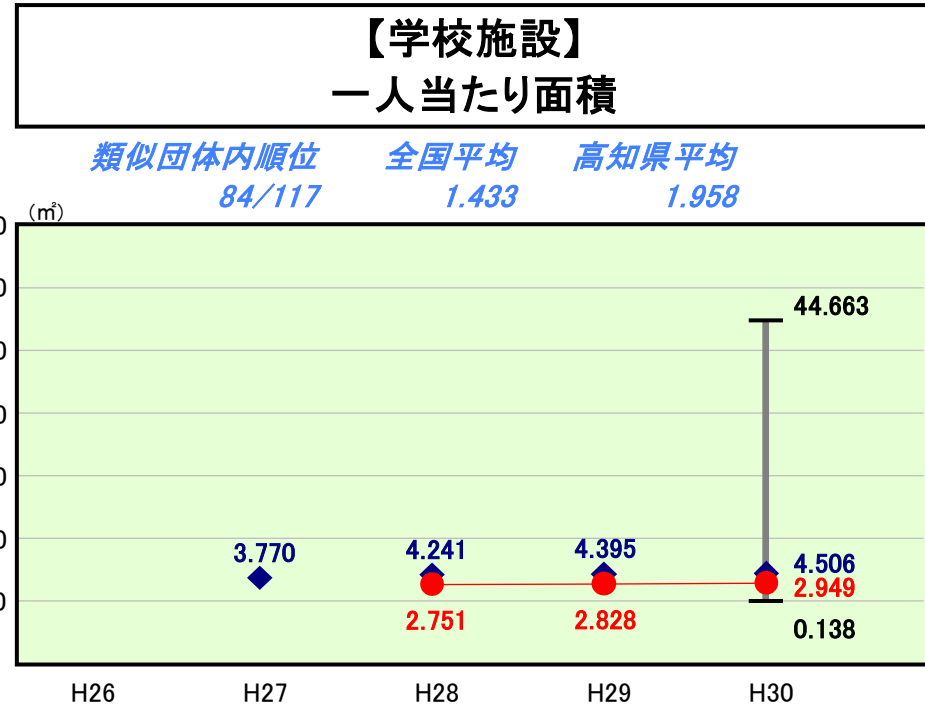
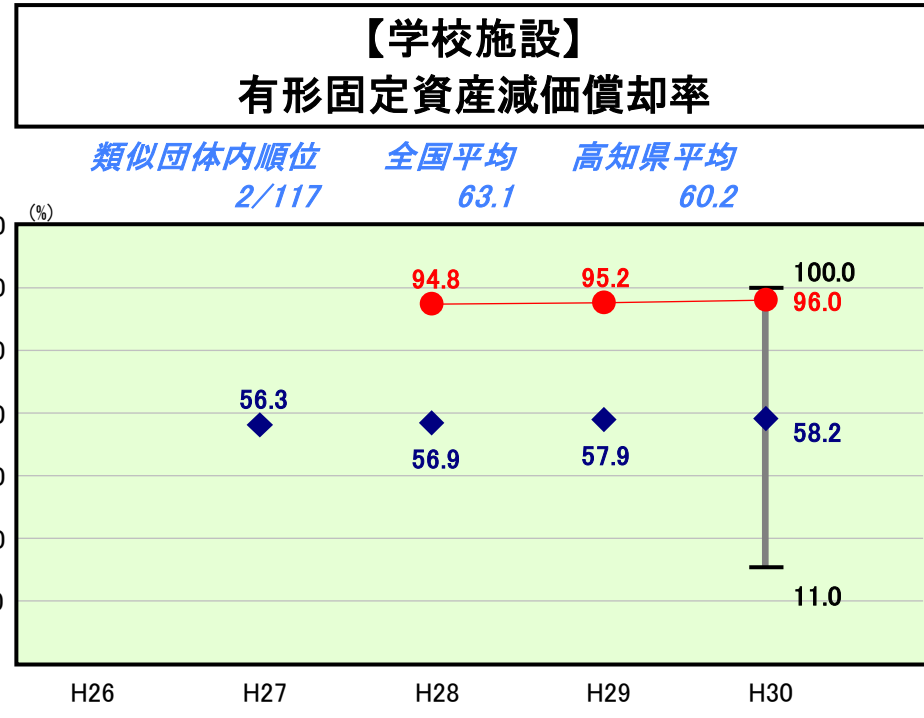
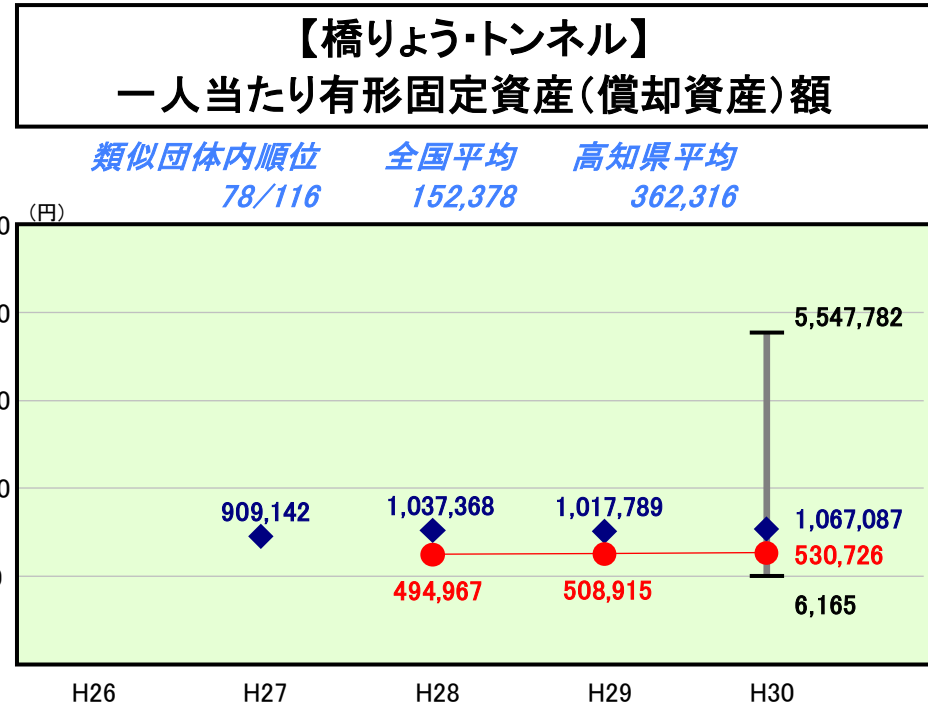
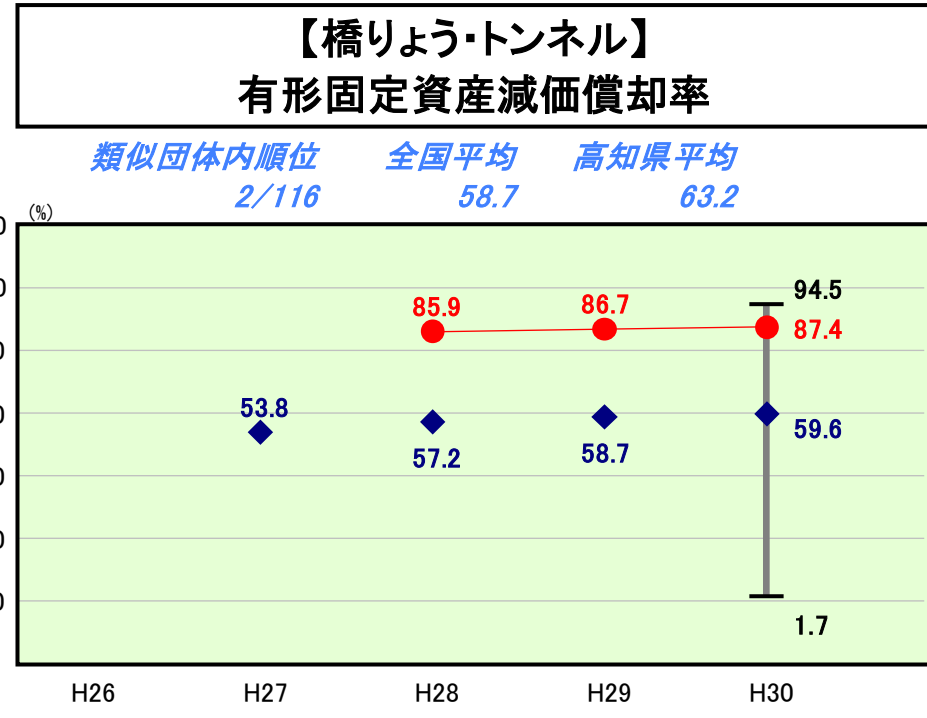
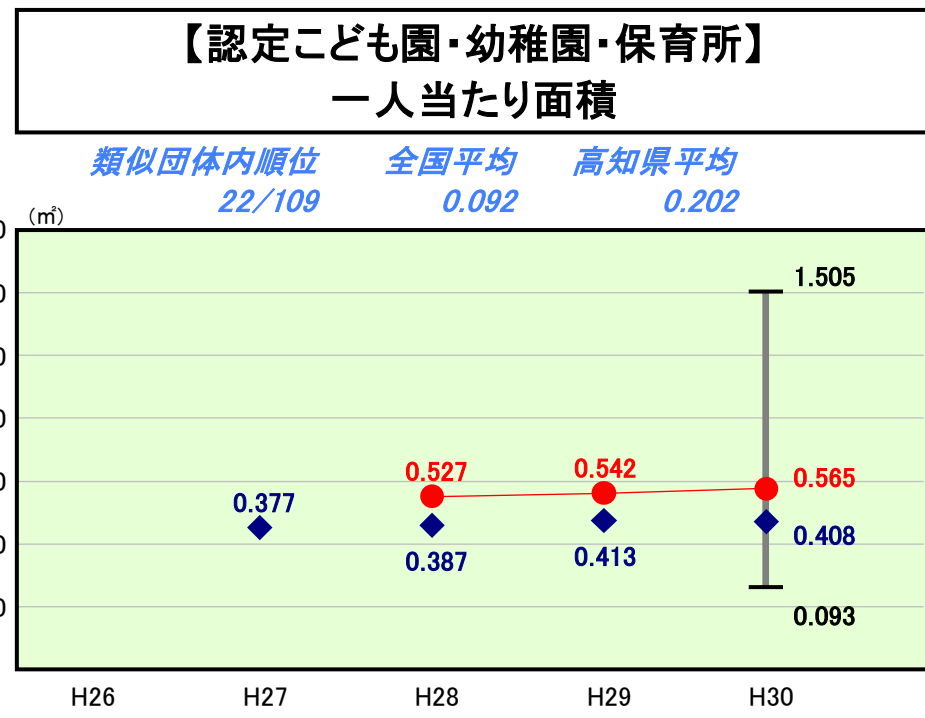
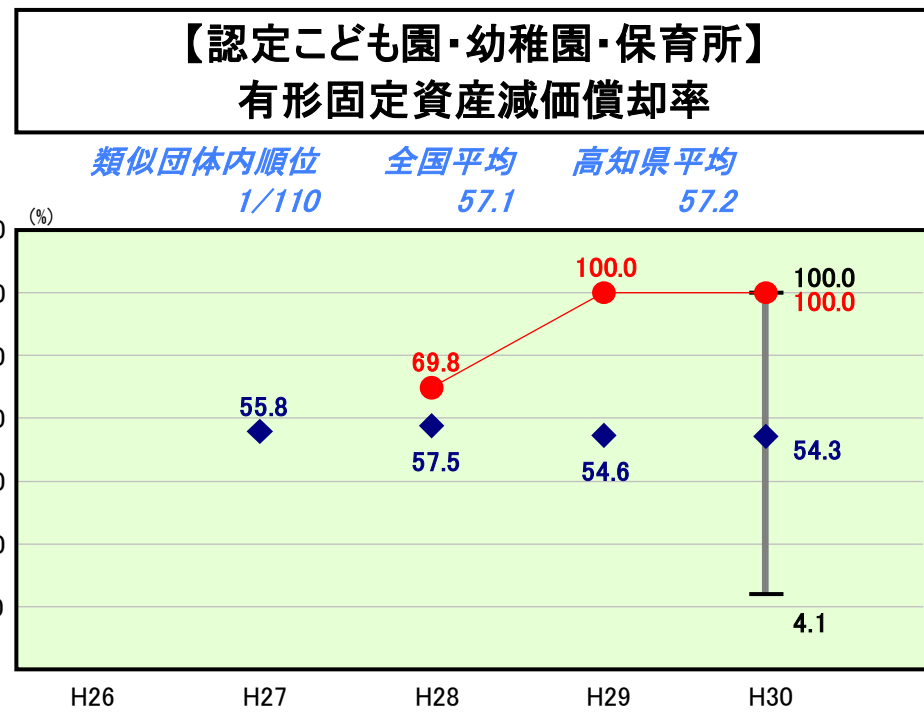
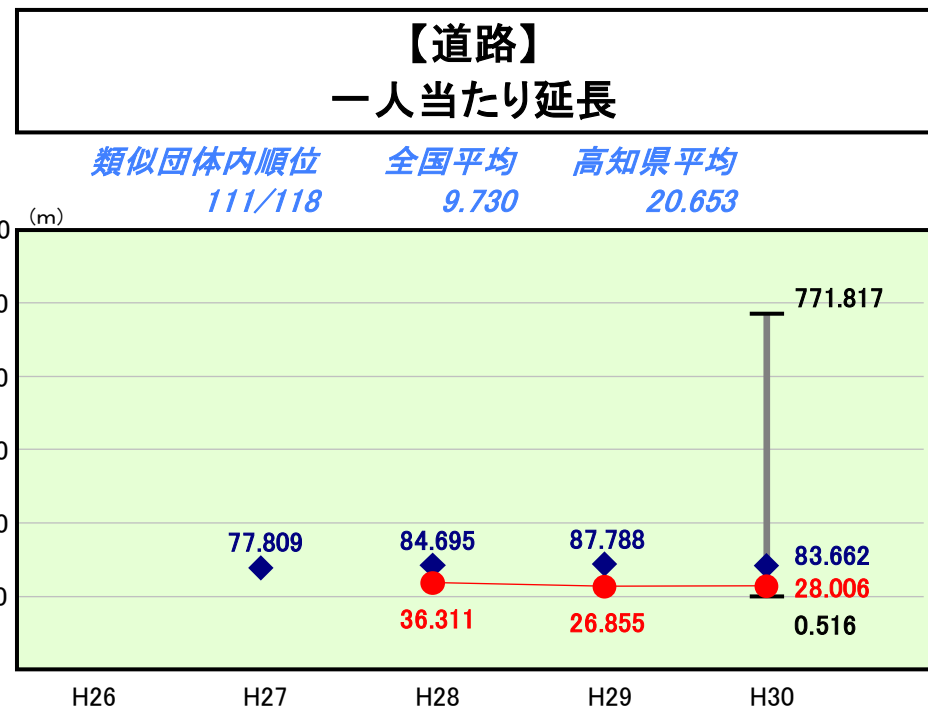
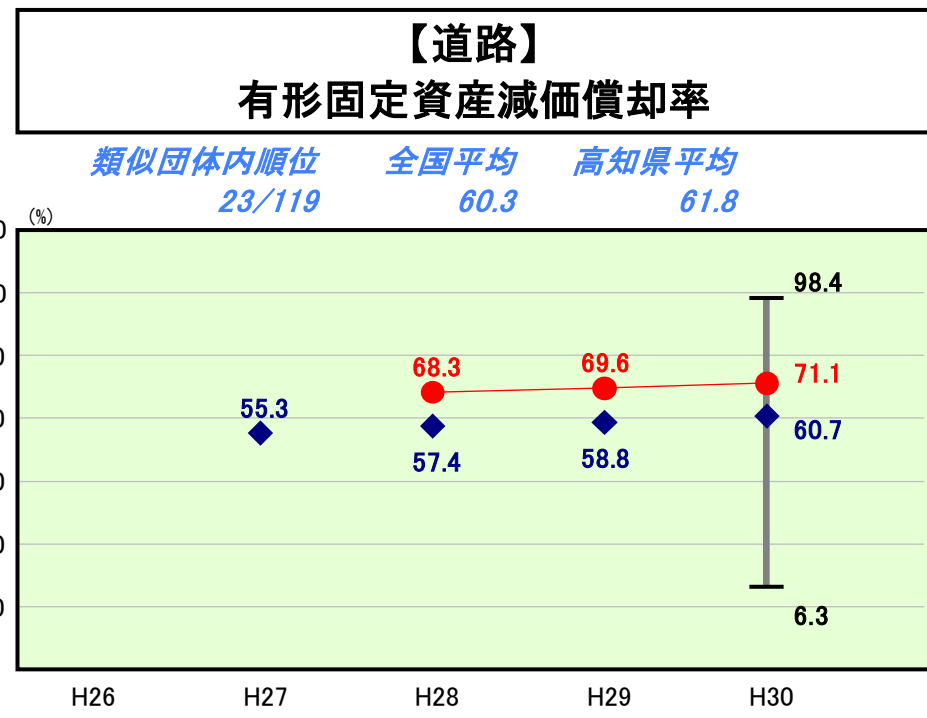
人	2,450	人(H31.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	2,433	人(H31.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	74.02	k㎡	実	公	債	費	比	率	11.7	%
歳入総額	3,021,766	千円	将	来	負	担	比	率	65.3	%
歳出総額	2,987,466	千円	市	町	村	類	型		H26	I-O
実質収支	4,942	千円	(	年	度	毎	)		H29	I-O
標準財政規模	1,644,059	千円							H30	I-O
地方債現在高	3,880,612	千円								



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

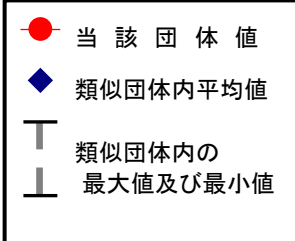
道路については、インフラ長寿命化計画に基づき改良や長寿命化を行っているため、比較的類似団体と近い比率となっているが、橋りょうについては長寿命化対策を行っていないものが多く高い比率となっている。令和元年度から橋りょうについても長寿命化対策をおこなっているが、減価償却率を下げる要因にはなっていない。保育所については、本町に2施設あるが、両保育所とも建設当時から大規模な改修や長寿命化対策を講じておらず、減価償却率が100%となってしまう。学校施設についても、町内に4校あるが、耐震改修は終わっているが長寿命化対策を行っておらず、数値が悪化している。公営住宅については、町内に13団地が建設されているが、どれも大規模改修を行っておらず、今後も数値が悪化する恐れがある。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成30年度

高知県東洋町

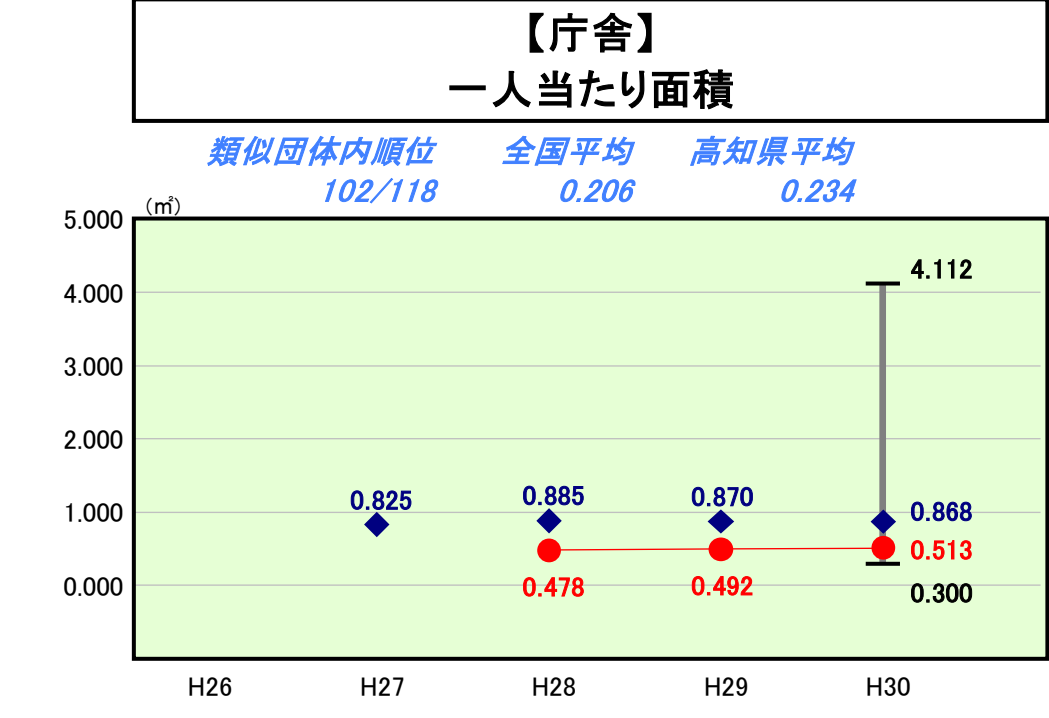
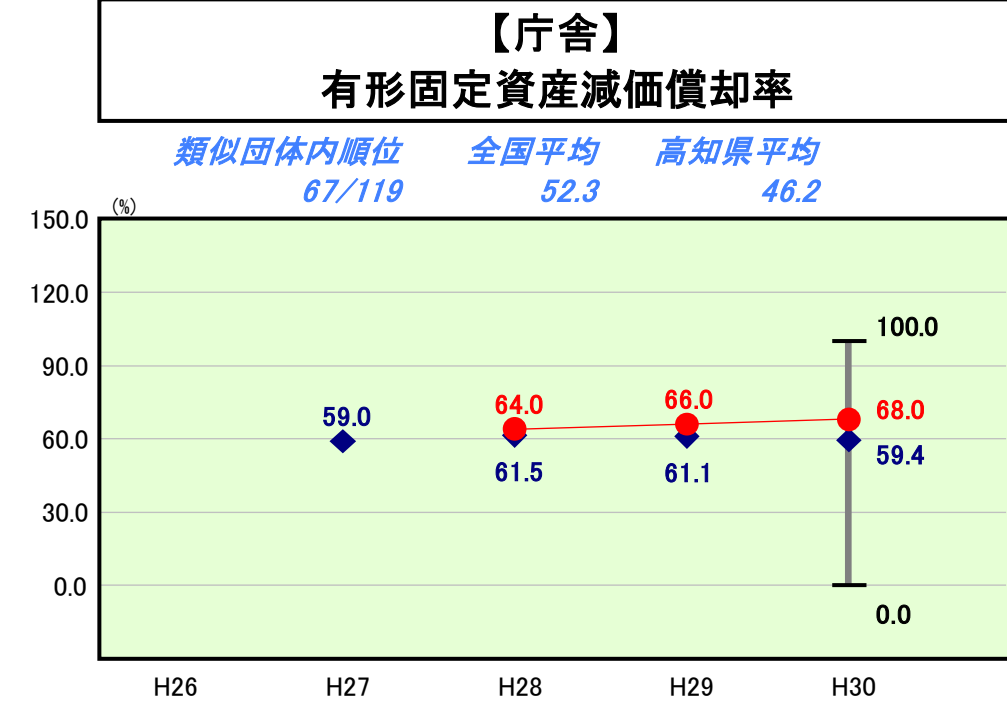
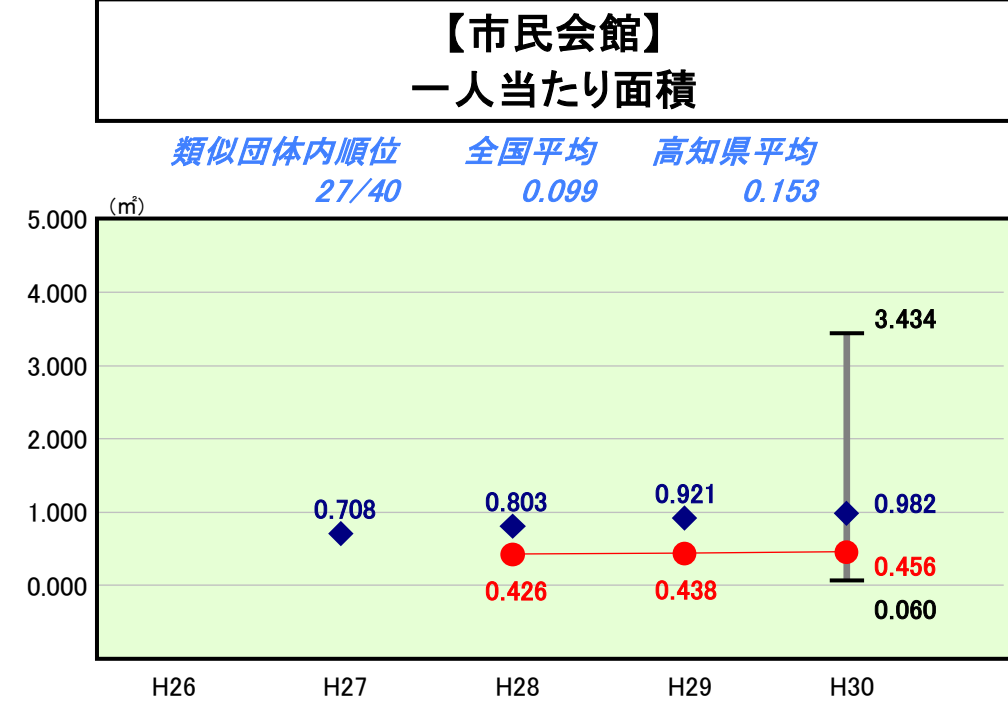
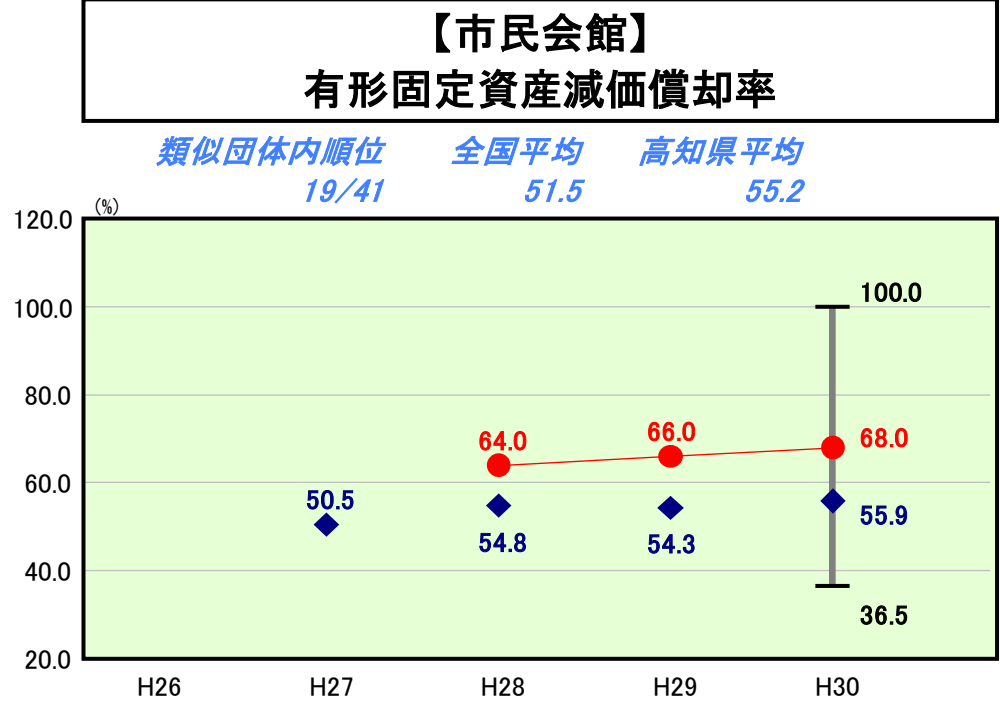
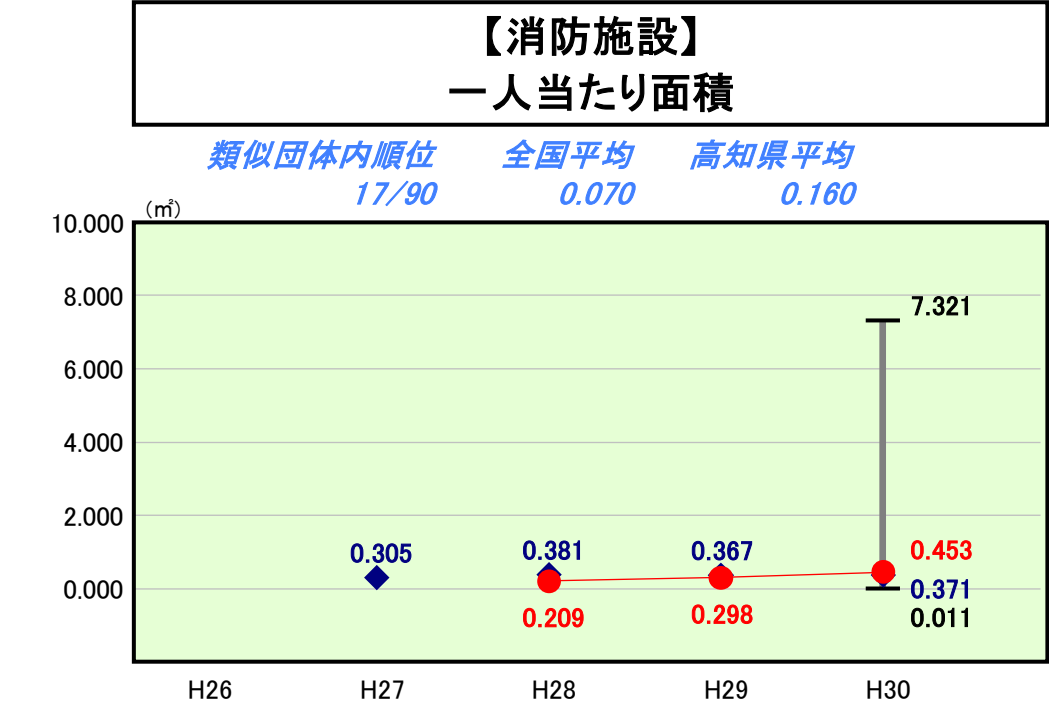
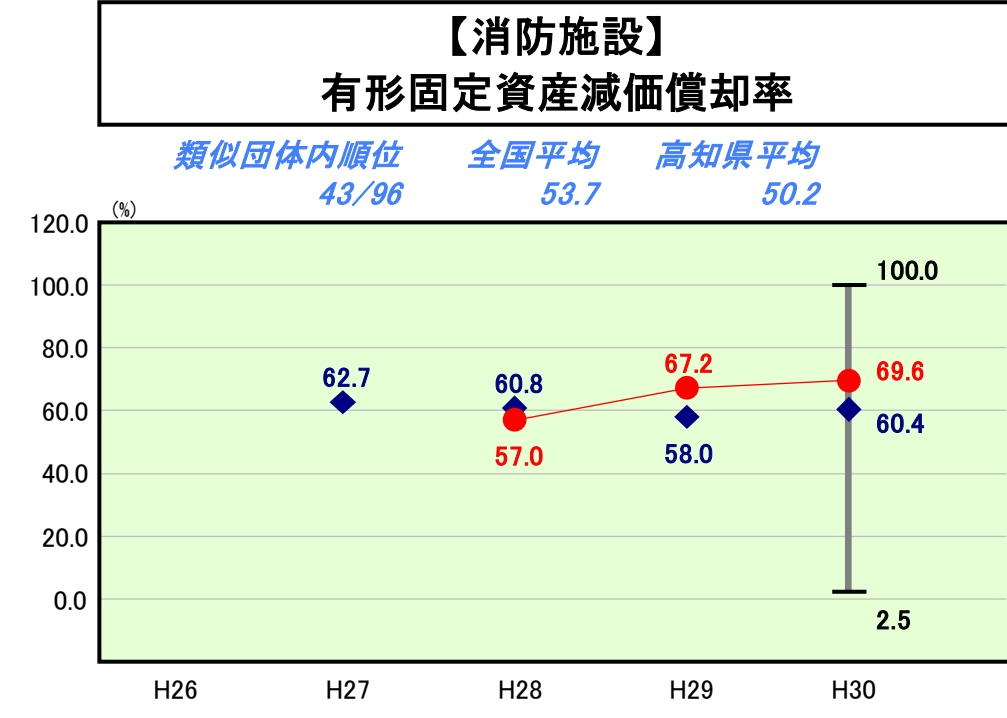
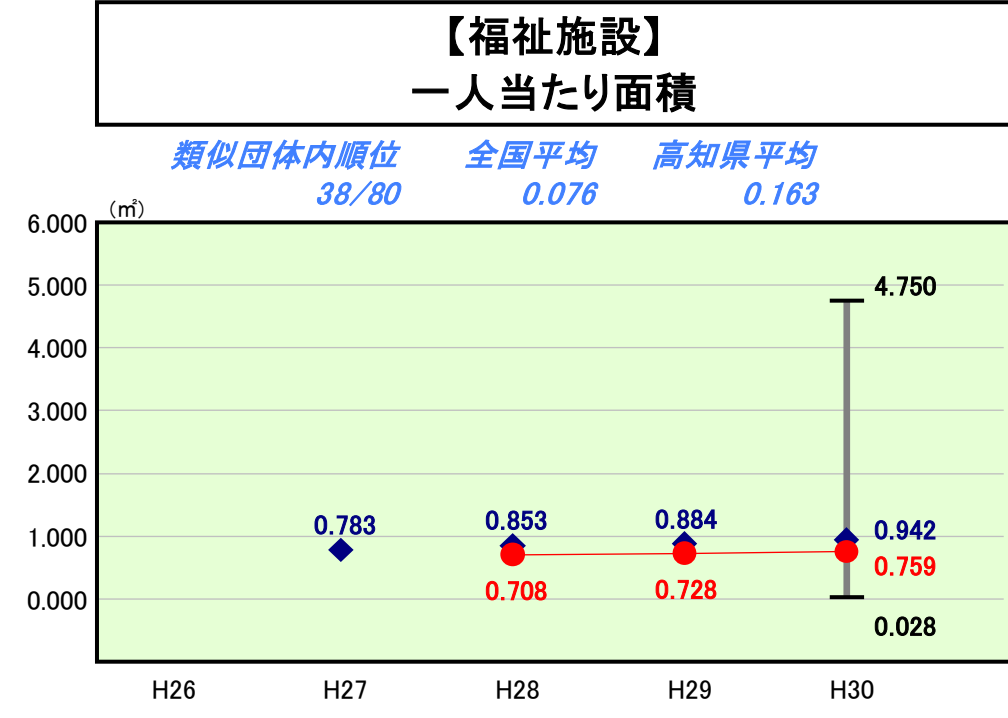
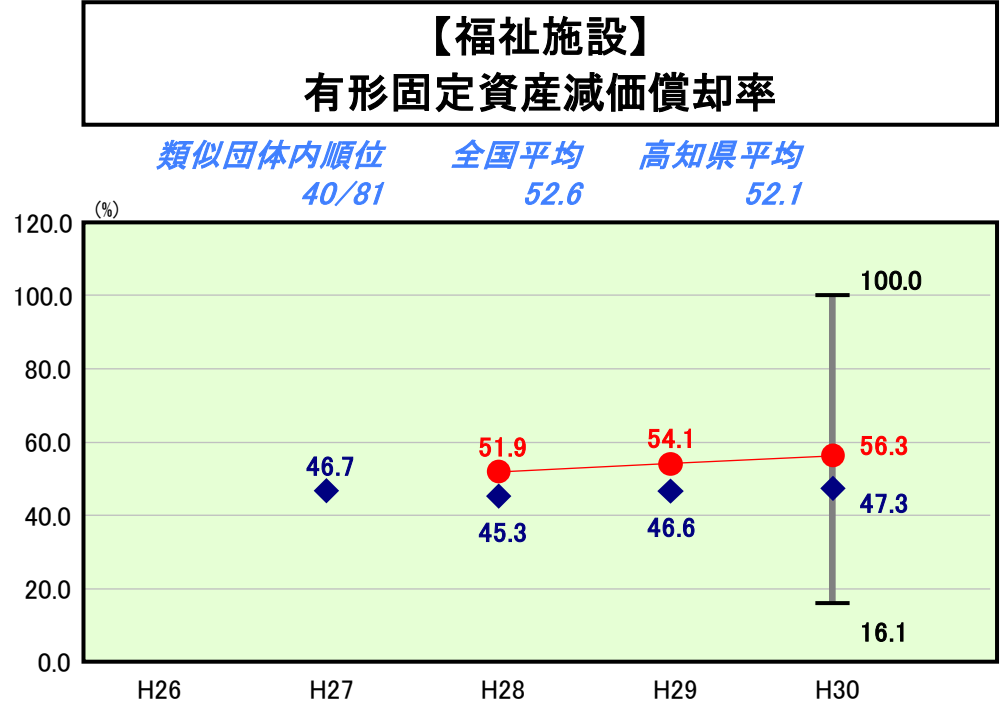
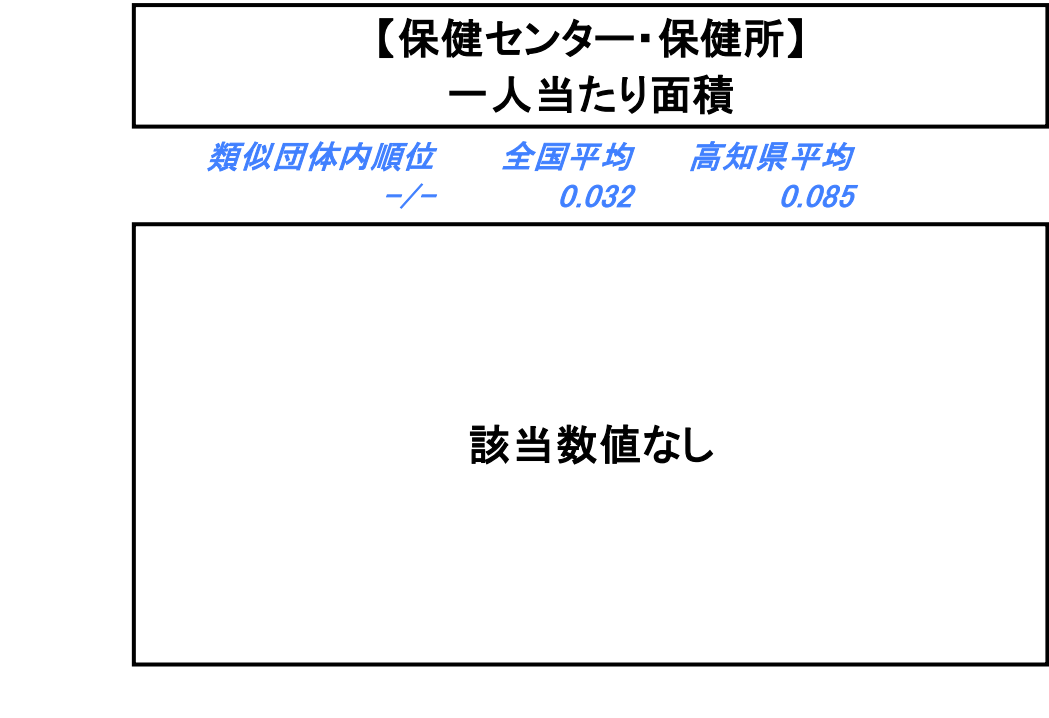
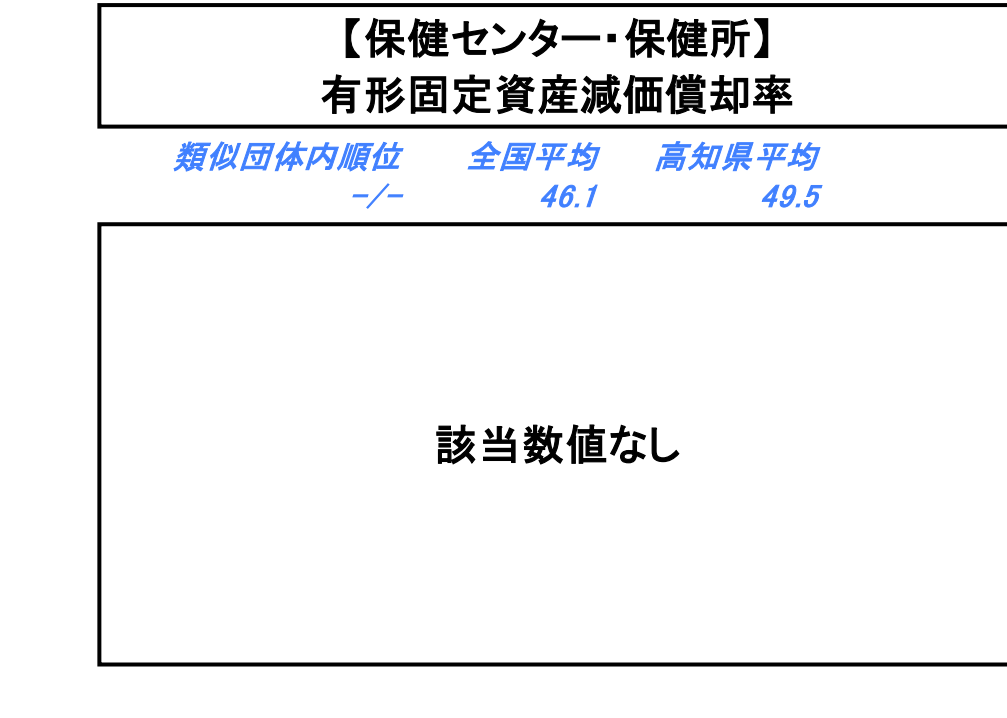
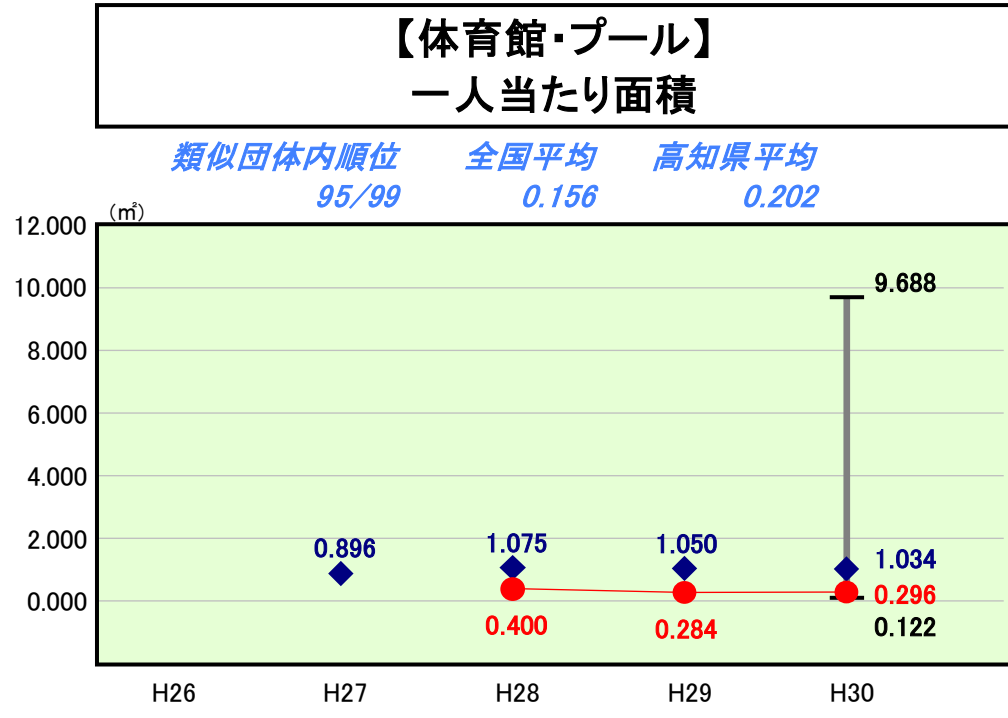
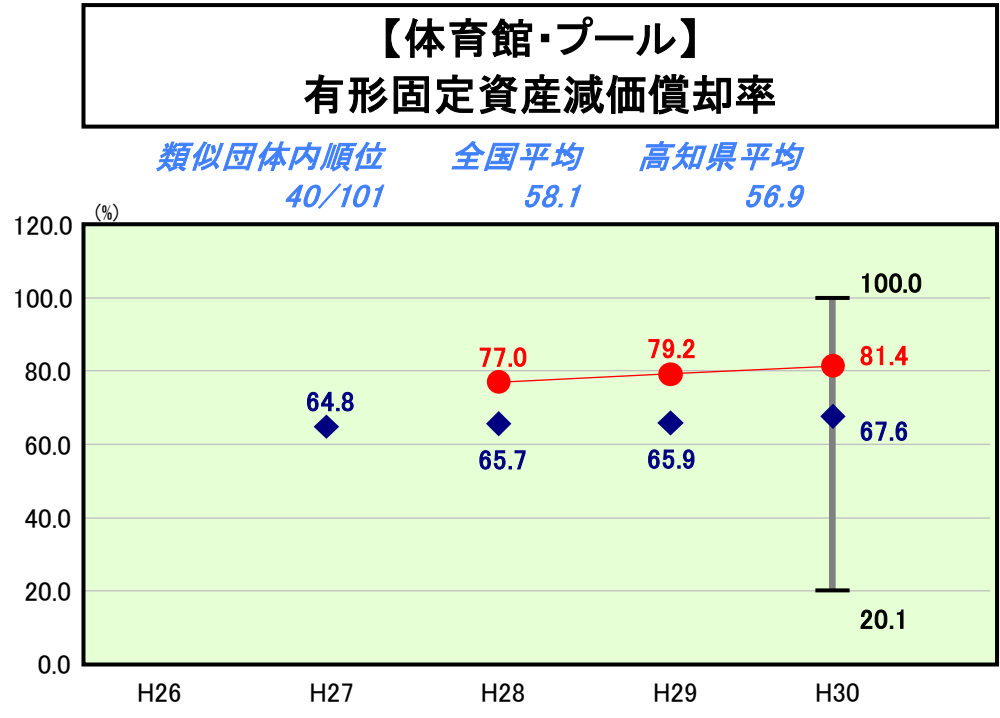
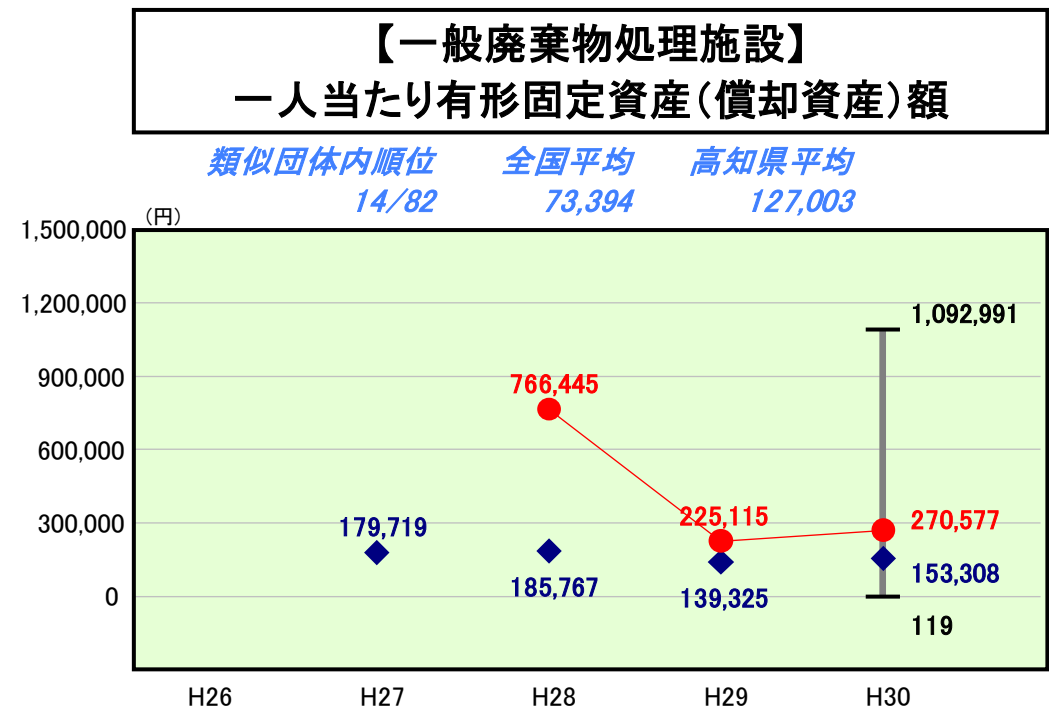
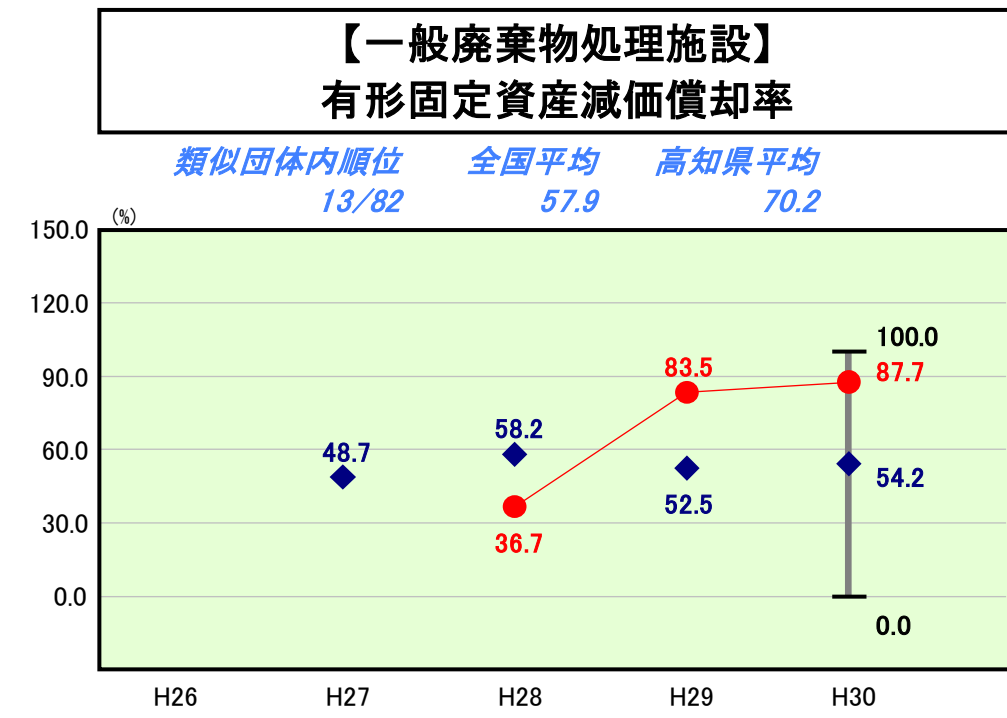
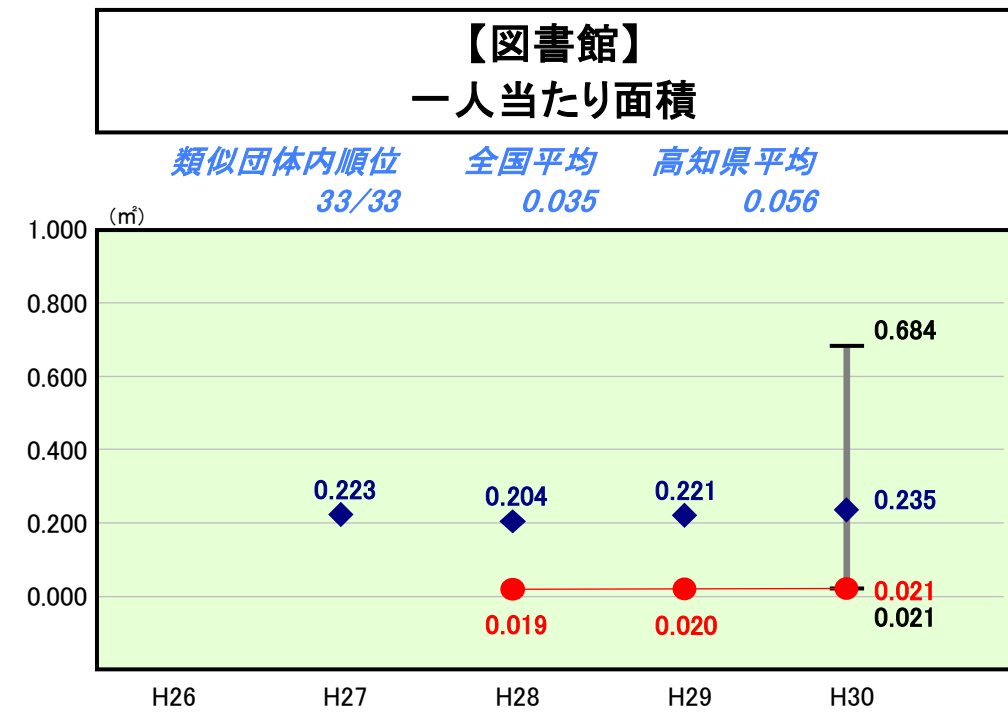
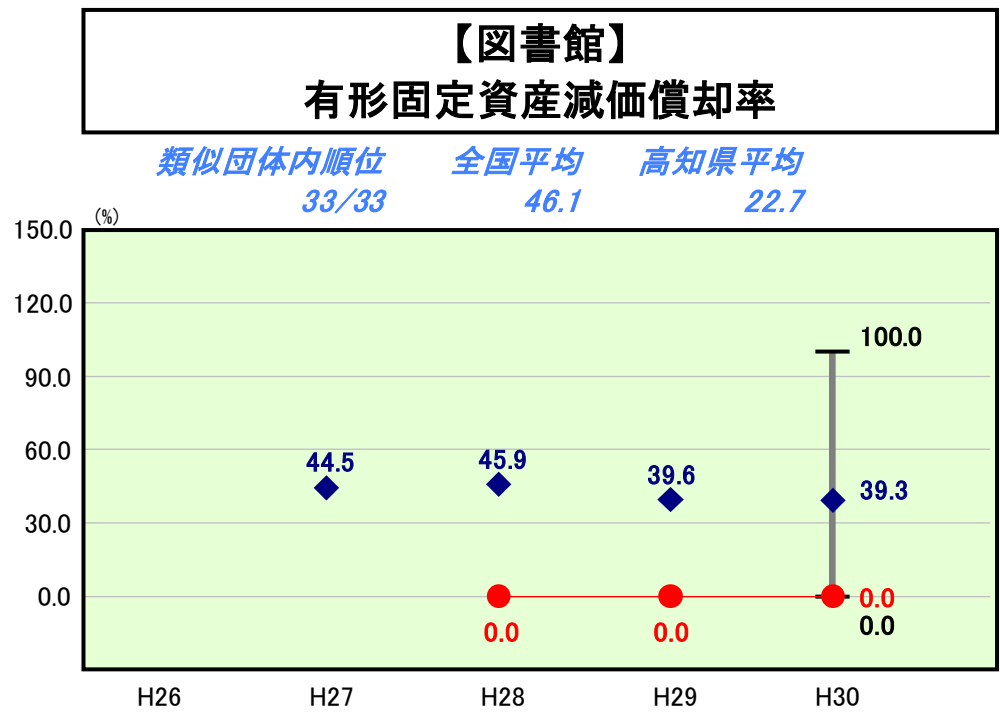
人口	2,450人	(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,433人	(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
面積	74.02	km ²	実質公債比率	11.7	%
歳入総額	3,021,766	千円	将来負担比率	65.3	%
歳出総額	2,987,466	千円	市町村類型	H26 I-O H27 I-O H28 I-O	
実質収支	4,942	千円	(年度毎)	H29 I-O H30 I-O	
標準財政規模	1,644,059	千円			
地方債現在高	3,880,612	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

図書館について、本町では公民館の1室を図書館として位置づけており、有形固定資産減価償却率が公民館に計上されており、数値が0となっている。また同様の理由により、一人あたりの面積も著しく低い数値となっている。体育館・プールについては、減価償却率が微増しており、一人当たり面積も類似団体内で低い水準となっており、これは体育館は2施設、プールは1施設しかないことによるものである。本町は、市民会館と庁舎が同一の建物で構成されており、有形固定資産減価償却率が同値となっている。また、同様の理由により、一人当たり面積についても類似団体と比較して低い水準となっている。